

平成 19・20 年度 環境省委託業務  
漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査

漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査  
地域検討会（福井県）報告書  
資料編

平成 21 年 3 月

漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査  
地域検討会（福井県）



# 目 次

## 資料編

1. 調査の概要	1
1.1 地点別・季節別の変化（量）	1
1.2 地点ごとの集計結果	5
(1) 地点1(験潮所)	5
(2) 地点2(水族館)	8
(3) 地点3(二の浜)	11
(4) 地点4(ナホトカの碑東側)	14
(5) 地点5(福良の浜)	17
(6) 地点6(製塩所廃跡)	20
1.3 他のモデル地域との比較	23
1.4 モデル地域における比重	26
1.5 分類結果（中分類）	27
1.5.1 福井県坂井市地域	27
1.6 分類結果（小分類）	43
1.6.1 福井県坂井市地域	43
2. 観光資源価値向上の検討に係る調査	89
2.1 アンケート票（オンサイト）	89
2.2 アンケート票（オフサイト）	98
2.3 アンケート調査結果概要	110
3. 九頭竜川流域ごみ問題ワークショップ開催	127
3.1 議事概要	127
3.2 最上川フォーラムヒアリング結果	131
4. 地域検討会の実施	134
5. 海岸清掃活動に関わる参考資料	168
5.1 漂着ゴミ量の推定資料	168



# 第 章 福井県坂井市地域における調査結果

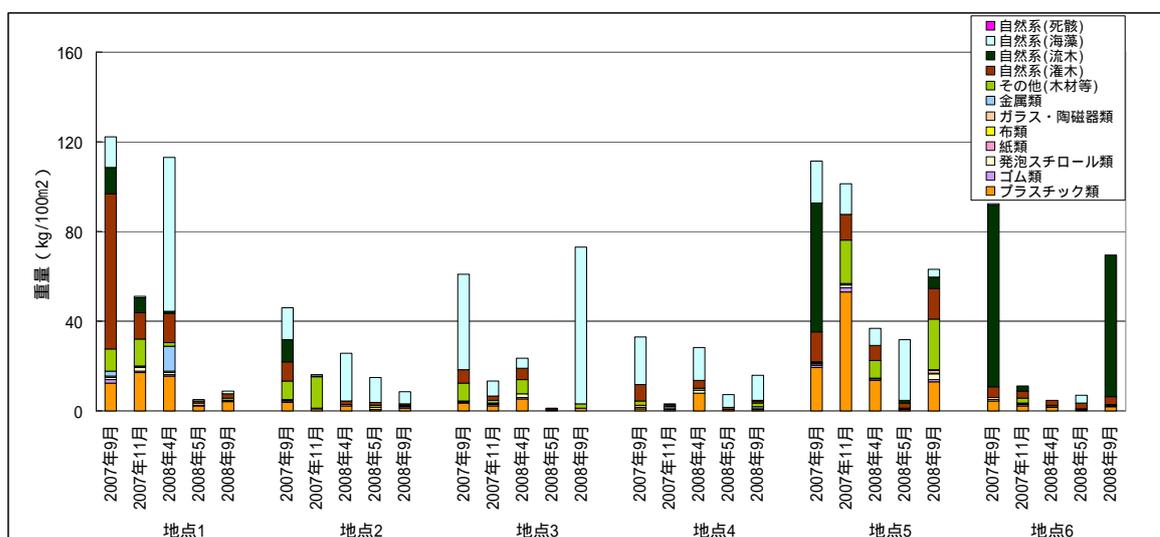
## 1. 調査の概要

### 1.1 地点別・季節別の変化

第1回調査結果は今までに蓄積した漂着ゴミの累計であるが、第2～6回調査結果は、前回の調査終了時から当該回の調査時まで新たに漂着したゴミであると考えられる。第1～6回調査において回収した漂着ゴミの重量 (kg/100 m<sup>2</sup>) を図 1.1-1 に、容量 (L/100 m<sup>2</sup>) を験潮所 水族館 二の浜 ナホトカの碑東側 福良の浜 製塩所廃跡 図 1.1-2 に示す。

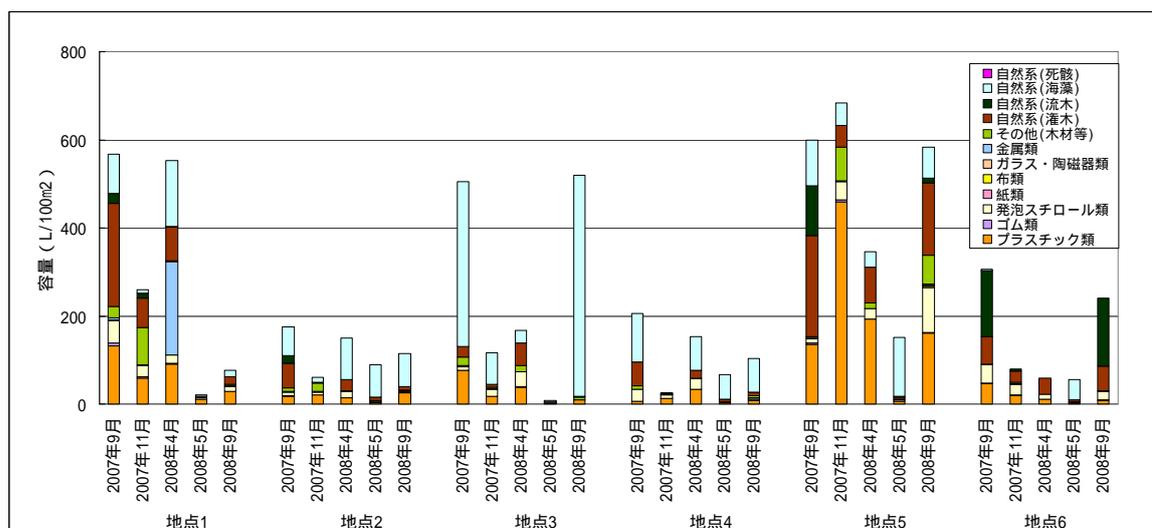
地点1(験潮所)、地点2(水族館)、地点4(ナホトカの碑東側)では第4回調査(2008年4月)が最も多かった。地点5(福良の浜)は第2回調査(2007年11月)、地点3(二の浜)および地点6(製塩所廃跡)は第6回調査(2008年9月)が最も多くなった。

なお、第3回調査は荒天のため実施していない。



験潮所 水族館 二の浜 ナホトカの碑東側 福良の浜 製塩所廃跡

図 1.1-1 共通調査において回収したゴミ重量 (第1～6回調査)



験潮所 水族館 二の浜 ナホトカの碑東側 福良の浜 製塩所廃跡

図 1.1-2 共通調査において回収したゴミ容量 (第1～6回調査)

次に、海藻を除いた漂着ゴミの重量 (kg/100 m<sup>2</sup>) を験潮所 水族館 二の浜  
 ナホトカの碑東側 福良の浜 製塩所廃跡

図 1.1-3 に、容量 (L/100 m<sup>2</sup>) を験潮所 水族館 二の浜 ナホトカの碑東側  
 福良の浜 製塩所廃跡

図 1.1-4 に示す。

地点3(二の浜)、4(ナホトカの碑東側)は冬明けの第4回調査(2008年4月)が最も多かつたが、地点1(験潮所)、2(水族館)、5(福良の浜)は第2回調査(2007年11月)が最も多くなり、地点6(製塩所廃跡)は第6回調査(2008年9月)が最も多くなった。

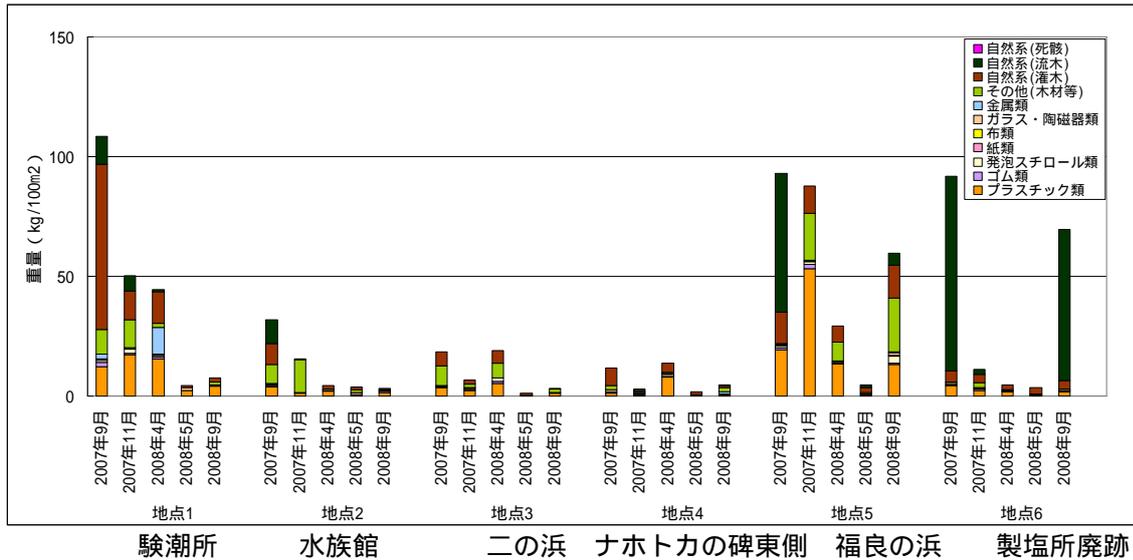


図 1.1-3 共通調査において回収したゴミ重量 (第1~6回調査:人工物+流木・灌木)

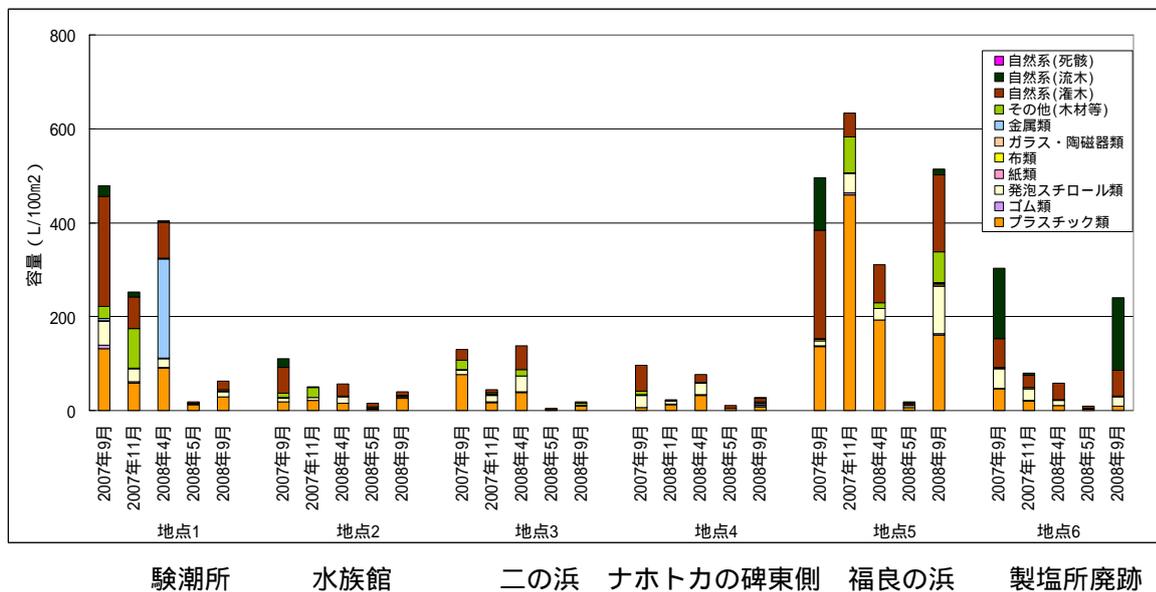


図 1.1-4 共通調査において回収したゴミ容量 (第1~6回調査:人工物+流木・灌木)

更に、海藻以外に、自然系である流木・灌木を除いた漂着ゴミの重量 (kg/100 m<sup>2</sup>) を験潮所 水族館 二の浜 ナホトカの碑東側 福良の浜 製塩所廃跡

図 1.1-5 に、容量 (L/100 m<sup>2</sup>) を験潮所 水族館 二の浜 ナホトカの碑東側 福良の浜 製塩所廃跡

図 1.1-6 に示す。

地点3(二の浜)、4(ナホトカの碑東側)は冬明けの第4回調査(2008年4月)が最も多かったが、その他の地点は第2回調査(2007年11月)が最も多かった。

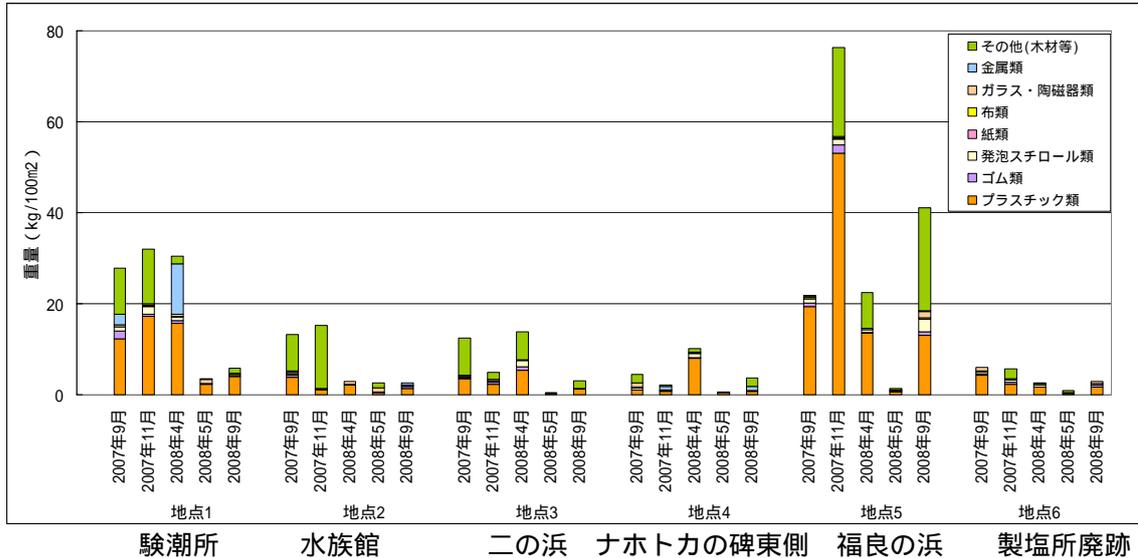


図 1.1-5 共通調査において回収したゴミ重量 (第1~6回調査:人工物)

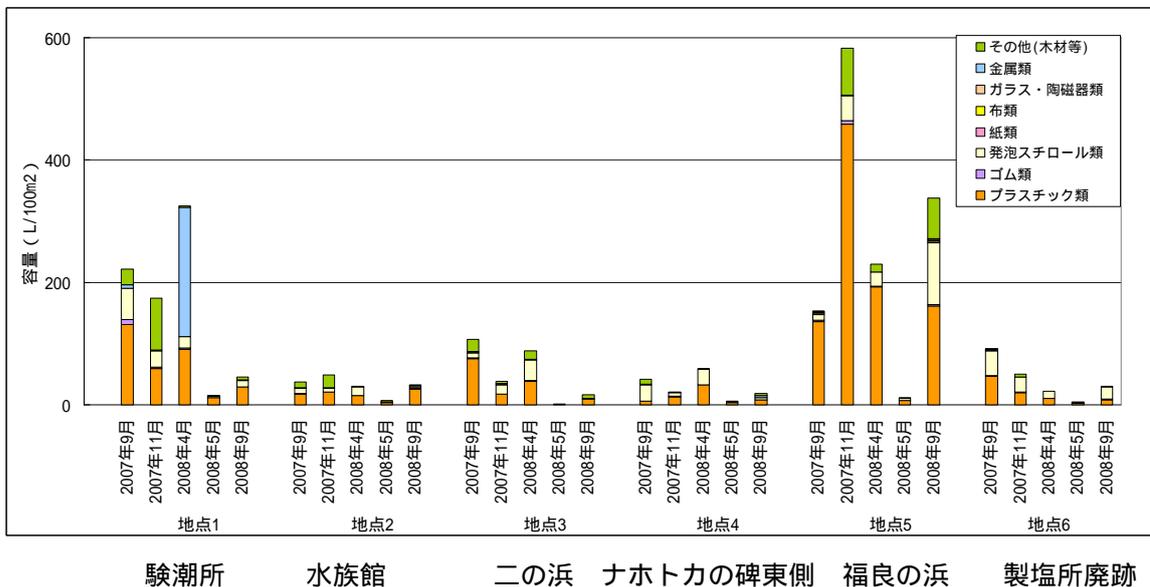
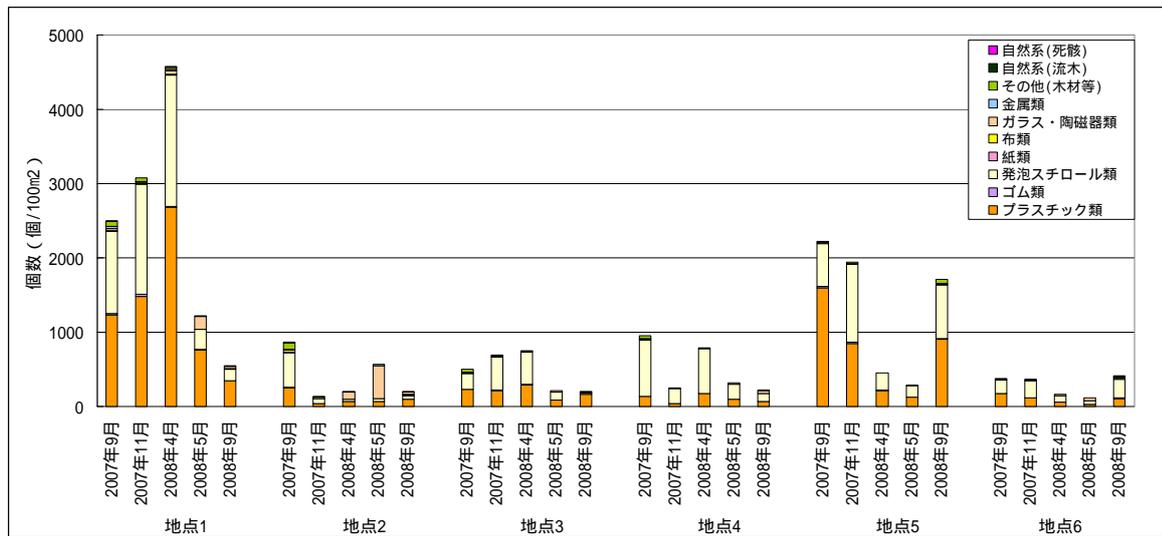


図 1.1-6 共通調査において回収したゴミ容量 (第1~6回調査:人工物)

さらに漂着ゴミの個数(個/100m<sup>2</sup>)を験潮所 水族館 二の浜 ナホトカの  
 碑東側 福良の浜 製塩所廃跡

図 1.1-7 に示す。海藻、灌木は個数を計数できないため人工物のみの個数で表現した。

地点1(験潮所)、3(二の浜)、4(ナホトカの碑東側)は冬明けの第4回調査(2008年4月)が最も多かったが、地点2(水族館)は第5回目(2008年5月末)、地点5(福良の浜)、6(製塩所廃跡)は第2回調査(2007年11月)が最も多くなった。



験潮所 水族館 二の浜 ナホトカの碑東側 福良の浜 製塩所廃跡

図 1.1-7 共通調査において回収したゴミ個数(第1~6回調査:人工物)

## 1.2 地点ごとの集計結果

### (1) 地点1(駿潮所)

第2～6回調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ごとの枠内重量比率および容量比率を図1.2-1、図1.2-2に示す。

当海岸(地点1)は、第2回目(2007年11月)には海藻が少ないが、第4回調査(2008年4月)には海藻が多くなった。

次に、海藻は通常、地元でも回収はされていないため、海藻を除いた漂着ゴミの重量比率及び容量比率を見ると、プラスチック類の占める割合が第2回調査(2007年11月)重量比率では約1/3、第4回調査(2008年4月)でも約1/3、第5回調査(2008年6月)では約半分となった。また、流木・灌木が約1/3から1/4漂着するのも特徴であった。第4回調査(2008年4月)で金属類が重量比で25%を占めているが、これはドラム缶が漂着したことに因る。

人工物のみに着目すると、プラスチック類の占める割合が第2回調査(2007年11月)及び第4回調査(2008年4月)で約半分、第5回調査(2008年6月)および第6回調査(2008年9月)で約2/3となった。

	第2回調査 (2007年11月)	第3回調査	第4回調査 (2008年4月)	第5回調査 (2008年5月)	第6回調査 (2008年9月)	合計(第2~6回)
集計重量 (人工物 + 流木・灌木 + 海藻)		実施せず				
集計重量 (人工物 + 流木・灌木)		実施せず				
集計重量 (人工物)		実施せず				

凡例

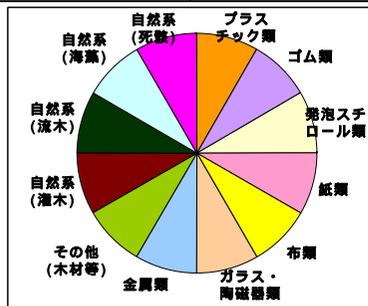


図 1.2-1 重量比率 (地点1、験潮所)

	第2回調査 (2007年11月)	第3回調査	第4回調査 (2008年4月)	第5回調査 (2008年5月)	第6回調査 (2008年9月)	合計(第2~6回)
集計容量 (人工物 + 流木・灌木 + 海藻)	<p>280.2L/100m<sup>2</sup></p>	実施せず	<p>552.1L/100m<sup>2</sup></p>	<p>20.7L/100m<sup>2</sup></p>	<p>76.6L/100m<sup>2</sup></p>	<p>241.5L/100m<sup>2</sup></p>
集計容量 (人工物 + 流木・灌木)	<p>252.1L/100m<sup>2</sup></p>	実施せず	<p>402.1L/100m<sup>2</sup></p>	<p>17.7L/100m<sup>2</sup></p>	<p>62.3L/100m<sup>2</sup></p>	<p>203.7L/100m<sup>2</sup></p>
集計容量 (人工物)	<p>174.4L/100m<sup>2</sup></p>	実施せず	<p>323.6L/100m<sup>2</sup></p>	<p>15.1L/100m<sup>2</sup></p>	<p>44.9L/100m<sup>2</sup></p>	<p>151.3L/100m<sup>2</sup></p>

凡例

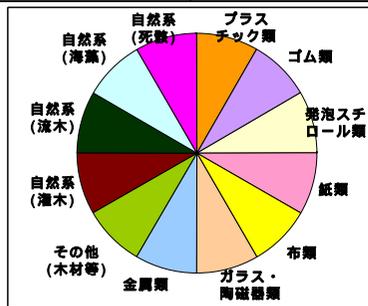


図 1.2-2 容量比率 (地点1、験潮所)

## (2) 地点 2(水族館)

第 2～6 回調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ごとの枠内重量比率および容量比率を図 1.2-3、図 1.2-4 に示す。

当海岸(地点 2)は、第 4 回調査(2008 年 4 月)から第 6 回調査(2008 年 9 月)には海藻が約 6 割～8 割を占めた。第 2 回調査(2007 年 11 月)においては角材が回収されたため、その他(木材等)の割合が大きくなっていた。

次に、地点 1 と同様の理由で海藻を除いた漂着ゴミの重量比率を見ると第 4 回調査(2008 年 4 月)は灌木、プラスチック類、その他(木材等)、ガラス・陶磁器類の占める割合が大きかった。容量比率からみると、第 4 回調査(2008 年 4 月)及び第 5 回調査(2008 年 5 月)では灌木が約半分を占めた。また、第 4 回調査(2008 年 4 月)は、発泡スチロール類が約 1/4 を占めた。

人工物の重量比率を見ると、その他(木材等)およびプラスチック類が大半を占めることが多かった。第 6 回調査(2008 年 9 月)にはゴム類が 19%程見られるが、これはゴム長靴の底であった。

	第2回調査 (2007年11月)	第3回調査	第4回調査 (2008年4月)	第5回調査 (2008年5月)	第6回調査 (2008年9月)	合計(第2~6回)
集計重量 (人工物 + 流木・灌木 + 海藻)	<p>木材等 16.3kg/100m<sup>2</sup></p>	実施せず	<p>25.6kg/100m<sup>2</sup></p>	<p>14.9kg/100m<sup>2</sup></p>	<p>8.4kg/100m<sup>2</sup></p>	<p>16.3kg/100m<sup>2</sup></p>
集計重量 (人工物 + 流木・灌木)	<p>15.4kg/100m<sup>2</sup></p>	実施せず	<p>4.4kg/100m<sup>2</sup></p>	<p>3.7kg/100m<sup>2</sup></p>	<p>3.3kg/100m<sup>2</sup></p>	<p>8.4kg/100m<sup>2</sup></p>
集計重量 (人工物)	<p>15.1kg/100m<sup>2</sup></p>	実施せず	<p>2.9kg/100m<sup>2</sup></p>	<p>2.5kg/100m<sup>2</sup></p>	<p>2.6kg/100m<sup>2</sup></p>	<p>7.7kg/100m<sup>2</sup></p>

凡例

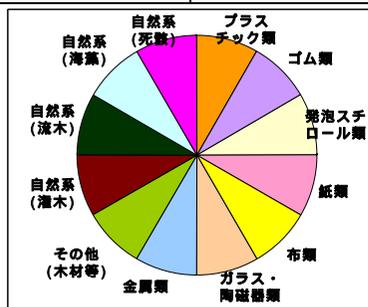


図 1.2-3 重量比率 (地点2、水族館)

	第2回調査 (2007年11月)	第3回調査	第4回調査 (2008年4月)	第5回調査 (2008年5月)	第6回調査 (2008年9月)	合計(第2~6回)
集計容量 (人工物 + 流木・灌木 + 海藻)		実施せず				
集計容量 (人工物 + 流木・灌木)		実施せず				
集計容量 (人工物)		実施せず				

凡例

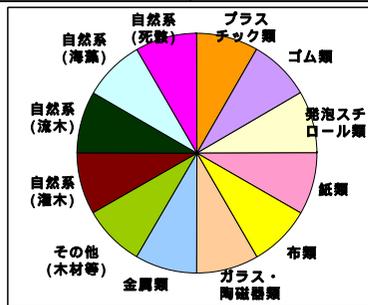


図 1.2-4 容量比率 (地点2、水族館)

(3) 地点3(二の浜)

第2～6回調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ごとの枠内重量比率および容量比率を図1.2-5、図1.2-6に示す。

当海岸(地点3)は、第2回調査(2007年11月)及び第6回調査(2008年9月)において、特に海藻の割合が高かった。

次に、海藻は通常、地元でも回収はされていないため、海藻を除いた重量比率をみると、灌木、プラスチック類、その他(木材等)が占める割合が高かった。第2回調査(2007年11月)および第4回調査(2008年4月)における容量比率では、発泡スチロール類が約1/4を占めた。

人工物のみに着目するとプラスチック類及びその他(木材等)が毎回、重量比率で7割以上を占めていた。

	第2回調査 (2007年11月)	第3回調査	第4回調査 (2008年4月)	第5回調査 (2008年5月)	第6回調査 (2008年9月)	合計(第2~6回)
集計重量 (人工物 + 流木・灌木 + 海藻)		実施せず				
集計重量 (人工物 + 流木・灌木)		実施せず				
集計重量 (人工物)		実施せず				

凡例

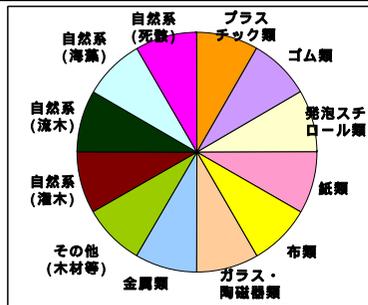


図 1.2-5 重量比率 (地点3、二の浜)

	第2回調査 (2007年11月)	第3回調査	第4回調査 (2008年4月)	第5回調査 (2008年5月)	第6回調査 (2008年9月)	合計(第2~6回)
集計容量 (人工物 + 流木・灌木 + 海藻)		実施せず				
集計容量 (人工物 + 流木・灌木)		実施せず				
集計容量 (人工物)		実施せず				

凡例

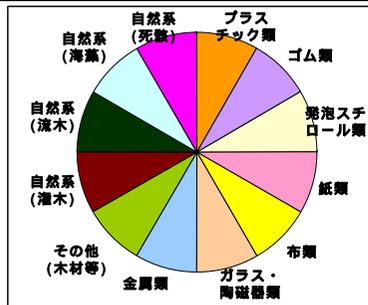


図 1.2-6 容量比率 (地点3、二の浜)

#### (4) 地点 4(ナホトカの碑東側)

第 2～6 回調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ごとの枠内重量比率および容量比率を図 1.2-7、図 1.2-8 に示す。

当海岸(地点 4)は、第 2 回調査(2007 年 11 月)には海藻が少ないが、第 4 回調査(2008 年 4 月)以降は海藻が重量比率及び容量比率ともに半分以上を占めていた。

次に、海藻は通常、地元でも回収はされていないため、海藻を除いた漂着ゴミの重量比率を見ると、各回ともプラスチック類や灌木の割合が高かった。容量比率からみると第 2 回調査(2007 年 11 月)および第 4 回調査(2008 年 4 月)において発泡スチロール類も大きな割合を占めていた。

人工物の内訳を見ると、各回とも容量比率ではプラスチック類及び発泡スチロールの占める割合が高かった。第 6 回調査(2008 年 9 月)には金属類が容量比率で 18%を占めていたが、これは同種類のビール缶であり、海岸でのレジャーに伴って廃棄されたものと推測された。

	第2回調査 (2007年11月)	第3回調査	第4回調査 (2008年4月)	第5回調査 (2008年5月)	第6回調査 (2008年9月)	合計(第2~6回)
集計重量 (人工物 + 流木・灌木 + 海藻)		実施せず				
集計重量 (人工物 + 流木・灌木)		実施せず				
集計重量 (人工物)		実施せず				

凡例

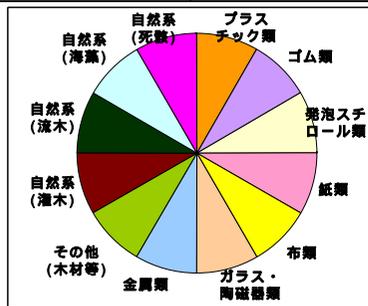


図 1.2-7 重量比率 (地点4、ナホトカの碑東側)

	第2回調査 (2007年11月)	第3回調査	第4回調査 (2008年4月)	第5回調査 (2008年5月)	第6回調査 (2008年9月)	合計(第2~6回)
集計容量 (人工物 + 流木・灌木 + 海藻)	<p>プラスチック類 発泡スチロール類</p> <p>25.0L/100m<sup>2</sup></p>	実施せず	<p>152.8L/100m<sup>2</sup></p>	<p>68.4L/100m<sup>2</sup></p>	<p>104.3L/100m<sup>2</sup></p>	<p>74.8L/100m<sup>2</sup></p>
集計容量 (人工物 + 流木・灌木)	<p>23.3L/100m<sup>2</sup></p>	実施せず	<p>75.7L/100m<sup>2</sup></p>	<p>11.2L/100m<sup>2</sup></p>	<p>27.4L/100m<sup>2</sup></p>	<p>32.5L/100m<sup>2</sup></p>
集計容量 (人工物)	<p>21.3L/100m<sup>2</sup></p>	実施せず	<p>59.4L/100m<sup>2</sup></p>	<p>5.2L/100m<sup>2</sup></p>	<p>18.3L/100m<sup>2</sup></p>	<p>25.4L/100m<sup>2</sup></p>

凡例

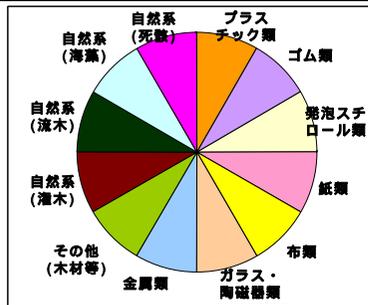


図 1.2-8 容量比率 (地点4、ナホトカの碑東側)

(5) 地点5(福良の浜)

第2～6回調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ごとの枠内重量比率および容量比率を図1.2-9、図1.2-10に示す。

当海岸(地点5)は、第2回調査(2007年11月)、第4回調査(2008年4月)および第6回調査(2008年9月)には海藻が少ないが、第5回調査(2008年6月)には特に海藻が多くを占めていた。

次に、海藻は通常、地元でも回収はされていないため、海藻を除いた漂着ゴミの重量比率を見ると、第2回調査(2007年11月)および第4回調査(2008年4月)においてはプラスチック類の占める割合が高かった。第5回調査(2008年6月)では流木・灌木の割合が高くなり、第6回調査(2008年9月)ではその他(木材等)の割合が高くなった。

人工物の重量比率では、各回ともプラスチック類およびその他(木材等)の占める割合が高くなっていった。容量比率では、第5回調査(2008年6月)以降に発泡スチロール類の占める割合(約3割)が増加する傾向が見られた。

	第2回調査 (2007年11月)	第3回調査	第4回調査 (2008年4月)	第5回調査 (2008年5月)	第6回調査 (2008年9月)	合計(第2~6回)
集計重量 (人工物 + 流木・灌木 + 海藻)	<p>101.1kg/100m<sup>2</sup></p>	実施せず	<p>36.7kg/100m<sup>2</sup></p>	<p>31.7kg/100m<sup>2</sup></p>	<p>63.2kg/100m<sup>2</sup></p>	<p>66.8kg/100m<sup>2</sup></p>
集計重量 (人工物 + 流木・灌木)	<p>87.7kg/100m<sup>2</sup></p>	実施せず	<p>29.1kg/100m<sup>2</sup></p>	<p>4.6kg/100m<sup>2</sup></p>	<p>59.5kg/100m<sup>2</sup></p>	<p>63.8kg/100m<sup>2</sup></p>
集計重量 (人工物)	<p>76.3kg/100m<sup>2</sup></p>	実施せず	<p>22.4kg/100m<sup>2</sup></p>	<p>1.4kg/100m<sup>2</sup></p>	<p>41.0kg/100m<sup>2</sup></p>	<p>43.5kg/100m<sup>2</sup></p>

凡例

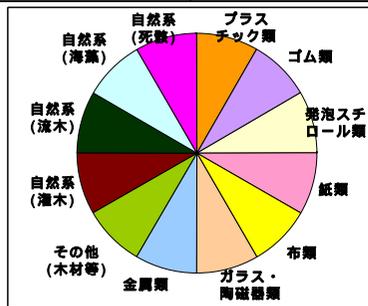


図 1.2-9 重量比率 (地点5、福良の浜)

	第2回調査 (2007年11月)	第3回調査	第4回調査 (2008年4月)	第5回調査 (2008年5月)	第6回調査 (2008年9月)	合計(第2~6回)
集計容量 (人工物 + 流木・灌木 + 海藻)		実施せず				
集計容量 (人工物 + 流木・灌木)		実施せず				
集計容量 (人工物)		実施せず				

凡例

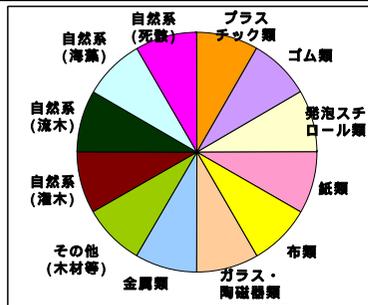


図 1.2-10 容量比率 (地点5、福良の浜)

(6) 地点 6(製塩所廃跡)

第 2～6 回調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ごとの枠内重量比率および容量比率を図 1.2-11、図 1.2-12 に示す。

当海岸(地点 6)は、各回とも流木・灌木の割合が高く、特に第 6 回調査(2008 年 9 月)では、直径約 0.2m・長さ約 1.5m の流木が漂着していたため 90%が流木となった。第 5 回調査(2008 年 6 月)では福良の浜と同様に海藻が多かった(約 51%)。

次に、海藻は通常、地元でも回収はされていないため、海藻を除いた漂着ゴミの重量比率を見ると、各回とも流木・灌木の割合が最も大きな割合を占めていた。容量から見ると発泡スチロール類の割合も高かった。

人工物について重量比率を見るとプラスチック類及びその他(木材等)の割合が高かったが、容量比率では発泡スチロール類が多くを占めていた。

	第2回調査 (2007年11月)	第3回調査	第4回調査 (2008年4月)	第5回調査 (2008年5月)	第6回調査 (2008年9月)	合計(第2~6回)
集計重量 (人工物 + 流木・灌木 + 海藻)		実施せず				
集計重量 (人工物 + 流木・灌木)		実施せず				
集計重量 (人工物)		実施せず				

凡例

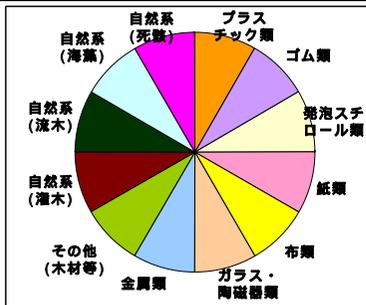


図 1.2-11 重量比率 (地点 6、製塩所廃跡)

	第2回調査 (2007年11月)	第3回調査	第4回調査 (2008年4月)	第5回調査 (2008年5月)	第6回調査 (2008年9月)	合計(第2~6回)
集計容量 (人工物 + 流木・灌木 + 海藻)		実施せず				
集計容量 (人工物 + 流木・灌木)		実施せず				
集計容量 (人工物)		実施せず				

凡例

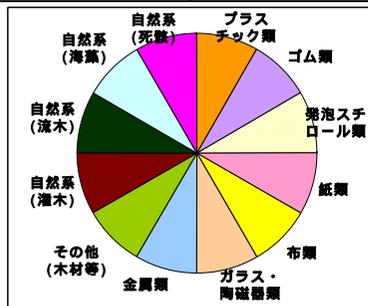


図 1.2-12 容量比率 (地点 6、製塩所廃跡)

### 1.3 他のモデル地域との比較

第1～6回調査ごとの共通調査において回収された漂着ゴミの重量を単位面積（100 m<sup>2</sup>）に換算し、図 1.3-1 に示す。

三重県鳥羽市地域は、冬季にゴミが多く、その量は全モデル地域の中でも卓越していた。また、長崎県対馬市地域の越高海岸、志多留海岸、熊本県苓北町地域の富岡海岸は、海岸が南方向に向いているため、冬季ではなく夏季にゴミの漂着が多かった。

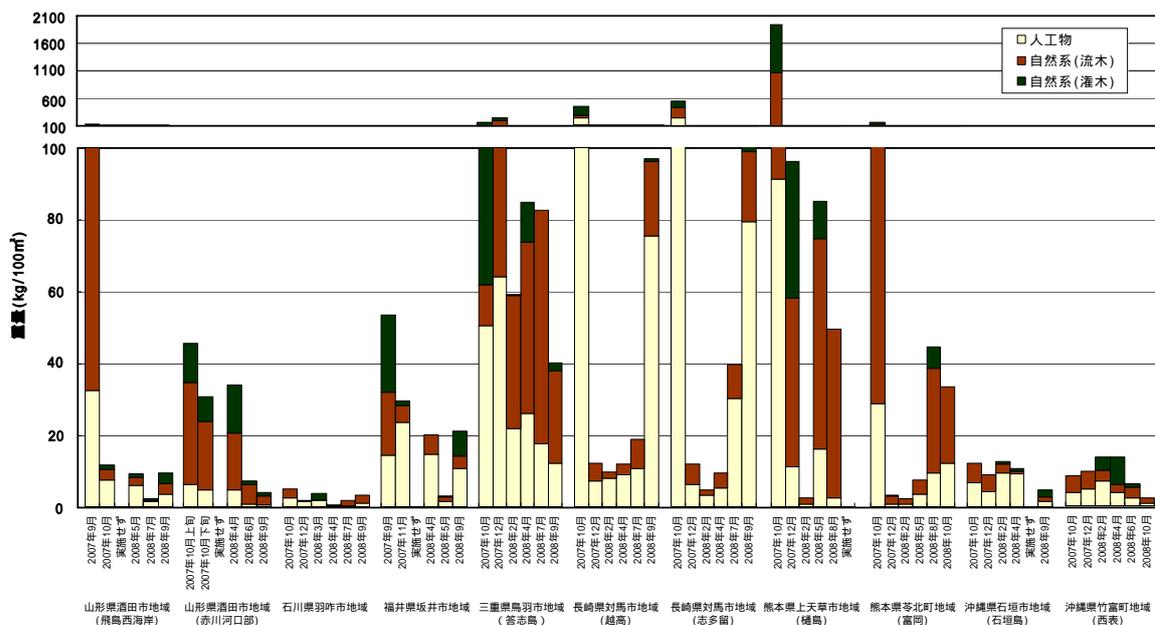


図 1.3-1 調査回別の重量（第1～6回調査）

次に、第2～6回調査ごとの共通調査において回収された漂着ゴミのうち、個数の多かった上位5項目について図1.3-2に示す。どの地域もプラスチック破片などの破片類が多かった。

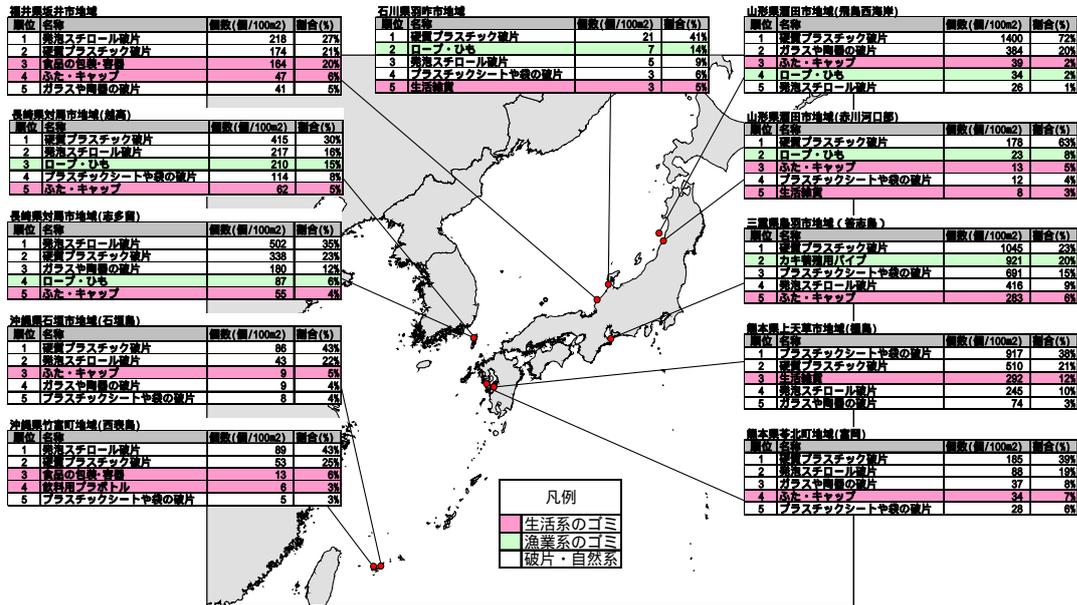


図 1.3-2 個数における上位5項目（第2～6回調査）

更に、第2～6回調査ごとの共通調査において回収された漂着ゴミのうち、破片類を除いて、個数の多かった上位5項目について図1.3-3に示す。どの地域も生活系のゴミが多く、石川県や三重県のように漁業系のゴミが目立つ地域もあった。

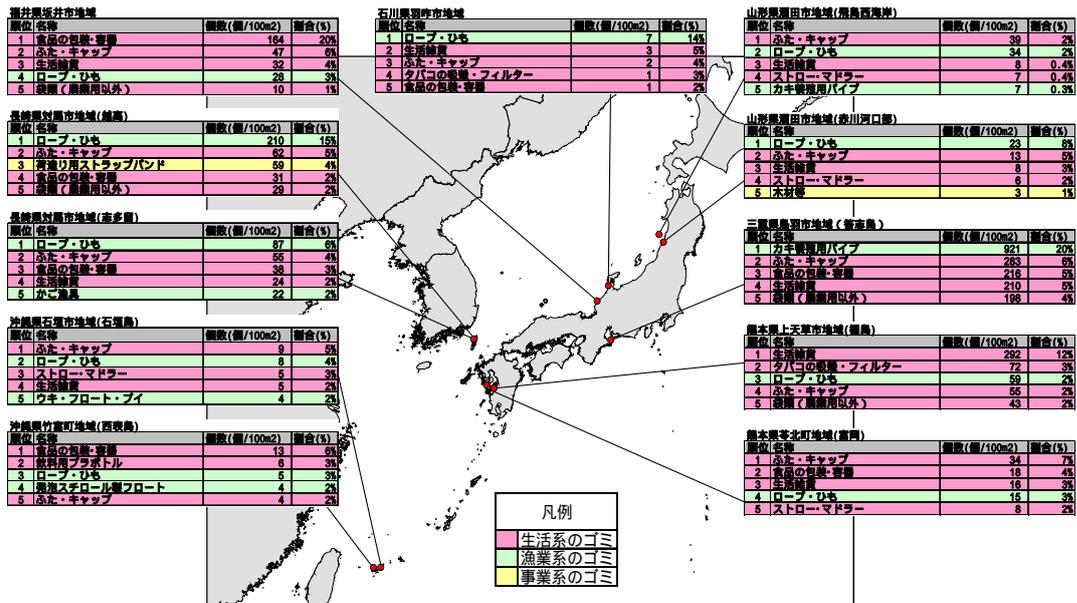


図 1.3-3 個数における上位5項目（自然系・破片類を除く、第2～6回調査）

更に、第 2～6 回調査ごとの共通調査において回収された漂着ゴミの材質別の割合を図 1.3-4 に示す。

どの地域も流木(濃暗緑)、灌木(濃茶)の割合が高く、人工物ではプラスチック(明茶)の割合が高かった。なお、その他(黄緑)の大部分が、角材や木材、合板などの木製の人工物であった。

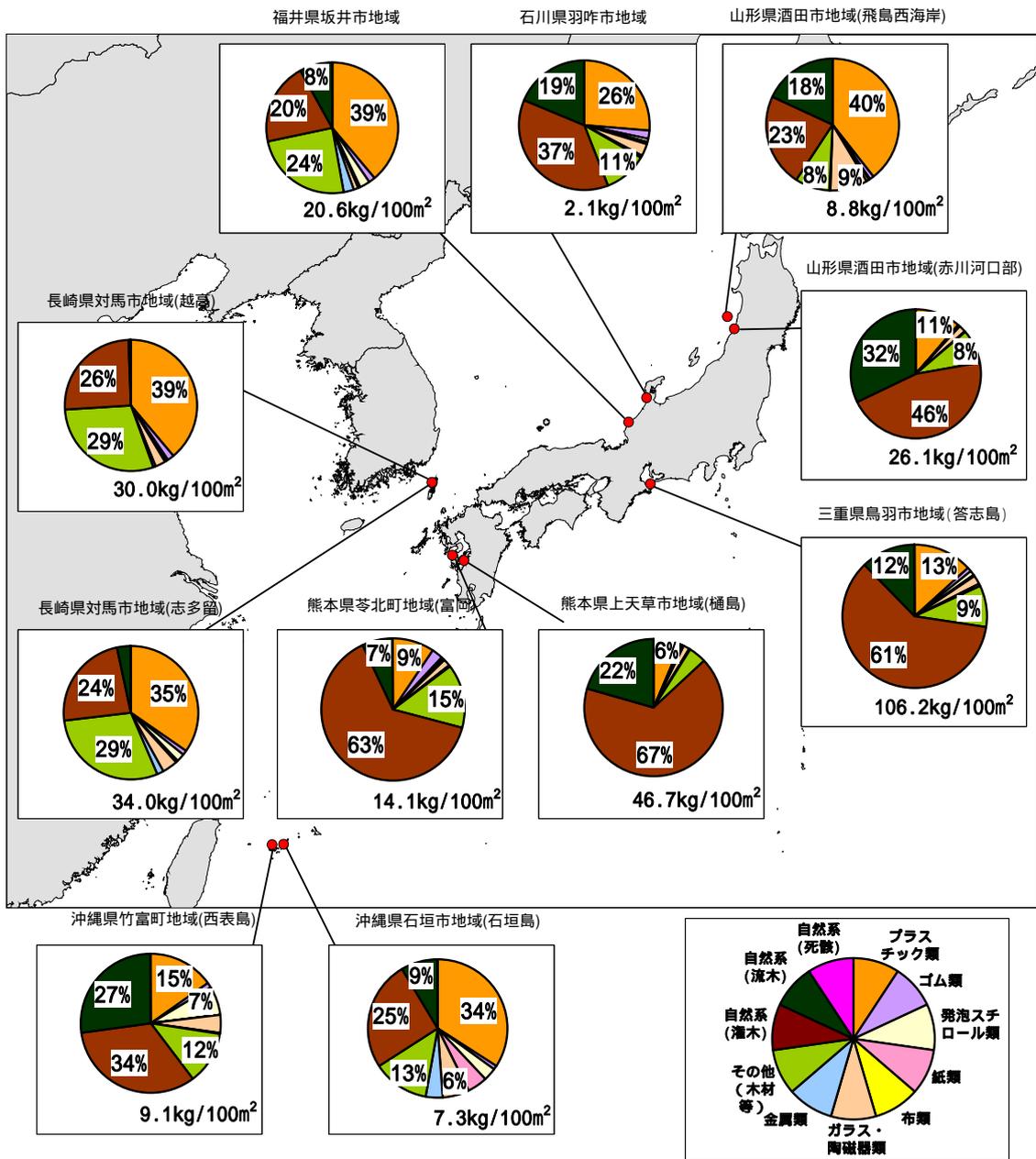


図 1.3-4 材質別割合 (第 2～6 回調査)

#### 1.4 モデル地域における比重

回収した漂着ゴミの処分の際に、焼却炉や運搬業者の計量で、ゴミの重量もしくは容量しか正確に把握できない。モデルを構築し、経費などを試算する際には、重量、容量の両方の値を用いるため、重量から容量または容量から重量を算出する必要がある。その算出にはゴミの比重が必要となるため、第1～6回調査の共通調査において回収された漂着ゴミを総合計し、各モデル地域における比重を算出し、表 1.4-1 に示す。

モデル地域である11海岸で、共通調査において回収された漂着ゴミの比重は0.17となった。一方、最も高かったのは石川県羽咋市地域の0.29であるが、これは比重の高い湿った海藻が多かったことが原因であると考えられる。また、最も低かったのは熊本県苓北町地域（富岡海岸）の0.13であるが、これは比重の低いアシなどの灌木が多かったことが原因であると考えられる。

##### < 比重の算出方法 >

比重の計算式は、「比重 = 重量 (kg) ÷ 容量 (L)」である。

なお、共通調査における分析では、ペットボトルやライター、流木などは1個1個の「実容量」を、一方、灌木や海藻、プラスチック破片などは、バケツなどに入れた「かさ容量」で測定を行っている。そのため表 1.4-1 の比重は、「実比重」と「かさ比重」が混在した比重となっている。

表 1.4-1(1) 各モデル地域における比重

	ゴミ全量の 比重	ゴミの種類による比重		
		人工物	自然系 (流木・灌木)	自然系 (海藻)
山形県酒田市地域（飛島西海岸）	0.27	0.26	0.30	0.23
山形県酒田市地域（赤川河口部）	0.24	0.24	0.24	0.10
石川県羽咋市地域	0.29	0.24	0.19	0.42
福井県坂井市地域	0.17	0.13	0.23	0.16
三重県鳥羽市地域	0.14	0.13	0.14	0.24
長崎県対馬市地域（越高）	0.19	0.16	0.29	0.11
長崎県対馬市地域（志多留）	0.17	0.12	0.29	0.14
熊本県上天草地域（樋島海岸）	0.16	0.09	0.16	0.07
熊本県苓北町地域（富岡海岸）	0.13	0.15	0.12	0.69
沖縄県石垣市地域（石垣島）	0.17	0.15	0.21	0.16
沖縄県竹富町地域（西表島）	0.14	0.09	0.23	0.10
全モデル(11海岸)	0.17	0.15	0.18	0.21

注：各比重は、第1～6回クリーンアップ調査の共通調査結果から算出した。

表 1.4-1(2) 各モデル地域における比重

	ゴミ全量の 比重	ゴミの種類による比重	
		人工物 自然系(流・灌)	自然系 (海藻)
山形県酒田市地域（飛島西海岸）	0.27	0.29	0.23
山形県酒田市地域（赤川河口部）	0.24	0.24	0.10
石川県羽咋市地域	0.29	0.21	0.42
福井県坂井市地域	0.17	0.17	0.16
三重県鳥羽市地域	0.14	0.13	0.24
長崎県対馬市地域（越高）	0.19	0.19	0.11
長崎県対馬市地域（志多留）	0.17	0.17	0.14
熊本県上天草地域（樋島海岸）	0.16	0.16	0.07
熊本県苓北町地域（富岡海岸）	0.13	0.13	0.69
沖縄県石垣市地域（石垣島）	0.17	0.17	0.16
沖縄県竹富町地域（西表島）	0.14	0.14	0.10
全モデル(11海岸)	0.17	0.17	0.21

注：各比重は、第1～6回クリーンアップ調査の共通調査結果から算出した。

## 1.5 分類結果（中分類）

### 1.5.1 福井県坂井市地域

第1～6回調査（2007年9月～2008年9月）の共通調査において回収した漂着ゴミの分類結果（中分類）を表1.5-1～表1.5-5に示す。

表 1.5-1(1) 共通調査における漂着ゴミ分類結果 (中分類、地点 1(験潮所)、第 1 回調査 (2007 年 9 月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )	
1 プラスチック類	1 袋類	0.1	0.2	30.5	
	2 プラボトル	1.5	21.6	30.5	
	3 容器類	0.9	4.8	211.6	
	4 ひも類・シート類	2.3	18.3	155.8	
	5 雑貨類	1.9	57.5	72.6	
	6 漁具	2.4	11.8	65.3	
	7 破片類	2.2	13.3	504.2	
	9 その他具体的に	1.1	4.1	158.9	
	プラスチック類 計		12.3	131.5	1229.5
	2 ゴム類	1 ボール	0.2	0.3	2.1
3 ゴム手袋		0.1	0.1	1.1	
4 輪ゴム		0.0	0.0	3.2	
5 ゴムの破片		0.3	0.2	4.2	
6 その他具体的に		1.1	6.8	5.3	
ゴム類 計		1.7	7.5	15.8	
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.2	6.0	352.6	
	3 発泡スチロールの破片	0.6	29.7	753.7	
	4 魚箱(トコ箱)	0.1	15.6	1.1	
	5 その他具体的に	0.0	0.0	1.1	
	発泡スチロール類 計		0.9	51.3	1108.4
4 紙類	1 容器類	0.1	0.1	2.1	
	4 紙片等	0.0	0.0	2.1	
紙類 計		0.1	0.1	4.2	
5 布類	3 布片	0.0	0.0	7.4	
	布類 計		0.0	0.0	7.4
6 ガラス・陶磁器類	1 ガラス	0.1	0.2	1.1	
	3 ガラス破片	0.2	0.1	16.8	
	4 陶磁器類破片	0.1	0.0	3.2	
	5 その他具体的に	0.1	0.1	3.2	
	ガラス・陶磁器類 計		0.5	0.3	24.2
7 金属類	1 缶	0.2	4.4	8.4	
	2 釣り用品	0.1	0.1	2.1	
	3 雑貨類	0.0	0.0	3.2	
	4 金属片	1.9	1.1	21.1	
金属類 計		2.2	5.6	34.7	
8 その他の人工物	1 木類	9.8	24.5	52.6	
	2 粗大ゴミ(具体的に)	0.1	0.2	1.1	
	4 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)	0.2	0.2	11.6	
	5 医療系廃棄物	0.0	0.0	2.1	
	その他の人工物 計		10.1	24.9	67.4
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	80.8	257.0	-	
	2 海藻	13.6	88.6	-	
生物系漂着物 計		94.4	345.5	-	

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3: 表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-1(2) 共通調査における漂着ゴミ分類結果 (中分類、地点 2(水族館)、第 1 回調査 (2007 年 9 月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )	
1 プラスチック類	1 袋類	0.0	0.0	8.0	
	2 プラボトル	0.1	3.2	4.0	
	3 容器類	0.1	0.2	28.0	
	4 ひも類・シート類	1.5	7.8	40.0	
	5 雑貨類	0.6	1.4	17.0	
	6 漁具	0.1	0.5	11.0	
	7 破片類	0.1	0.1	35.0	
	9 その他具体的に	1.2	4.3	109.0	
	プラスチック類 計		3.8	17.6	252.0
	2 ゴム類	5 ゴムの破片	0.6	1.0	6.0
ゴム類 計		0.6	1.0	6.0	
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.1	1.1	96.0	
	3 発泡スチロールの破片	0.2	6.9	363.0	
	発泡スチロール類 計		0.3	8.0	459.0
4 紙類	2 包装	0.0	0.0	2.0	
	3 花火の筒	0.0	0.0	5.0	
	4 紙片等	0.0	0.0	3.0	
	紙類 計		0.0	0.0	10.0
6 ガラス・陶磁器類	1 ガラス	0.1	0.1	1.0	
	3 ガラス破片	0.2	0.1	28.0	
	4 陶磁器類破片	0.0	0.0	3.0	
	ガラス・陶磁器類 計		0.3	0.2	32.0
7 金属類	1 缶	0.1	1.1	4.0	
	2 釣り用品	0.0	0.0	1.0	
	3 雑貨類	0.0	0.0	1.0	
	4 金属片	0.0	0.0	7.0	
金属類 計		0.2	1.2	13.0	
8 その他の人工物	1 木類	0.7	1.2	10.0	
	4 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)	7.4	7.7	74.0	
	6 その他具体的に	0.0	0.0	1.0	
	その他の人工物 計		8.1	8.9	85.0
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	18.6	73.6	-	
	2 海藻	14.1	65.0	-	
生物系漂着物 計		32.7	138.6	-	

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3: 表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-1(3) 共通調査における漂着ゴミ分類結果 (中分類、地点 3(二の浜)、第 1 回調査 (2007 年 9 月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )
1 プラスチック類	1 袋類	0.1	1.0	13.7
	2 プラボトル	0.0	1.6	0.8
	3 容器類	0.1	0.5	33.1
	4 ひも類・シート類	0.3	4.7	19.4
	5 雑貨類	2.1	64.9	17.7
	6 漁具	0.1	0.3	21.8
	7 破片類	0.4	1.3	83.1
	9 その他具体的に	0.4	1.8	41.1
	プラスチック類 計		3.6	76.0
2 ゴム類	5 ゴムの破片	0.0	0.0	1.6
	6 その他具体的に	0.1	0.8	0.8
ゴム類 計		0.1	0.8	2.4
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.0	0.4	71.0
	3 発泡スチロールの破片	0.2	7.8	142.7
	発泡スチロール類 計	0.2	8.2	213.7
4 紙類	1 容器類	0.0	0.0	0.8
	2 包装	0.2	0.5	4.0
	4 紙片等	0.0	0.0	0.8
	5 その他具体的に	0.0	0.0	1.6
	紙類 計	0.2	0.6	7.3
5 布類	2 軍手	0.0	0.4	1.6
	3 布片	0.2	0.8	1.6
	布類 計	0.2	1.2	3.2
6 ガラス・陶磁器類	3 ガラス破片	0.0	0.0	1.6
	ガラス・陶磁器類 計	0.0	0.0	1.6
7 金属類	1 缶	0.0	0.3	0.8
	3 雑貨類	0.0	0.0	2.4
	4 金属片	0.0	0.0	2.4
	金属類 計	0.0	0.3	5.6
8 その他の人工物	1 木類	7.6	18.9	32.3
	2 粗大ゴミ(具体的に)	0.6	0.4	3.2
	その他の人工物 計	8.2	19.4	35.5
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	5.8	23.5	-
	2 海藻	42.7	375.8	-
生物系漂着物 計	48.5	399.3	-	

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
注3: 表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-1(4) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点4(ナホトカの碑東側)、第1回調査(2007年9月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )
1 プラスチック類	1 袋類	0.0	0.0	3.7
	2 プラボトル	0.1	1.9	3.0
	3 容器類	0.1	0.2	15.6
	4 ひも類・シート類	0.1	0.3	21.5
	5 雑貨類	0.2	0.4	7.4
	6 漁具	0.2	0.9	9.9
	7 破片類	0.2	0.8	27.4
	9 その他具体的に	0.2	1.6	44.4
	プラスチック類 計		1.1	6.2
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.1	3.4	186.7
	3 発泡スチロールの破片	0.5	23.1	576.3
	発泡スチロール類 計	0.5	26.6	763.0
4 紙類	4 紙片等	0.0	0.0	1.5
	5 その他具体的に	0.0	0.0	3.7
	紙類 計	0.0	0.0	5.2
6 ガラス・陶磁器類	1 ガラス	0.5	0.6	3.7
	2 陶磁器類	0.1	0.1	3.7
	3 ガラス破片	0.0	0.0	3.7
	4 陶磁器類破片	0.4	0.1	2.2
	ガラス・陶磁器類 計	0.9	0.8	13.3
7 金属類	1 缶	0.0	0.0	0.7
	4 金属片	0.0	0.0	1.5
	金属類 計	0.1	0.0	2.2
8 その他の人工物	1 木類	1.7	7.7	33.3
	2 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)	0.1	0.3	3.7
	その他の人工物 計	1.8	8.0	37.0
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	7.4	54.5	-
	2 海藻	21.1	108.9	-
生物系漂着物 計	28.5	163.4	-	

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
注3: 表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-1(5) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点5(福良の浜)、第1回調査(2007年9月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )
1 プラスチック類	1 袋類	0.0	0.1	24.1
	2 プラボトル	1.0	19.0	31.9
	3 容器類	0.7	5.0	212.9
	4 ひも類・シート類	6.6	55.2	114.7
	5 雑貨類	0.3	1.6	62.1
	6 漁具	3.1	7.8	106.0
	7 破片類	2.9	21.1	866.4
	9 その他具体的に	4.7	25.8	180.2
	プラスチック類 計		19.4	135.7
2 ゴム類	1 ボール	0.1	0.2	2.6
	3 ゴム手袋	0.0	0.0	0.9
	5 ゴムの破片	0.1	0.1	4.3
	6 その他具体的に	0.6	2.2	7.8
	ゴム類 計		0.8	2.6
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.3	1.0	66.4
	3 発泡スチロールの破片	0.6	8.5	507.8
	発泡スチロール類 計		0.9	9.5
4 紙類	1 容器類	0.1	0.9	1.7
	4 紙片等	0.0	0.0	0.9
紙類 計		0.1	1.0	2.6
5 布類	1 衣服類	0.0	0.0	0.9
	3 布片	0.2	2.6	1.7
	布類 計		0.2	2.7
6 ガラス・陶磁器類	1 ガラス	0.3	0.6	1.7
	ガラス・陶磁器類 計		0.3	0.6
7 金属類	1 缶	0.0	0.1	0.9
	3 雑貨類	0.0	0.0	0.9
	金属類 計		0.0	0.2
8 その他の人工物	1 木類	0.0	0.0	1.7
	5 医療系廃棄物	0.2	0.5	8.6
	その他の人工物 計		0.2	0.5
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	70.9	342.4	-
	2 海藻	18.5	103.5	-
生物系漂着物 計		89.4	445.9	-

注1：表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2：表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3：表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4：表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-1(6) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点6(製塩所廃跡)、第1回調査(2007年9月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )
1 プラスチック類	1 袋類	0.0	0.1	17.9
	2 プラボトル	0.5	12.6	16.1
	3 容器類	0.3	3.4	21.4
	4 ひも類・シート類	3.0	27.0	53.6
	5 雑貨類	0.0	0.1	3.6
	6 漁具	0.0	1.3	10.7
	7 破片類	0.3	0.2	19.6
	9 その他具体的に	0.2	1.9	26.8
	プラスチック類 計		4.3	46.5
2 ゴム類	6 その他具体的に	0.3	0.9	3.6
	ゴム類 計		0.3	0.9
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.1	1.8	78.6
	3 発泡スチロールの破片	0.3	12.6	83.9
	4 魚箱(トロ箱)	0.2	26.8	21.4
	発泡スチロール類 計		0.6	41.2
5 布類	3 布片	0.1	0.5	1.8
	布類 計		0.1	0.5
6 ガラス・陶磁器類	1 ガラス	0.7	1.0	7.1
	3 ガラス破片	0.1	0.0	3.6
	ガラス・陶磁器類 計		0.7	1.1
7 金属類	1 缶	0.1	0.9	1.8
	金属類 計		0.1	0.9
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	85.8	211.7	-
	2 海藻	0.5	3.6	-
生物系漂着物 計		86.3	215.2	-

注1：表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2：表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3：表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4：表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-2(1) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点1(験潮所)、第2回調査(2007年11月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )
1 プラスチック類	1 袋類	0.1	0.4	48.4
	2 プラボトル	0.4	8.1	12.6
	3 容器類	0.8	7.6	212.6
	4 ひも類・シート類	1.4	13.4	180.0
	5 雑貨類	0.4	1.4	102.1
	6 漁具	0.4	2.2	48.4
	7 破片類	2.8	19.8	700.0
	9 その他具体的に	1.6	5.8	176.8
	プラスチック類 計		7.8	58.7
2 ゴム類	1 ボール	0.1	0.2	4.2
	2 風船	0.0	0.0	3.2
	3 ゴム手袋	0.1	0.3	1.1
	4 輪ゴム	0.0	0.0	1.1
	5 ゴムの破片	0.1	1.2	22.1
	6 その他具体的に	0.2	1.1	1.1
ゴム類 計		0.4	2.8	32.6
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.4	8.6	1032.6
	2 フイ	0.2	8.4	1.1
	3 発泡スチロールの破片	1.2	9.9	441.1
発泡スチロール類 計		1.8	26.9	1474.7
4 紙類	1 容器類	0.0	0.1	1.1
紙類 計		0.0	0.1	1.1
5 布類	3 布片	0.3	0.9	9.5
布類 計		0.3	0.9	9.5
6 ガラス・陶磁器類	3 ガラス破片	0.2	0.1	14.7
	4 陶磁器類破片	0.0	0.0	4.2
ガラス・陶磁器類 計		0.2	0.1	18.9
7 金属類	3 雑貨類	0.0	0.0	5.3
	4 金属片	0.0	0.0	3.2
金属類 計		0.1	0.1	8.4
8 その他の人工物	1 木類	8.4	21.6	46.3
	4 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)	0.0	0.0	1.1
	5 医療系廃棄物	0.0	0.0	4.2
	6 その他具体的に	3.5	63.2	1.1
	その他の人工物 計		11.9	84.8
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	18.5	77.8	-
	2 海藻	0.7	8.1	-
生物系漂着物 計		19.1	85.8	-

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3: 表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-2(2) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点2(水族館)、第2回調査(2007年11月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )
1 プラスチック類	1 袋類	0.0	0.0	1.0
	2 プラボトル	0.8	20.3	17.0
	3 容器類	0.0	0.2	2.0
	4 ひも類・シート類	0.0	0.0	1.0
	5 雑貨類	0.1	0.1	3.0
	6 漁具	0.0	0.1	2.0
	7 破片類	0.0	0.1	7.0
	9 その他具体的に	0.1	0.2	5.0
	プラスチック類 計		1.0	21.0
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.0	0.0	4.0
	2 フイ	0.1	1.5	1.0
	3 発泡スチロールの破片	0.1	4.4	62.0
発泡スチロール類 計		0.1	6.0	67.0
5 布類	1 衣服類	0.2	1.0	1.0
布類 計		0.2	1.0	1.0
6 ガラス・陶磁器類	3 ガラス破片	0.1	0.0	21.0
	ガラス・陶磁器類 計		0.1	0.0
7 金属類	3 雑貨類	0.0	0.0	1.0
	4 金属片	0.0	0.0	1.0
金属類 計		0.0	0.0	2.0
8 その他の人工物	1 木類	13.8	20.4	1.0
	その他の人工物 計		13.8	20.4
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	0.2	1.8	-
	2 海藻	0.9	10.3	-
生物系漂着物 計		1.1	12.0	-

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3: 表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-2(3) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点3(二の浜)、第2回調査(2007年11月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )
1 プラスチック類	1 袋類	0.0	0.0	2.4
	2 プラボトル	0.5	8.4	12.9
	3 容器類	0.2	1.8	46.0
	4 ひも類・シート類	0.0	0.1	5.6
	5 雑貨類	0.1	0.1	10.5
	6 漁具	0.5	1.8	20.2
	7 破片類	0.3	1.8	75.8
	9 その他具体的に	0.8	3.0	41.1
	プラスチック類 計		2.4	17.0
2 ゴム類	5 ゴムの破片	0.0	0.0	2.4
	6 その他具体的に	0.3	0.6	1.6
ゴム類 計		0.4	0.7	4.0
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.0	0.9	132.3
	2 フイ	0.1	3.6	1.6
	3 発泡スチロールの破片	0.2	10.5	314.5
発泡スチロール類 計		0.4	15.1	448.4
4 紙類	1 容器類	0.0	0.3	1.6
	紙類 計		0.0	0.3
5 布類	2 軍手	0.0	0.8	0.8
	布類 計		0.0	0.8
6 ガラス・陶磁器類	1 ガラス	0.1	0.2	2.4
	3 ガラス破片	0.0	0.0	0.8
	4 陶磁器類破片	0.1	0.0	0.8
	ガラス・陶磁器類 計		0.2	4.0
7 金属類	1 缶	0.1	0.7	3.2
	3 雑貨類	0.0	0.0	0.8
	4 金属片	0.0	0.0	0.8
	金属類 計		0.1	4.8
8 その他の人工物	1 木類	1.4	3.2	9.7
	3 オイルボール	0.0	0.0	0.8
	5 医療系廃棄物	0.0	0.0	0.8
	その他の人工物 計		1.4	3.2
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	1.8	6.1	-
	2 海藻	6.9	72.9	-
生物系漂着物 計		8.6	79.0	-

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。

注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。

注3: 表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。

注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-2(4) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点4(ナホトカの碑東側)、第2回調査(2007年11月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )	
1 プラスチック類	1 袋類	0.0	0.1	1.5	
	2 プラボトル	0.5	11.9	8.1	
	3 容器類	0.0	0.1	8.1	
	5 雑貨類	0.1	0.1	4.4	
	6 漁具	0.0	0.1	3.7	
	7 破片類	0.0	0.0	6.7	
	9 その他具体的に	0.0	0.0	3.0	
	プラスチック類 計		0.7	12.3	35.6
	2 ゴム類	6 その他具体的に	0.3	1.1	0.7
ゴム類 計			0.3	0.7	
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.0	0.1	40.0	
	3 発泡スチロールの破片	0.1	6.4	164.4	
	発泡スチロール類 計		0.1	6.5	204.4
6 ガラス・陶磁器類	3 ガラス破片	0.0	0.0	2.2	
	4 陶磁器類破片	0.0	0.0	1.5	
	ガラス・陶磁器類 計		0.0	3.7	
7 金属類	4 金属片	0.7	0.2	2.2	
	金属類 計		0.7	2.2	
8 その他の人工物	1 木類	0.4	1.1	1.5	
	その他の人工物 計		0.4	1.1	1.5
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	0.7	2.0	-	
	2 海藻	0.2	1.7	-	
生物系漂着物 計		0.9	3.7	-	

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。

注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。

注3: 表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。

注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-2(5) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点5(福良の浜)、第2回調査(2007年11月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )
1 プラスチック類	1 袋類	0.2	1.4	20.7
	2 プラボトル	0.9	12.0	25.0
	3 容器類	1.7	12.2	200.9
	4 ひも類・シート類	9.2	33.4	46.6
	5 雑貨類	0.6	1.5	56.0
	6 漁具	36.7	373.9	68.1
	7 破片類	2.7	16.1	311.2
	9 その他具体的に	1.1	8.2	116.4
	プラスチック類 計		53.1	458.6
2 ゴム類	1 ボール	0.1	0.2	2.6
	5 ゴムの破片	0.0	0.0	1.7
	6 その他具体的に	1.7	5.2	12.1
ゴム類 計		1.8	5.4	16.4
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.1	2.4	297.4
	3 発泡スチロールの破片	1.1	38.4	753.4
	発泡スチロール類 計	1.2	40.8	1050.9
4 紙類	1 容器類	0.0	0.1	0.9
	紙類 計	0.0	0.1	0.9
5 布類	2 軍手	0.1	0.1	0.9
	3 布片	0.1	0.2	3.4
	布類 計	0.1	0.3	4.3
6 ガラス・陶磁器類	5 その他具体的に	0.1	0.2	0.9
	ガラス・陶磁器類 計	0.1	0.2	0.9
7 金属類	1 缶	0.1	0.6	2.6
	2 釣り用品	0.1	0.0	0.9
	4 金属片	0.1	0.3	2.6
	金属類 計	0.3	0.9	6.0
8 その他の人工物	1 木類	11.0	29.8	20.7
	2 粗大ゴミ(具体的に)	8.6	46.8	0.9
	5 医療系廃棄物	0.0	0.0	0.9
	その他の人工物 計	19.6	76.7	22.4
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	11.4	49.7	-
	2 海藻	13.4	50.7	-
	生物系漂着物 計	24.8	100.4	-

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3: 表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-2(6) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点6(製塩所廃跡)、第2回調査(2007年11月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )
1 プラスチック類	1 袋類	0.0	0.0	10.7
	2 プラボトル	0.4	9.1	12.5
	3 容器類	0.1	0.3	14.3
	4 ひも類・シート類	0.9	7.1	7.1
	5 雑貨類	0.2	0.4	10.7
	6 漁具	0.4	1.1	16.1
	7 破片類	0.2	0.3	19.6
	9 その他具体的に	0.2	0.9	23.2
	プラスチック類 計		2.4	19.4
2 ゴム類	6 その他具体的に	0.5	1.4	3.6
	ゴム類 計	0.5	1.4	3.6
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.1	0.8	101.8
	2 ブイ	0.1	2.7	1.8
	3 発泡スチロールの破片	0.3	20.5	126.8
	5 その他具体的に	0.0	0.3	1.8
	発泡スチロール類 計	0.4	24.3	232.1
6 ガラス・陶磁器類	1 ガラス	0.2	0.3	1.8
	3 ガラス破片	0.0	0.0	1.8
ガラス・陶磁器類 計		0.2	0.3	3.6
8 その他の人工物	1 木類	2.2	4.0	5.4
	その他の人工物 計	2.2	4.0	5.4
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	5.5	29.9	-
	2 海藻	0.0	0.2	-
生物系漂着物 計		5.5	30.1	-

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3: 表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-3(1) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点1(験潮所)、第4回調査(2008年4月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )
1 プラスチック類	1 袋類	0.4	13.3	501.1
	2 プラボトル	0.4	5.1	12.6
	3 容器類	1.3	11.3	380.0
	4 ひも類・シート類	3.0	17.9	240.0
	5 雑貨類	0.7	1.1	134.7
	6 漁具	3.4	12.1	97.9
	7 破片類	2.9	18.2	973.7
	9 その他具体的に	3.7	11.3	340.0
	プラスチック類 計		15.6	90.4
2 ゴム類	1 ボール	0.0	0.1	2.1
	2 風船	0.0	0.0	1.1
	3 ゴム手袋	0.1	0.2	2.1
	5 ゴムの破片	0.0	0.1	3.2
	6 その他具体的に	0.4	1.6	2.1
	ゴム類 計		0.6	1.9
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.4	8.2	1209.5
	3 発泡スチロールの破片	0.4	10.4	565.3
	発泡スチロール類 計		0.8	18.6
4 紙類	1 容器類	0.0	0.3	1.1
	紙類 計		0.0	0.3
5 布類	2 軍手	0.1	0.1	1.1
	3 布片	0.0	0.0	1.1
	布類 計		0.1	0.1
6 ガラス・陶磁器類	1 ガラス	0.0	0.0	-
	3 ガラス破片	0.4	0.2	45.3
	4 陶磁器類破片	0.1	0.0	3.2
	ガラス・陶磁器類 計		0.4	0.3
7 金属類	1 缶	10.9	211.1	2.1
	3 雑貨類	0.2	0.2	12.6
	4 金属片	0.0	0.0	2.1
	金属類 計		11.1	211.3
8 その他の人工物	1 木類	1.4	1.6	1.1
	4 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)	0.4	0.3	23.2
	5 医療系廃棄物	0.0	0.0	5.3
	その他の人工物 計		1.8	1.9
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	14.0	78.5	-
	2 海藻	68.4	150.0	-
	3 その他(死骸等)	0.0	0.1	14.7
	生物系漂着物 計		82.4	228.7

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3: 表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-3(2) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点2(水族館)、第4回調査(2008年4月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )
1 プラスチック類	1 袋類	0.0	0.0	8.0
	2 プラボトル	0.0	0.1	1.0
	3 容器類	0.1	0.4	9.0
	4 ひも類・シート類	1.7	14.1	18.0
	5 雑貨類	0.1	0.1	5.0
	6 漁具	0.1	0.2	6.0
	7 破片類	0.0	0.0	13.0
	9 その他具体的に	0.1	0.1	8.0
	プラスチック類 計		2.1	15.0
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.0	0.0	5.0
	3 発泡スチロールの破片	0.2	14.1	17.0
	発泡スチロール類 計		0.2	14.1
4 紙類	1 容器類	0.0	0.5	1.0
	紙類 計		0.0	0.5
6 ガラス・陶磁器類	1 ガラス	0.0	0.0	1.0
	3 ガラス破片	0.4	0.1	95.0
	4 陶磁器類破片	0.1	0.0	8.0
	ガラス・陶磁器類 計		0.5	0.2
7 金属類	1 缶	0.0	0.3	1.0
	3 雑貨類	0.0	0.0	2.0
金属類 計		0.0	0.3	3.0
8 その他の人工物	1 木類	0.1	0.2	1.0
	その他の人工物 計		0.1	0.2
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	1.5	25.5	-
	2 海藻	21.2	94.5	-
	生物系漂着物 計		22.7	120.1

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3: 表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-3(3) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点3(二の浜)、第4回調査(2008年4月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )
1 プラスチック類	1 袋類	0.1	0.2	2.4
	2 プラボトル	0.5	8.2	21.0
	3 容器類	0.7	11.4	52.4
	4 ひも類・シート類	1.6	11.3	26.6
	5 雑貨類	0.6	1.3	19.4
	6 漁具	0.6	1.0	27.4
	7 破片類	0.6	2.7	104.0
	9 その他具体的に	0.6	1.7	34.7
	プラスチック類 計		5.4	37.9
2 ゴム類	1 ボール	0.0	0.0	2.4
	6 その他具体的に	0.7	1.7	4.8
ゴム類 計		0.7	1.7	7.3
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.1	1.3	131.5
	3 発泡スチロールの破片	1.3	32.3	304.0
発泡スチロール類 計		1.4	33.6	435.5
4 紙類	1 容器類	0.0	0.0	0.8
	紙類 計	0.0	0.0	0.8
5 布類	3 布片	0.0	0.1	0.8
	布類 計	0.0	0.1	0.8
6 ガラス・陶磁器類	1 ガラス	0.1	0.2	1.6
	3 ガラス破片	0.0	0.0	4.0
	4 陶磁器類破片	0.0	0.0	0.8
	ガラス・陶磁器類 計	0.1	0.3	6.5
7 金属類	1 缶	0.0	0.1	0.8
	3 雑貨類	0.0	0.0	0.8
	4 金属片	0.0	0.0	0.8
	金属類 計	0.0	0.1	2.4
8 その他の人工物	1 木類	6.0	14.1	0.8
	4 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)	0.0	0.1	3.2
	5 医療系廃棄物	0.0	0.0	1.6
	その他の人工物 計	6.1	14.2	5.6
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	5.2	50.2	-
	2 海藻	4.4	29.9	-
生物系漂着物 計		9.6	80.1	-

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3: 表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-3(4) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点4(ナホトカの碑東側)、第4回調査(2008年4月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )
1 プラスチック類	1 袋類	0.0	0.0	2.2
	2 プラボトル	0.2	4.9	5.9
	3 容器類	0.3	1.3	32.6
	4 ひも類・シート類	6.4	23.1	8.9
	5 雑貨類	0.1	0.2	10.4
	6 漁具	0.1	0.4	9.6
	7 破片類	0.7	1.6	71.9
	9 その他具体的に	0.2	1.4	31.9
	プラスチック類 計		8.0	32.9
2 ゴム類	6 その他具体的に	0.1	0.1	1.5
	ゴム類 計	0.1	0.1	1.5
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.0	0.1	156.3
	2 フイ	0.4	5.2	1.5
	3 発泡スチロールの破片	0.6	19.9	443.0
発泡スチロール類 計		1.0	25.2	600.7
4 紙類	1 容器類	0.1	0.7	0.7
	紙類 計	0.1	0.7	0.7
5 布類	3 布片	0.0	0.0	0.7
	布類 計	0.0	0.0	0.7
6 ガラス・陶磁器類	3 ガラス破片	0.0	0.0	4.4
	4 陶磁器類破片	0.1	0.0	3.0
	ガラス・陶磁器類 計	0.2	0.0	7.4
7 金属類	4 金属片	0.0	0.0	1.5
	金属類 計	0.0	0.0	1.5
8 その他の人工物	1 木類	0.7	0.5	0.7
	4 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)	0.0	0.0	3.0
	その他の人工物 計	0.8	0.6	3.7
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	3.7	16.3	-
	2 海藻	14.6	77.1	-
生物系漂着物 計		18.3	93.4	-

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3: 表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-3(5) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点5(福良の浜)、第4回調査(2008年4月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )	
1 プラスチック類	1 袋類	0.0	0.1	16.4	
	2 プラボトル	1.5	29.6	29.3	
	3 容器類	0.7	6.5	32.8	
	4 ひも類・シート類	2.4	13.8	14.7	
	5 雑貨類	3.6	102.1	12.9	
	6 漁具	3.7	31.7	37.9	
	7 破片類	1.4	8.8	58.6	
	9 その他具体的に	0.2	0.3	10.3	
	プラスチック類 計		13.6	192.9	212.9
	2 ゴム類	1 ボール	0.0	0.0	0.9
3 ゴム手袋		0.0	0.0	0.9	
6 その他具体的に		0.1	0.5	4.3	
ゴム類 計			0.1	6.0	
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.0	0.5	29.3	
	3 発泡スチロールの破片	0.4	22.9	199.1	
	4 魚箱(トコ箱)	0.2	0.4	0.9	
	発泡スチロール類 計		0.6	229.3	
6 ガラス・陶磁器類	3 ガラス破片	0.0	0.0	0.9	
	ガラス・陶磁器類 計		0.0	0.9	
7 金属類	1 缶	0.2	0.6	1.7	
	金属類 計		0.2	1.7	
8 その他の人工物	1 木類	7.8	11.9	0.9	
	4 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)	0.0	0.0	0.9	
	その他の人工物 計		7.9	11.9	
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	6.8	81.2	-	
	2 海藻	7.6	34.6	-	
	生物系漂着物 計		14.4	115.8	

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3: 表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-3(6) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点6(製塩所廃跡)、第4回調査(2008年4月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )	
1 プラスチック類	1 袋類	0.0	0.0	5.4	
	3 容器類	0.1	0.4	5.4	
	4 ひも類・シート類	0.2	1.3	17.9	
	5 雑貨類	0.0	0.0	5.4	
	6 漁具	0.0	0.1	1.8	
	7 破片類	1.3	8.9	19.6	
	9 その他具体的に	0.1	0.3	7.1	
	プラスチック類 計		1.7	11.0	62.5
	3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.0	0.0	8.9
		3 発泡スチロールの破片	0.5	28.6	69.6
発泡スチロール類 計			0.5	11.0	
5 布類	2 軍手	0.2	0.2	1.8	
	布類 計		0.2	1.8	
6 ガラス・陶磁器類	1 ガラス	0.0	0.0	1.8	
	3 ガラス破片	0.2	0.0	12.5	
	4 陶磁器類破片	0.0	0.0	1.8	
	ガラス・陶磁器類 計		0.2	0.1	
8 その他の人工物	4 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)	0.0	0.0	3.6	
	その他の人工物 計		0.0	3.6	
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	2.1	35.9	-	
	生物系漂着物 計		2.1	35.9	

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3: 表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-4(1) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点1(験潮所)、第5回調査(2008年5月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )
1 プラスチック類	1 袋類	0.0	0.2	14.4
	2 プラボトル	0.1	1.1	2.2
	3 容器類	0.1	0.5	68.9
	4 ひも類・シート類	0.7	3.7	120.0
	5 雑貨類	0.0	0.1	30.0
	6 漁具	0.1	0.6	16.7
	7 破片類	0.5	2.8	417.8
	9 その他具体的に	0.8	2.6	87.8
	プラスチック類 計		2.3	11.6
2 ゴム類	1 ボール	0.0	0.0	1.1
	5 ゴムの破片	0.0	0.0	8.9
ゴム類 計		0.0	0.0	10.0
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.0	0.1	16.7
	3 発泡スチロールの破片	0.1	2.7	250.0
発泡スチロール類 計		0.1	2.8	266.7
5 布類	3 布片	0.0	0.0	1.1
	布類 計	0.0	0.0	1.1
6 ガラス・陶磁器類	3 ガラス破片	1.0	0.6	170.0
	4 陶磁器類破片	0.0	0.0	3.3
	ガラス・陶磁器類 計	1.0	0.6	173.3
7 金属類	3 雑貨類	0.0	0.0	4.4
	4 金属片	0.0	0.0	2.2
金属類 計		0.0	0.0	6.7
8 その他の人工物	4 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)	0.1	0.1	2.2
	5 医療系廃棄物	0.0	0.0	1.1
	その他の人工物 計	0.1	0.1	3.3
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	0.9	2.6	-
	2 海藻	0.6	3.0	-
生物系漂着物 計		1.6	5.6	-

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3: 表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-4(2) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点2(水族館)、第5回調査(2008年5月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )	
1 プラスチック類	1 袋類	0.0	0.0	2.0	
	3 容器類	0.0	0.4	9.0	
	4 ひも類・シート類	0.3	1.2	24.0	
	5 雑貨類	0.0	0.3	1.0	
	7 破片類	0.1	0.1	25.0	
	9 その他具体的に	0.1	0.9	10.0	
	プラスチック類 計		0.5	3.0	71.0
	2 ゴム類	5 ゴムの破片	0.0	0.0	1.0
		ゴム類 計	0.0	0.0	1.0
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.0	0.6	3.0	
	3 発泡スチロールの破片	0.1	0.4	27.0	
発泡スチロール類 計		0.1	1.0	30.0	
5 布類	4 糸、毛糸	0.0	0.0	1.0	
	布類 計	0.0	0.0	1.0	
6 ガラス・陶磁器類	3 ガラス破片	0.9	0.5	441.0	
	4 陶磁器類破片	0.0	0.0	7.0	
	ガラス・陶磁器類 計	0.9	0.5	448.0	
7 金属類	3 雑貨類	0.0	0.0	3.0	
	4 金属片	0.1	0.0	9.0	
金属類 計		0.1	0.0	12.0	
8 その他の人工物	2 粗大ゴミ(具体的に)	1.0	3.0	1.0	
	その他の人工物 計	1.0	3.0	1.0	
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	1.2	8.0	-	
	2 海藻	11.2	73.0	-	
生物系漂着物 計		12.4	81.0	-	

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3: 表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-4(3) 共通調査における漂着ゴミ分類結果 (中分類、地点 3(二の浜)、第 5 回調査 (2008 年 5 月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )
1 プラスチック類	1 袋類	0.0	0.0	3.5
	3 容器類	0.0	0.1	14.8
	4 ひも類・シート類	0.0	0.0	2.6
	5 雑貨類	0.0	0.1	3.5
	6 漁具	0.0	0.0	1.7
	7 破片類	0.2	0.4	52.2
	9 その他具体的に	0.1	0.2	12.2
	プラスチック類 計	0.3	0.9	90.4
	2 ゴム類	6 その他具体的に	0.0	0.1
ゴム類 計	0.0	0.1	0.9	
3 発泡スチロール類	3 発泡スチロールの破片	0.0	0.4	96.5
	発泡スチロール類 計	0.0	0.4	96.5
5 布類	3 布片	0.0	0.0	0.9
	布類 計	0.0	0.0	0.9
6 ガラス・陶磁器類	3 ガラス破片	0.0	0.0	18.3
	ガラス・陶磁器類 計	0.0	0.0	18.3
7 金属類	4 金属片	0.0	0.0	2.6
	金属類 計	0.0	0.0	2.6
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	0.7	3.4	-
	2 海藻	0.2	3.5	-
	生物系漂着物 計	0.9	6.8	-

注1：表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2：表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3：表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4：表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-4(4) 共通調査における漂着ゴミ分類結果 (中分類、地点 4(ナホトカの碑東側)、第 5 回調査 (2008 年 5 月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )
1 プラスチック類	1 袋類	0.0	0.4	5.6
	2 プラボトル	0.1	2.0	1.6
	3 容器類	0.1	0.3	15.2
	4 ひも類・シート類	0.0	0.2	4.0
	5 雑貨類	0.1	0.3	6.4
	6 漁具	0.0	0.2	2.4
	7 破片類	0.2	0.5	56.0
	9 その他具体的に	0.0	0.1	6.4
	プラスチック類 計	0.5	3.9	97.6
2 ゴム類	5 ゴムの破片	0.0	0.1	2.4
	ゴム類 計	0.0	0.1	2.4
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.0	0.6	5.6
	3 発泡スチロールの破片	0.0	0.6	189.6
発泡スチロール類 計	0.0	1.2	195.2	
5 布類	1 衣服類	0.0	0.1	1.6
	3 布片	0.0	0.0	0.8
布類 計	0.0	0.1	2.4	
6 ガラス・陶磁器類	3 ガラス破片	0.1	0.0	16.0
	ガラス・陶磁器類 計	0.1	0.0	16.0
7 金属類	4 金属片	0.0	0.0	0.8
	金属類 計	0.0	0.0	0.8
8 その他の人工物	1 木類	0.0	0.0	0.8
	5 医療系廃棄物	0.0	0.0	0.8
	その他の人工物 計	0.0	0.0	1.6
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	0.9	6.0	-
	2 海藻	5.8	55.2	-
生物系漂着物 計	6.7	61.2	-	

注1：表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2：表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3：表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4：表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-4(5) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点5(福良の浜)、第5回調査(2008年5月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )
1 プラスチック類	1) 袋類	0.0	0.4	9.6
	2) プラボトル	0.1	1.9	4.3
	3) 容器類	0.1	0.8	21.7
	4) ひも類・シート類	0.0	0.4	8.7
	5) 雑貨類	0.0	0.3	5.2
	6) 漁具	0.1	0.5	5.2
	7) 破片類	0.2	1.7	60.9
	9) その他具体的に	0.1	0.5	7.8
	プラスチック類 計		0.7	6.6
2) ゴム類	5) ゴムの破片	0.0	0.2	2.6
	ゴム類 計	0.0	0.2	2.6
3) 発泡スチロール類	3) 発泡スチロールの破片	0.1	3.6	157.4
	発泡スチロール類 計	0.1	3.6	157.4
4) 紙類	1) 容器類	0.0	0.1	0.9
	4) 紙片等	0.0	0.3	0.9
	紙類 計	0.0	0.3	1.7
7) 金属類	1) 缶	0.1	0.6	1.7
	4) 金属片	0.0	0.0	0.9
	金属類 計	0.1	0.6	2.6
8) その他の人工物	1) 木類	0.4	0.7	0.9
	その他の人工物 計	0.4	0.7	0.9
9) 生物系漂着物	1) 流木、灌木等	3.2	6.4	-
	2) 海藻	27.1	133.7	-
	生物系漂着物 計	30.3	140.1	-

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。

注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。

注3: 表中の個数のうち「流木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。

注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-4(6) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点6(製塩所廃跡)、第5回調査(2008年5月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )	
1 プラスチック類	1) 袋類	0.0	0.0	1.8	
	2) プラボトル	0.1	1.8	3.6	
	3) 容器類	0.1	0.1	5.4	
	4) ひも類・シート類	0.0	0.1	3.6	
	5) 雑貨類	0.0	0.2	3.6	
	9) その他具体的に	0.0	0.2	7.1	
	プラスチック類 計		0.2	2.4	26.8
	3) 発泡スチロール類	3) 発泡スチロールの破片	0.0	1.2	50.0
		発泡スチロール類 計	0.0	1.2	50.0
4) 紙類	4) 紙片等	0.0	0.1	1.8	
	紙類 計	0.0	0.1	1.8	
6) ガラス・陶磁器類	3) ガラス破片	0.2	0.1	32.1	
	ガラス・陶磁器類 計	0.2	0.1	32.1	
7) 金属類	2) 釣り用品	0.1	0.1	1.8	
	金属類 計	0.1	0.1	1.8	
8) その他の人工物	1) 木類	0.4	0.5	1.8	
	その他の人工物 計	0.4	0.5	1.8	
9) 生物系漂着物	1) 流木、灌木等	2.5	4.6	-	
	2) 海藻	3.5	46.4	-	
	生物系漂着物 計	6.0	51.0	-	

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。

注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。

注3: 表中の個数のうち「流木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。

注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-5(1) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点1(験潮所)、第6回調査(2008年9月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )
1 プラスチック類	1 袋類	0.0	0.0	11.3
	2 プラボトル	0.5	5.4	16.3
	3 容器類	0.1	0.6	41.3
	4 ひも類・シート類	1.1	11.6	67.5
	5 雑貨類	0.1	0.3	20.0
	6 漁具	0.3	1.8	17.5
	7 破片類	0.4	3.4	130.0
	9 その他具体的に	1.6	6.0	46.3
	プラスチック類 計		4.0	29.1
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.0	0.6	78.8
	3 発泡スチロールの破片	0.1	9.7	75.0
	発泡スチロール類 計	0.1	10.3	153.8
4 紙類	4 紙片等	0.0	0.0	2.5
	紙類 計	0.0	0.0	2.5
5 布類	2 軍手	0.3	0.3	2.5
	3 布片	0.0	0.0	1.3
布類 計		0.3	0.3	3.8
6 ガラス・陶磁器類	3 ガラス破片	0.2	0.1	22.5
	4 陶磁器類破片	0.0	0.0	1.3
	ガラス・陶磁器類 計	0.3	0.2	23.8
7 金属類	1 缶	0.1	1.0	2.5
	3 雑貨類	0.0	0.0	1.3
	金属類 計	0.1	1.0	3.8
8 その他の人工物	1 木類	1.1	4.0	7.5
	4 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)	0.0	0.0	1.3
	5 医療系廃棄物	0.0	0.0	2.5
	その他の人工物 計	1.1	4.1	11.3
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	1.8	17.4	-
	2 海藻	1.3	14.4	-
	生物系漂着物 計	3.1	31.7	-

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3: 表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-5(2) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点2(水族館)、第6回調査(2008年9月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )
1 プラスチック類	1 袋類	0.0	0.1	5.0
	2 プラボトル	0.3	5.7	6.0
	3 容器類	0.0	0.2	11.0
	4 ひも類・シート類	0.6	7.4	37.0
	5 雑貨類	0.3	12.0	4.0
	6 漁具	0.1	0.1	3.0
	7 破片類	0.1	0.1	20.0
	9 その他具体的に	0.0	0.1	6.0
	プラスチック類 計		1.4	25.7
2 ゴム類	6 その他具体的に	0.5	0.9	4.0
	ゴム類 計	0.5	0.9	4.0
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.0	0.2	14.0
	3 発泡スチロールの破片	0.0	1.6	38.0
	発泡スチロール類 計	0.0	1.8	52.0
4 紙類	4 紙片等	0.0	0.1	4.0
	5 その他具体的に	0.0	0.0	3.0
	紙類 計	0.0	0.1	7.0
5 布類	2 軍手	0.0	0.1	2.0
	3 布片	0.1	2.2	2.0
布類 計		0.1	2.3	4.0
6 ガラス・陶磁器類	3 ガラス破片	0.1	0.1	33.0
	4 陶磁器類破片	0.0	0.0	1.0
	ガラス・陶磁器類 計	0.1	0.1	34.0
7 金属類	1 缶	0.3	1.4	5.0
	3 雑貨類	0.0	0.0	1.0
金属類 計		0.3	1.4	6.0
8 その他の人工物	1 木類	0.1	0.2	3.0
	5 医療系廃棄物	0.0	0.0	1.0
	その他の人工物 計	0.1	0.2	4.0
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	0.7	7.8	-
	2 海藻	5.2	74.5	-
	生物系漂着物 計	5.9	82.3	-

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3: 表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-5(3) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点3(二の浜)、第6回調査(2008年9月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )
1 プラスチック類	1 袋類	0.0	0.0	6.4
	2 プラボトル	0.2	1.3	4.0
	3 容器類	0.1	0.5	33.7
	4 ひも類・シート類	0.1	0.5	12.0
	5 雑貨類	0.0	0.2	8.8
	6 漁具	0.3	3.7	9.6
	7 破片類	0.5	2.9	74.7
	9 その他具体的に	0.1	0.1	12.0
	プラスチック類 計		1.2	9.2
2 ゴム類	4 輪ゴム	0.0	0.0	0.8
	5 ゴムの破片	0.0	0.0	0.8
ゴム類 計		0.0	0.0	1.6
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.0	0.1	11.2
	3 発泡スチロールの破片	0.0	0.4	12.9
発泡スチロール類 計		0.0	0.5	24.1
4 紙類	4 紙片等	0.1	0.2	1.6
	紙類 計	0.1	0.2	1.6
5 布類	3 布片	0.1	0.2	3.2
	布類 計	0.1	0.2	3.2
6 ガラス・陶磁器類	1 ガラス	0.0	0.1	0.8
	3 ガラス破片	0.0	0.0	0.8
ガラス・陶磁器類 計		0.0	0.1	1.6
7 金属類	4 金属片	0.0	0.0	0.8
	金属類 計	0.0	0.0	0.8
8 その他の人工物	1 木類	1.6	5.7	4.0
	5 医療系廃棄物	0.0	0.0	0.8
その他の人工物 計		1.6	5.7	4.8
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	0.2	2.1	-
	2 海藻	69.8	502.0	-
生物系漂着物 計		70.0	504.1	-

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3: 表中の個数のうち「流木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-5(4) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点4(ナホトカの碑東側)、第6回調査(2008年9月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )
1 プラスチック類	1 袋類	0.0	0.1	3.0
	2 プラボトル	0.4	6.1	10.4
	3 容器類	0.2	0.9	9.6
	4 ひも類・シート類	0.0	0.0	1.5
	5 雑貨類	0.0	0.2	5.2
	6 漁具	0.0	0.1	1.5
	7 破片類	0.1	0.3	23.7
	9 その他具体的に	0.0	0.2	8.9
	プラスチック類 計		0.7	7.8
2 ゴム類	5 ゴムの破片	0.0	0.0	1.5
	ゴム類 計	0.0	0.0	1.5
3 発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.0	1.4	36.3
	3 発泡スチロールの破片	0.0	1.9	69.6
発泡スチロール類 計		0.1	3.4	105.9
4 紙類	1 容器類	0.1	0.4	0.7
	紙類 計	0.1	0.4	0.7
5 布類	3 布片	0.0	0.0	0.7
	布類 計	0.0	0.0	0.7
6 ガラス・陶磁器類	3 ガラス破片	0.1	0.0	30.4
	4 陶磁器類破片	0.1	0.0	5.2
ガラス・陶磁器類 計		0.1	0.1	35.6
7 金属類	1 缶	0.3	2.6	8.1
	4 金属片	0.5	0.8	3.7
金属類 計		0.8	3.3	11.9
8 その他の人工物	1 木類	1.8	3.4	3.0
	その他の人工物 計	1.8	3.4	3.0
9 生物系漂着物	1 流木、灌木等	1.1	9.1	-
	2 海藻	11.2	76.9	-
生物系漂着物 計		12.3	86.0	-

注1: 表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2: 表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3: 表中の個数のうち「流木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4: 表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-5(5) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点5(福良の浜)、第6回調査(2008年9月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )		
1	プラスチック類	1 袋類	0.0	0.4	19.1	
		2 プラボトル	1.5	25.5	53.9	
		3 容器類	0.7	5.7	223.5	
		4 ひも類・シート類	0.5	5.1	26.1	
		5 雑貨類	0.5	3.8	49.6	
		6 漁具	5.2	65.7	56.5	
		7 破片類	2.1	17.1	348.7	
		9 その他具体的に	2.5	38.1	123.5	
		プラスチック類 計		13.1	161.3	900.9
		2	ゴム類	1 ボール	0.3	1.0
6 その他具体的に	0.4			1.0	6.1	
ゴム類 計		0.7	2.0	11.3		
3	発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.1	8.9	373.9	
		2 フイ	2.0	62.6	1.7	
		3 発泡スチロールの破片	0.6	30.2	344.3	
		発泡スチロール類 計		2.7	101.7	720.0
4	紙類	1 容器類	0.1	0.3	2.6	
		紙類 計		0.1	0.3	2.6
5	布類	1 衣服類	0.3	1.4	1.7	
		3 布片	0.1	1.3	3.5	
布類 計		0.3	2.7	5.2		
6	ガラス・陶磁器類	1 ガラス	1.2	2.0	7.8	
		3 ガラス破片	0.1	0.0	1.7	
		ガラス・陶磁器類 計		1.3	2.0	9.6
7	金属類	1 缶	0.2	2.0	6.1	
		3 雑貨類	0.0	0.0	1.7	
		4 金属片	0.0	0.0	0.9	
		金属類 計		0.2	2.0	8.7
8	その他の人工物	1 木類	22.5	65.7	49.6	
		4 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)	0.1	0.1	1.7	
		5 医療系廃棄物	0.0	0.0	1.7	
		その他の人工物 計		22.6	65.8	53.0
		生物系漂着物		18.6	175.7	-
9	生物系漂着物	1 流木、灌木等	3.6	69.6	-	
		生物系漂着物 計		22.2	245.2	-

注1：表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2：表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3：表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4：表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

表 1.5-5(6) 共通調査における漂着ゴミ分類結果(中分類、地点6(製塩所廃跡)、第6回調査(2008年9月))

大分類	中分類	重量 (kg/100m <sup>2</sup> )	容量 (L/100m <sup>2</sup> )	個数 (個/100m <sup>2</sup> )		
1	プラスチック類	1 袋類	0.0	0.1	3.6	
		2 プラボトル	0.3	3.0	7.1	
		3 容器類	0.1	0.2	12.5	
		4 ひも類・シート類	0.0	0.2	8.9	
		5 雑貨類	0.4	0.8	5.4	
		6 漁具	0.2	1.3	10.7	
		7 破片類	0.1	0.5	28.6	
		9 その他具体的に	0.7	2.7	30.4	
		プラスチック類 計		1.8	8.7	107.1
		2	ゴム類	1 ボール	0.2	0.3
5 ゴムの破片	0.1			0.3	1.8	
ゴム類 計		0.4	0.5	3.6		
3	発泡スチロール類	1 容器・包装等	0.1	1.7	158.9	
		3 発泡スチロールの破片	0.2	18.1	98.2	
		発泡スチロール類 計		0.3	19.8	257.1
6	ガラス・陶磁器類	1 ガラス	0.2	0.3	1.8	
		3 ガラス破片	0.2	0.1	16.1	
		4 陶磁器類破片	0.1	0.0	1.8	
		ガラス・陶磁器類 計		0.5	0.4	19.6
7	金属類	1 缶	0.1	0.4	1.8	
		3 雑貨類	0.0	0.0	1.8	
		4 金属片	0.0	0.0	1.8	
		金属類 計		0.1	0.4	5.4
8	その他の人工物	1 木類	0.0	0.0	5.4	
		5 医療系廃棄物	0.0	0.0	1.8	
		その他の人工物 計		0.0	0.1	7.1
9	生物系漂着物	1 流木、灌木等	66.5	210.7	-	
		生物系漂着物 計		66.5	211.0	-

注1：表中の「0.0」は、重量が0.05kg未満であることを示す。  
 注2：表中の「0.0」は、容量が0.05L未満であることを示す。  
 注3：表中の個数のうち「灌木」および「海藻」は、個数を計測しないため「-」で示す。  
 注4：表中の個数は、面積換算しているため、合計値が合わない場合がある。

## 1.6 分類結果（小分類）

### 1.6.1 福井県坂井市地域

第1～6回調査（2007年9月～2008年9月）の共通調査において回収した漂着ゴミの分類結果（小分類）を表 1.6-1～表 1.6-5 に示す。

表 1.6-1(1) 共通調査における漂着ゴミ分類結果

(小分類、個数、第1回調査(2007年9月))

地域	福井県坂井市地域					
	626.0					
回収面積(m <sup>2</sup> )	地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
<b>1. プラスチック類</b>						
1. 袋類						
1. 食品用・包装用(食品の包装・容器)	7	1		2	24	7
2. スーパー・コンビニの袋	6		1			1
3. お菓子の袋	12	3	6	2	3	
4. 6パックホルダー						
5. 農薬・肥料袋			1			
6. その他の袋	4	4	9	1	1	2
2. プラボトル						
1. 飲料用(ペットボトル)	23	4	1	4	27	9
2. 飲料用(ペットボトル以外)						
3. 洗剤・漂白剤	2					
4. 市販薬品(農薬含む)						
5. 化粧品容器						
6. 食品用(マヨネーズ・醤油等)	1				2	
7. その他のプラボトル	3				8	
3. 容器類						
1. カップ、食器	39	7	9	3	57	
2. 食品の容器						
3. 食品トレイ	22		5		17	
4. 小型調味料容器(お弁当用 醤油・ソース容器)	5	1		5	18	
5. ふた・キャップ	113	16	23	10	147	6
6. その他の容器類	22	4	4	3	8	6
4. ひも類・シート類						
1. ひも(ねじれ無し)		1			23	
2. ロープ(ねじれ有り)	100	29	16	26	106	22
3. テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	38	9	8	3	4	8
4. シート状プラスチック(ブルーシート)	10	1				
5. 雑貨類						
1. ストロー	19	4		6	36	
2. タバコのフィルター						
3. ライター	6	2	4	2	16	
4. おもちゃ	3	1	1	1	2	1
5. 文房具	1	2			1	
6. 苗木ポット	4		2		6	1
7. 生活雑貨類(ハブラシ、スプーン等)						
8. その他の雑貨類	36	8	15	1	11	
6. 漁具						
1. 釣り糸	1		1	1		
2. 釣りのルアー・浮き	2	1	1	1	9	2
3. プイ	9	2	8	7	39	2
4. 釣りの蛍光棒(ケミホタル)						
5. 魚網			2		1	
6. かご漁具	14	3	1	1	33	
7. カキ養殖用パイプ						
8. カキ養殖用コード	24	5	14	2	36	1
9. 釣りえさ袋・容器	1					1
10. その他の漁具	11				5	
7. 破片類						
1. シートや袋の破片(シートの破片)	82	14	16	4	134	
2. シートや袋の破片(袋の破片)	8	1	6	6		
3. プラスチックの破片	389	20	81	27	871	11
4. 漁具の破片						
5. ペットボトルラベルの破片						
8. レジンベレット(プラスチック粒)						
9. その他具体的に						
1. 燃え殻	81	91	18	4	108	2
2. コード配線類						
3. 薬きょう(猟銃の弾丸の殻)						
4. ウレタン	70	18	33	55	101	13
5. 農業資材(ビニールハウスのバックル等)						
6. 不明				1		
<b>2. ゴム類</b>						
1. ボール	2				3	
2. 風船						
3. ゴム手袋	1				1	
4. 輪ゴム	3					
5. ゴムの破片	4	6	2		5	
6. その他具体的に						
1. ゴムサンダル	1		1		8	2
2. 複合素材サンダル	1					
3. くつ・靴底	3				1	

表 1.6-1(2) 共通調査における漂着ゴミ分類結果

(小分類、個数、第1回調査(2007年9月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		626.0					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
3.発泡スチロール類							
1.容器・包装等							
	1.食品トレイ	269	89	88	230	71	41
	2.飲料用カップ						
	3.弁当・ラーメン等容器	65	7		22	6	3
	4.梱包資材	1					
2.フイ							
3.発泡スチロールの破片		716	363	177	778	589	47
4.魚箱(ト口箱)		1					12
5.その他具体的に		1					
4.紙類							
1.容器類							
	1.紙コップ						
	2.飲料用紙パック	2		1		2	
	3.紙皿						
2.包装							
	1.紙袋						
	2.タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)		2	1			
	3.菓子類包装紙			1			
	4.段ボール(箱、板等)			3			
	5.ボール紙箱						
3.花火の筒			5				
4.紙片等							
	1.新聞、雑誌、広告						
	2.ティッシュ、鼻紙					1	
	3.紙片	2	3	1	2		
5.その他具体的に							
	1.タバコの吸殻			2	5		
	2.葉巻などの吸い口						
5.布類							
1.衣服類						1	
2.軍手				2			
3.布片		7		2		2	1
4.糸、毛糸							
5.布ひも							
6.その他具体的に							
	1.毛布・カーペット						
	2.覆い(シート類)						
6.ガラス・陶磁器類							
1.ガラス							
	1.飲料用容器	1	1		5	1	3
	2.食品用容器					1	
	3.化粧品容器						
	4.市販薬品(農薬含む)容器						
	5.食器(コップ、ガラス皿等)						
	6.蛍光灯(金属部のみも含む)						
	7.電球(金属部のみも含む)						1
2.陶磁器類							
	1.食器						
	2.タイル・レンガ				5		
3.ガラス破片		16	28	2	5		2
4.陶磁器類破片		3	3		3		
5.その他具体的に		3					
7.金属類							
1.缶							
	1.アルミ製飲料用缶	6	3	1			1
	2.スチール製飲料用缶	1	1			1	
	3.食品用缶						
	4.スプレー缶(カセットボンベを含む)	1			1		
	5.潤滑油缶・ボトル						
	6.ドラム缶						
	7.その他の缶						
2.釣り用品							
	1.釣り針(糸のついたものを含む)						
	2.おもり		1				
	3.その他の釣り用品	2					
3.雑貨類							
	1.ふた・キャップ	3		3		1	
	2.プルタブ		1				
	3.針金						
	4.釘(くぎ)						
	5.電池						

表 1.6-1(3) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、個数、第1回調査(2007年9月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		626.0					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
4. 金属片							
	1. 金属片	13	6	1	2		
	2. アルミホイル・アルミ箔	7	1	2			
5. その他							
	1. コード配線類						
8. その他の人工物							
1. 木類							
	1. 木材・木片(角材・板)	48	9	40	45		
	2. 花火(手持ち花火)		1				
	3. 割り箸						
	4. つま楊枝						
	5. マッチ						
	6. 木炭(炭)			0			
	7. 物流用パレット						
	8. 梱包用木箱						
	9. その他具体的に	2				2	
	2. 粗大ゴミ(具体的に)						
	1. 家電製品・家具						
	2. バッテリー	1					
	3. 自転車・バイク						
	4. タイヤ						
	5. 自動車・部品(タイヤ・バッテリー以外)						
	6. その他具体的に			4			
	3. オイルボール						
	4. 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)	11	74		5		
	5. 医療系廃棄物						
	1. 注射器	1					
	2. バイアル					4	
	3. アンブル						
	4. 点滴パック						
	5. 錠剤パック					3	
	6. 点眼・点鼻薬容器						
	7. コンドーム						
	8. タンポンのアプリケーション						
	9. 紙おむつ						
	10. その他の医療系廃棄物	1				3	
	6. その他具体的に						
	1. 革製品		1				
	2. 船(FRP等材質を記入)						
9. 生物系漂着物							
	1. 流木、灌木等						
	1. 灌木	1517	745	191	743	1466	464
	2. 流木	4	10			16	2
	2. 海藻	0	0	0	1	0	0
	3. その他(死骸等)						
	1. 死骸等(具体的に)						
	2. その他具体的に						

表 1.6-1(4) 共通調査における漂着ゴミ分類結果

(小分類、重量(kg)、第1回調査(2007年9月))

地域	福井県坂井市地域					
	626.0					
回収面積(m <sup>2</sup> )	地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
1. プラスチック類						
1. 袋類						
1. 食品用・包装用(食品の包装・容器)	0.02	0.00		0.00	0.03	0.02
2. スーパー・コンビニの袋	0.00		0.02			0.00
3. お菓子の袋	0.01	0.00	0.00	0.01	0.00	
4. 6 バックホルダー						
5. 農薬・肥料袋			0.09			
6. その他の袋	0.02	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00
2. プラボトル						
1. 飲料用(ペットボトル)	1.01	0.14	0.05	0.14	0.93	0.31
2. 飲料用(ペットボトル以外)						
3. 洗剤・漂白剤	0.17					
4. 市販薬品(農薬含む)						
5. 化粧品容器						
6. 食品用(マヨネーズ・醤油等)	0.09				0.13	
7. その他のプラボトル	0.13				0.06	
3. 容器類						
1. カップ、食器	0.18	0.01	0.03	0.01	0.18	
2. 食品の容器						
3. 食品トレイ	0.03		0.00		0.06	
4. 小型調味料容器(お弁当用 醤油・ソース容器)	0.01	0.00		0.01	0.03	
5. ふた・キャップ	0.42	0.05	0.09	0.04	0.38	0.01
6. その他の容器類	0.19	0.07	0.02	0.01	0.16	0.14
4. ひも類・シート類						
1. ひも(ねじれ無し)		0.00			0.11	
2. ロープ(ねじれ有り)	2.13	1.51	0.33	0.09	7.57	1.64
3. テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	0.05	0.00	0.03	0.01	0.00	0.02
4. シート状プラスチック(ブルーシート)	0.01	0.00				
5. 雑貨類						
1. ストロー	0.01	0.00		0.00	0.02	
2. タバコのフィルター						
3. ライター	0.05	0.02	0.04	0.01	0.14	
4. おもちゃ	0.03	0.01	0.01	0.01	0.08	0.02
5. 文房具	0.01	0.01			0.01	
6. 苗木ポット	0.02		0.01		0.03	0.00
7. 生活雑貨類(ハブラシ、スプーン等)						
8. その他の雑貨類	1.65	0.56	2.56	0.24	0.08	
6. 漁具						
1. 釣り糸	0.00		0.00	0.04		
2. 釣りのルアー・浮き	0.03	0.01	0.00	0.00	0.10	0.01
3. ブイ	0.24	0.03	0.11	0.22	0.68	0.00
4. 釣りの蛍光棒(ケミホタル)						
5. 魚網			0.00		0.04	
6. かご漁具	0.40	0.04	0.00	0.00	0.44	
7. カキ養殖用パイプ						
8. カキ養殖用コード	0.06	0.01	0.05	0.01	0.08	0.00
9. 釣りえさ袋・容器	0.01					0.00
10. その他の漁具	1.57				2.30	
7. 破片類						
1. シートや袋の破片(シートの破片)	0.10	0.01	0.01	0.00	0.17	
2. シートや袋の破片(袋の破片)	0.01	0.00	0.01	0.01		
3. プラスチックの破片	1.99	0.04	0.46	0.26	3.18	0.16
4. 漁具の破片						
5. ペットボトルラベルの破片						
8. レジンベレット(プラスチック粒)						
9. その他具体的に						
1. 燃え殻	0.91	1.23	0.25	0.07	1.30	0.03
2. コード配線類						
3. 薬きょう(猟銃の弾丸の殻)						
4. ウレタン	0.16	0.02	0.21	0.10	4.21	0.06
5. 農業資材(ビニールハウスのパッカー等)						
6. 不明				0.13		
2. ゴム類						
1. ボール	0.16				0.17	
2. 風船						
3. ゴム手袋	0.10				0.05	
4. 輪ゴム	0.00					
5. ゴムの破片	0.24	0.59	0.03		0.08	
6. その他具体的に						
1. ゴムサンダル	0.13		0.13		0.37	0.16
2. 複合素材サンダル	0.03					
3. くつ・靴底	0.91				0.29	

表 1.6-1(5) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、重量(kg)、第1回調査(2007年9月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		626.0					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
<b>3. 発泡スチロール類</b>							
1. 容器・包装等							
	1. 食品トレイ	0.13	0.04	0.02	0.08	0.36	0.04
	2. 飲料用カップ						
	3. 弁当・ラーメン等容器	0.04	0.03		0.02	0.00	0.00
	4. 梱包資材	0.01					
2. プイ							
	3. 発泡スチロールの破片	0.53	0.22	0.21	0.63	0.65	0.16
	4. 魚箱(ト口箱)	0.11					0.12
	5. その他具体的に	0.00					
<b>4. 紙類</b>							
1. 容器類							
	1. 紙コップ						
	2. 飲料用紙パック	0.05		0.03		0.06	
	3. 紙皿						
2. 包装							
	1. 紙袋						
	2. タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)		0.02	0.00			
	3. 菓子類包装紙			0.01			
	4. 段ボール(箱、板等)			0.22			
	5. ボール紙箱						
3. 花火の筒							
			0.01				
4. 紙片等							
	1. 新聞、雑誌、広告						
	2. ティッシュ、鼻紙					0.00	
	3. 紙片	0.00	0.00	0.00	0.01		
5. その他具体的に							
	1. タバコの吸殻			0.00	0.00		
	2. 葉巻などの吸い口						
<b>5. 布類</b>							
1. 衣服類							
	2. 軍手			0.06		0.02	
	3. 布片	0.03		0.19		0.27	0.04
	4. 糸、毛糸						
	5. 布ひも						
6. その他具体的に							
	1. 毛布・カーペット						
	2. 覆い(シート類)						
<b>6. ガラス・陶磁器類</b>							
1. ガラス							
	1. 飲料用容器	0.13	0.11		0.62	0.12	0.36
	2. 食品用容器					0.27	
	3. 化粧品容器						
	4. 市販薬品(農薬含む)容器						
	5. 食器(コップ、ガラス皿等)						
	6. 蛍光灯(金属部のみも含む)						
	7. 電球(金属部のみも含む)						0.01
2. 陶磁器類							
	1. 食器						
	2. タイル・レンガ				0.16		
	3. ガラス破片	0.18	0.18	0.03	0.01		0.04
	4. 陶磁器類破片	0.06	0.01		0.48		
	5. その他具体的に	0.07					
<b>7. 金属類</b>							
1. 缶							
	1. アルミ製飲料用缶	0.13	0.07	0.02			0.03
	2. スチール製飲料用缶	0.03	0.04			0.03	
	3. 食品用缶						
	4. スプレー缶(カセットボンベを含む)	0.04			0.07		
	5. 潤滑油缶・ボトル						
	6. ドラム缶						
	7. その他の缶						
2. 釣り用品							
	1. 釣り針(糸のついたものを含む)						
	2. おもり		0.05				
	3. その他の釣り用品	0.07					
3. 雑貨類							
	1. ふた・キャップ	0.00		0.02		0.00	
	2. プルタブ		0.00				
	3. 針金						
	4. 釘(くぎ)						
	5. 電池						

表 1.6-1(6) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、重量(kg)、第1回調査(2007年9月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		626.0					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
4. 金属片	1. 金属片	1.82	0.04	0.00	0.01		
	2. アルミホイル・アルミ箔	0.03	0.00	0.00			
	5. その他						
8. その他の人工物							
1. 木類							
1. 木材・木片(角材・板)		9.29	0.66	9.18	2.32		
2. 花火(手持ち花火)			0.00				
3. 割り箸							
4. つま楊枝							
5. マッチ							
6. 木炭(炭)				0.22			
7. 物流用パレット							
8. 梱包用木箱							
9. その他具体的に		0.02				0.00	
2. 粗大ゴミ(具体的に)							
1. 家電製品・家具							
2. バッテリー		0.14					
3. 自転車・バイク							
4. タイヤ							
5. 自動車・部品(タイヤ・バッテリー以外)							
6. その他具体的に				0.72			
3. オイルボール							
4. 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)		0.17	7.42		0.10		
5. 医療系廃棄物							
1. 注射器		0.00					
2. バイアル						0.15	
3. アンブル							
4. 点滴バック							
5. 錠剤バック						0.00	
6. 点眼・点鼻薬容器							
7. コンドーム							
8. タンポンのアプリケーター							
9. 紙おむつ							
10. その他の医療系廃棄物		0.00				0.07	
6. その他具体的に							
1. 革製品			0.00				
2. 船(FRP等材質を記入)							
9. 生物系漂着物							
1. 流木、灌木等							
1. 灌木		65.55	8.60	7.23	9.99	15.38	2.61
2. 流木		11.19	10.01			66.91	45.42
2. 海藻		12.93	14.06	52.95	28.53	21.44	0.29
3. その他(死骸等)							
1. 死骸等(具体的に)							
2. その他具体的に							

表 1.6-1(7) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、容量(L)、第1回調査(2007年9月))

地域	福井県坂井市地域					
	626.0					
回収面積(m <sup>2</sup> )	地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
<b>1.プラスチック類</b>						
<b>1.袋類</b>						
1.食品用・包装用(食品の包装・容器)	0.06	0.00		0.01	0.06	0.05
2.スーパー・コンビニの袋	0.01		0.30			0.01
3.お菓子の袋	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	
4.6パックホルダー						
5.農薬・肥料袋			0.40			
6.その他の袋	0.10	0.00	0.52	0.00	0.00	0.00
<b>2.プラボトル</b>						
1.飲料用(ペットボトル)	15.13	3.24	2.00	2.50	21.45	7.05
2.飲料用(ペットボトル以外)						
3.洗剤・漂白剤	1.60					
4.市販薬品(農薬含む)						
5.化粧品容器						
6.食品用(マヨネーズ・醤油等)	2.00				0.25	
7.その他のプラボトル	1.75				0.35	
<b>3.容器類</b>						
1.カップ、食器	1.71	0.04	0.15	0.02	3.42	
2.食品の容器						
3.食品トレイ	0.14		0.00		0.52	
4.小型調味料容器(お弁当用 醤油・ソース容器)	0.01	0.00		0.03	0.31	
5.ふた・キャップ	1.03	0.06	0.34	0.25	1.23	0.06
6.その他の容器類	1.67	0.14	0.15	0.03	0.36	1.82
<b>4.ひも類・シート類</b>						
1.ひも(ねじれ無し)		0.00			1.03	
2.ロープ(ねじれ有り)	17.28	7.80	5.70	0.32	63.00	15.05
3.テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	0.06	0.00	0.07	0.05	0.03	0.05
4.シート状プラスチック(ブルーシート)	0.02	0.00				
<b>5.雑貨類</b>						
1.ストロー	0.01	0.00		0.00	0.07	
2.タバコのフィルター						
3.ライター	0.12	0.02	0.08	0.04	1.08	
4.おもちゃ	0.02	0.20	0.00	0.02	0.20	0.03
5.文房具	0.01	0.03			0.01	
6.苗木ポット	0.04		0.01		0.05	0.01
7.生活雑貨類(ハブラシ、スプーン等)						
8.その他の雑貨類	54.43	1.16	80.38	0.50	0.40	
<b>6.漁具</b>						
1.釣り糸	0.00		0.00	0.30		
2.釣りのルアー・浮き	0.05	0.05	0.01	0.02	0.54	0.04
3.ブイ	0.57	0.03	0.27	0.92	2.43	0.01
4.釣りの蛍光棒(ケミホタル)						
5.魚網			0.01		1.00	
6.かご漁具	6.10	0.40	0.00	0.01	2.55	
7.カキ養殖用パイプ						
8.カキ養殖用コード	0.17	0.01	0.04	0.01	0.50	0.00
9.釣りえさ袋・容器	0.10					0.70
10.その他の漁具	4.17				2.04	
<b>7.破片類</b>						
1.シートや袋の破片(シートの破片)	0.35	0.00	0.11	0.00	1.15	
2.シートや袋の破片(袋の破片)	0.01	0.00	0.05	0.06		
3.プラスチックの破片	12.23	0.08	1.43	1.03	23.38	0.10
4.漁具の破片						
5.ペットボトルラベルの破片						
<b>8.レジンベレット(プラスチック粒)</b>						
<b>9.その他具体的に</b>						
1.燃え殻	2.63	4.25	0.51	0.11	5.70	0.08
2.コード配線類						
3.薬きょう(猟銃の弾丸の殻)						
4.ウレタン	1.31	0.07	1.71	1.61	24.25	1.00
5.農業資材(ビニールハウスのバックカー等)						
6.不明				0.50		
<b>2.ゴム類</b>						
1.ボール	0.30				0.26	
2.風船						
3.ゴム手袋	0.10				0.05	
4.輪ゴム	0.00					
5.ゴムの破片	0.20	1.02	0.02		0.17	
6.その他具体的に						
1.ゴムサンダル	0.30		1.00		1.50	0.53
2.複合素材サンダル	0.20					
3.くつ・靴底	6.00				1.00	

表 1.6-1(8) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、容量(L)、第1回調査(2007年9月))

地域	福井県坂井市地域					
	回収面積(m <sup>2</sup> )					
	626.0					
	地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
3.発泡スチロール類						
1.容器・包装等						
1.食品トレイ	3.83	0.81	0.51	4.43	1.19	1.00
2.飲料用カップ						
3.弁当・ラーメン等容器	1.81	0.25		0.20	0.02	0.02
4.梱包資材	0.03					
2.パイ						
3.発泡スチロールの破片	28.24	6.89	9.63	31.23	9.86	7.04
4.魚箱(ト口箱)	14.80					15.00
5.その他具体的に	0.00					
4.紙類						
1.容器類						
1.紙コップ						
2.飲料用紙パック	0.09		0.05		1.10	
3.紙皿						
2.包装						
1.紙袋						
2.タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)		0.02	0.01			
3.菓子類包装紙			0.01			
4.段ボール(箱、板等)			0.65			
5.ボール紙箱						
3.花火の筒		0.03				
4.紙片等						
1.新聞、雑誌、広告						
2.ティッシュ、鼻紙					0.01	
3.紙片	0.00	0.00	0.00	0.03		
5.その他具体的に						
1.タバコの吸殻			0.00	0.00		
2.葉巻などの吸い口						
5.布類						
1.衣服類					0.05	
2.軍手			0.50			
3.布片	0.04		1.01		3.05	0.30
4.糸、毛糸						
5.布ひも						
6.その他具体的に						
1.毛布・カーペット						
2.覆い(シート類)						
6.ガラス・陶磁器類						
1.ガラス						
1.飲料用容器	0.15	0.08		0.75	0.18	0.56
2.食品用容器					0.50	
3.化粧品容器						
4.市販薬品(農薬含む)容器						
5.食器(コップ、ガラス皿等)						
6.蛍光灯(金属部のみも含む)						
7.電球(金属部のみも含む)						0.01
2.陶磁器類						
1.食器						
2.タイル・レンガ				0.20		
3.ガラス破片	0.07	0.07	0.01	0.01		0.02
4.陶磁器類破片	0.03	0.00		0.11		
5.その他具体的に	0.06					
7.金属類						
1.缶						
1.アルミ製飲料用缶	3.85	0.88	0.35			0.50
2.スチール製飲料用缶	0.18	0.25			0.17	
3.食品用缶						
4.スプレー缶(カセットボンベを含む)	0.12			0.05		
5.潤滑油缶・ボトル						
6.ドラム缶						
7.その他の缶						
2.釣り用品						
1.釣り針(糸のついたものを含む)						
2.おもり		0.01				
3.その他の釣り用品	0.06					
3.雑貨類						
1.ふた・キャップ	0.01		0.02		0.01	
2.プルタブ		0.00				
3.針金						
4.釘(くぎ)						
5.電池						

表 1.6-1(9) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、容量(L)、第1回調査(2007年9月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		626.0					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
4. 金属片							
	1. 金属片	0.97	0.02	0.00	0.01		
	2. アルミホイル・アルミ箔	0.10	0.00	0.00			
5. その他							
	1. コード配線類						
8. その他の人工物							
	1. 木類						
	1. 木材・木片(角材・板)	23.20	1.16	22.80	10.39		
	2. 花火(手持ち花火)		0.00				
	3. 割り箸						
	4. つま楊枝						
	5. マッチ						
	6. 木炭(炭)			0.70			
	7. 物流用パレット						
	8. 梱包用木箱						
	9. その他具体的に	0.03				0.02	
	2. 粗大ゴミ(具体的に)						
	1. 家電製品・家具						
	2. バッテリー	0.20					
	3. 自転車・バイク						
	4. タイヤ						
	5. 自動車・部品(タイヤ・バッテリー以外)						
	6. その他具体的に			0.50			
	3. オイルボール						
	4. 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)	0.21	7.69		0.40		
	5. 医療系廃棄物						
	1. 注射器	0.00					
	2. バイアル					0.18	
	3. アンブル						
	4. 点滴パック						
	5. 錠剤パック					0.04	
	6. 点眼・点鼻薬容器						
	7. コンドーム						
	8. タンポンのアプリケーション						
	9. 紙おむつ						
	10. その他の医療系廃棄物	0.00				0.36	
	6. その他具体的に						
	1. 革製品		0.00				
	2. 船(FRP等材質を記入)						
9. 生物系漂着物							
	1. 流木、灌木等						
	1. 灌木	223.40	55.07	29.17	73.62	267.44	34.43
	2. 流木	20.71	18.54			129.77	84.11
	2. 海藻	84.15	65.03	466.00	147.01	120.05	2.00
	3. その他(死骸等)						
	1. 死骸等(具体的に)						
	2. その他具体的に						

表 1.6-2(1) 共通調査における漂着ゴミ分類結果

(小分類、個数、第2回調査(2007年11月))

地域 回収面積(m <sup>2</sup> )	福井県坂井市地域 626.0					
	地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
<b>1. プラスチック類</b>						
1. 袋類						
1. 食品用・包装用(食品の包装・容器)	13	1	1		10	
2. スーパー・コンビニの袋				2	1	
3. お菓子の袋	26		1		6	4
4. 6. バックホルダー						
5. 農薬・肥料袋					2	
6. その他の袋	7		1		5	2
2. プラボトル						
1. 飲料用(ペットボトル)	8	13	12	10	14	7
2. 飲料用(ペットボトル以外)						
3. 洗剤・漂白剤	1	1	1	1	7	
4. 市販薬品(農薬含む)						
5. 化粧品容器						
6. 食品用(マヨネーズ・醤油等)		1	3		2	
7. その他のプラボトル	3	2			6	
3. 容器類						
1. カップ、食器	14	1			42	3
2. 食品の容器						
3. 食品トレイ	17				8	
4. 小型調味料容器(お弁当用 醤油・ソース容器)	5		1	1	18	
5. ふた・キャップ	150	1	47	7	152	4
6. その他の容器類	16		9	3	13	1
4. ひも類・シート類						
1. ひも(ねじれ無し)	2					
2. ロープ(ねじれ有り)	135	1	5		31	4
3. テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	34		2		23	
4. シート状プラスチック(ブルーシート)						
5. 雑貨類						
1. ストロー	45		2		4	
2. タバコのフィルター						
3. ライター	16	1	4	4	22	3
4. おもちゃ	10		5		11	1
5. 文房具			1		4	
6. 苗木ポット	2	1	1		8	
7. 生活雑貨類(ハブラシ、スプーン等)						
8. その他の雑貨類	24	1		2	16	2
6. 漁具						
1. 釣り糸			1			
2. 釣りのルアー・浮き	10	1	1	1	6	1
3. プイ	11	1	15	4	38	7
4. 釣りの蛍光棒(ケミホタル)						
5. 魚網						
6. かご漁具	6		3		15	
7. カキ養殖用パイプ	8				2	
8. カキ養殖用コード	8		2		13	
9. 釣りえさ袋・容器			3		3	1
10. その他の漁具	3				2	
7. 破片類						
1. シートや袋の破片(シートの破片)			1	1	2	
2. シートや袋の破片(袋の破片)	109	2	18		16	
3. プラスチックの破片	556	5	75	8	343	11
4. 漁具の破片						
5. ペットボトルラベルの破片						
8. レジンベレット(プラスチック粒)						
9. その他具体的に						
1. 燃え殻	153	5	21	1	53	2
2. コード配線類	2				4	
3. 薬きょう(猟銃の弾丸の殻)	1		1		4	
4. ウレタン	1		20		53	9
5. 農業資材(ビニールハウスのパッカー等)						
6. 不明	11		9	3	21	2
<b>2. ゴム類</b>						
1. ボール	4				3	
2. 風船	3					
3. ゴム手袋	1					
4. 輪ゴム	1					
5. ゴムの破片	21		3		2	
6. その他具体的に						
1. ゴムサンダル						
2. 複合素材サンダル			2		4	2
3. くつ・靴底	1			1	10	

表 1.6-2(2) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、個数、第2回調査(2007年11月))

地域 回収面積(m <sup>2</sup> )	福井県坂井市地域 626.0					
	地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
3.発泡スチロール類						
1.容器・包装等						
1.食品トレイ	948	4	158	54	333	49
2.飲料用カップ						
3.弁当・ラーメン等容器	3		1		9	5
4.梱包資材	30		5		3	3
2.ブイ	1	1	2			1
3.発泡スチロールの破片	419	62	390	222	874	71
4.魚箱(ト口箱)						
5.その他具体的に						1
4.紙類						
1.容器類						
1.紙コップ						
2.飲料用紙パック	1		2		1	
3.紙皿						
2.包装						
1.紙袋						
2.タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)						
3.菓子類包装紙						
4.段ボール(箱、板等)						
5.ボール紙箱						
3.花火の筒						
4.紙片等						
1.新聞、雑誌、広告						
2.ティッシュ、鼻紙						
3.紙片						
5.その他具体的に						
1.タバコの吸殻						
2.葉巻などの吸い口						
5.布類						
1.衣服類		1				
2.軍手			1		1	
3.布片	9				4	
4.糸、毛糸						
5.布ひも						
6.その他具体的に						
1.毛布・カーペット						
2.覆い(シート類)						
6.ガラス・陶磁器類						
1.ガラス						
1.飲料用容器			2			1
2.食品用容器						
3.化粧品容器						
4.市販薬品(農薬含む)容器						
5.食器(コップ、ガラス皿等)						
6.蛍光灯(金属部のみも含む)						
7.電球(金属部のみも含む)			1			
2.陶磁器類						
1.食器						
2.タイル・レンガ						
3.ガラス破片	14	21	1	3		1
4.陶磁器類破片	4		1	2		
5.その他具体的に						1
7.金属類						
1.缶						
1.アルミ製飲料用缶			1		1	
2.スチール製飲料用缶			1		2	
3.食品用缶						
4.スプレー缶(カセットボンベを含む)			2			
5.潤滑油缶・ボトル						
6.ドラム缶						
7.その他の缶						
2.釣り用品						
1.釣り針(糸のついたものを含む)						
2.おもり					1	
3.その他の釣り用品						
3.雑貨類						
1.ふた・キャップ	3	1	1			
2.プルタブ	1					
3.針金	1					
4.釘(くぎ)						
5.電池						

表 1.6-2(3) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
 (小分類、個数、第2回調査(2007年11月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		626.0					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
4. 金属片							
	1. 金属片	1	1	1	3	3	
	2. アルミホイール・アルミ箔	2					
5. その他							
	1. コード配線類						
8. その他の人工物							
1. 木類							
	1. 木材・木片(角材・板)	40	1	12	2	19	2
	2. 花火(手持ち花火)						
	3. 割り箸						
	4. つま楊枝						
	5. マッチ						
	6. 木炭(炭)						
	7. 物流用パレット						
	8. 梱包用木箱						
	9. その他具体的に	4				5	1
2. 粗大ゴミ(具体的に)							
	1. 家電製品・家具						
	2. バッテリー						
	3. 自転車・バイク						
	4. タイヤ					1	
	5. 自動車・部品(タイヤ・バッテリー以外)						
	6. その他具体的に						
3. オイルボール				1			
4. 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)		1					
5. 医療系廃棄物							
	1. 注射器	2				1	
	2. バイアル	2					
	3. アンブル						
	4. 点滴バック						
	5. 錠剤バック						
	6. 点眼・点鼻薬容器						
	7. コンドーム						
	8. タンポンのアプリケーター						
	9. 紙おむつ						
	10. その他の医療系廃棄物			1			
6. その他具体的に							
	1. 革製品						
	2. 船(FRP等材質を記入)	1					
9. 生物系漂着物							
1. 流木、灌木等							
	1. 灌木	58	23	84	57	213	22
	2. 流木	2					2
2. 海藻		0	0	0	0	0	0
3. その他(死骸等)							
	1. 死骸等(具体的に)						
	2. その他具体的に						

表 1.6-2(4) 共通調査における漂着ゴミ分類結果

(小分類、重量(kg)、第2回調査(2007年11月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		626.0					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
1. プラスチック類							
1. 袋類							
	1. 食品用・包装用(食品の包装・容器)	0.04	0.00	0.00		0.03	
	2. スーパー・コンビニの袋				0.02	0.01	
	3. お菓子の袋	0.01		0.00		0.01	0.01
	4. 6パックホルダー						
	5. 農薬・肥料袋					0.15	
	6. その他の袋	0.03		0.00		0.06	0.01
2. プラボトル							
	1. 飲料用(ペットボトル)	0.28	0.56	0.38	0.57	0.51	0.23
	2. 飲料用(ペットボトル以外)						
	3. 洗剤・漂白剤	0.04	0.05	0.05	0.07	0.40	
	4. 市販薬品(農薬含む)						
	5. 化粧品容器						
	6. 食品用(マヨネーズ・醤油等)		0.03	0.13		0.07	
	7. その他のプラボトル	0.09	0.16			0.05	
3. 容器類							
	1. カップ、食器	0.05	0.01			0.24	0.01
	2. 食品の容器						
	3. 食品トレイ	0.02				0.03	
	4. 小型調味料容器(お弁当用 醤油・ソース容器)	0.01		0.00	0.00	0.03	
	5. ふた・キャップ	0.45	0.01	0.22	0.04	1.55	0.05
	6. その他の容器類	0.19		0.05	0.01	0.09	0.00
4. ひも類・シート類							
	1. ひも(ねじれ無し)	0.00					
	2. ロープ(ねじれ有り)	1.25	0.00	0.02		10.51	0.48
	3. テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	0.09		0.00		0.12	
	4. シート状プラスチック(ブルーシート)						
5. 雑貨類							
	1. ストロー	0.01		0.00		0.00	
	2. タバコのフィルター						
	3. ライター	0.16	0.01	0.04	0.05	0.26	0.03
	4. おもちゃ	0.03		0.04		0.13	0.03
	5. 文房具			0.00		0.03	
	6. 苗木ポット	0.01	0.00	0.00		0.03	
	7. 生活雑貨類(ハブラシ、スプーン等)						
	8. その他の雑貨類	0.16	0.04		0.13	0.27	0.03
6. 漁具							
	1. 釣り糸			0.01			
	2. 釣りのルアー・浮き	0.04	0.00	0.04	0.00	0.04	0.02
	3. ブイ	0.14	0.03	0.53	0.03	0.44	0.20
	4. 釣りの蛍光棒(ケミホタル)						
	5. 魚網						
	6. かご漁具	0.17		0.04		0.42	
	7. カキ養殖用パイプ	0.00				0.02	
	8. カキ養殖用コード	0.02		0.01		0.04	
	9. 釣りえさ袋・容器			0.01		0.01	0.02
	10. その他の漁具	0.03				41.65	
7. 破片類							
	1. シートや袋の破片(シートの破片)			0.00	0.01	0.00	
	2. シートや袋の破片(袋の破片)	0.31	0.00	0.12		0.07	
	3. プラスチックの破片	2.33	0.02	0.20	0.02	3.07	0.09
	4. 漁具の破片						
	5. ペットボトルラベルの破片						
8. レジンベレット(プラスチック粒)							
9. その他具体的に							
	1. 燃え殻	1.38	0.08	0.39	0.00	0.74	0.01
	2. コード配線類	0.02				0.02	
	3. 薬きょう(猟銃の弾丸の殻)	0.00		0.00		0.01	
	4. ウレタン	0.04		0.06		0.28	0.03
	5. 農業資材(ビニールハウスのバックカー等)						
	6. 不明	0.06		0.56	0.01	0.23	0.07
2. ゴム類							
	1. ボール	0.06				0.12	
	2. 風船	0.00					
	3. ゴム手袋	0.10					
	4. 輪ゴム	0.01					
	5. ゴムの破片	0.06		0.04		0.04	
	6. その他具体的に						
	1. ゴムサンダル						
	2. 複合素材サンダル			0.40		0.99	0.26
	3. くつ・靴底	0.15			0.35	0.93	

表 1.6-2(5) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、重量(kg)、第2回調査(2007年11月))

地域 回収面積(m <sup>2</sup> )	福井県坂井市地域 626.0					
	地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
3.発泡スチロール類						
1.容器・包装等						
1.食品トレイ	0.31	0.00	0.04	0.02	0.13	0.02
2.飲料用カップ						
3.弁当・ラーメン等容器	0.00		0.00		0.00	0.01
4.梱包資材	0.04		0.00		0.02	0.00
2.パイ	0.16	0.06	0.12			0.05
3.発泡スチロールの破片	1.17	0.07	0.30	0.14	1.24	0.16
4.魚箱(ト口箱)						
5.その他具体的に						0.01
4.紙類						
1.容器類						
1.紙コップ						
2.飲料用紙パック	0.01		0.04		0.05	
3.紙皿						
2.包装						
1.紙袋						
2.タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)						
3.菓子類包装紙						
4.段ボール(箱、板等)						
5.ボール紙箱						
3.花火の筒						
4.紙片等						
1.新聞、雑誌、広告						
2.ティッシュ、鼻紙						
3.紙片						
5.その他具体的に						
1.タバコの吸殻						
2.葉巻などの吸い口						
5.布類						
1.衣服類		0.16				
2.軍手			0.03		0.07	
3.布片	0.26				0.09	
4.糸、毛糸						
5.布ひも						
6.その他具体的に						
1.毛布・カーペット						
2.覆い(シート類)						
6.ガラス・陶磁器類						
1.ガラス						
1.飲料用容器			0.14			0.11
2.食品用容器						
3.化粧品容器						
4.市販薬品(農薬含む)容器						
5.食器(コップ、ガラス皿等)						
6.蛍光灯(金属部のみも含む)						
7.電球(金属部のみも含む)			0.01			
2.陶磁器類						
1.食器						
2.タイル・レンガ						
3.ガラス破片	0.20	0.08	0.00	0.02		0.01
4.陶磁器類破片	0.03		0.08	0.00		
5.その他具体的に						0.12
7.金属類						
1.缶						
1.アルミ製飲料用缶			0.01		0.03	
2.スチール製飲料用缶			0.03		0.07	
3.食品用缶						
4.スプレー缶(カセットボンベを含む)			0.11			
5.潤滑油缶・ボトル						
6.ドラム缶						
7.その他の缶						
2.釣り用品						
1.釣り針(糸のついたものを含む)						
2.おもり					0.08	
3.その他の釣り用品						
3.雑貨類						
1.ふた・キャップ	0.01	0.00	0.00			
2.プルタブ	0.00					
3.針金	0.01					
4.釘(くぎ)						
5.電池						

表 1.6-2(6) 共通調査における漂着ゴミ分類結果

(小分類、重量(kg)、第2回調査(2007年11月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		626.0					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
4. 金属片							
	1. 金属片	0.03	0.00	0.00	0.95	0.17	
	2. アルミホイル・アルミ箔	0.01					
5. その他							
	1. コード配線類						
8. その他の人工物							
	1. 木類						
	1. 木材・木片(角材・板)	7.80	13.80	1.75	0.57	12.70	1.00
	2. 花火(手持ち花火)						
	3. 割り箸						
	4. つま楊枝						
	5. マッチ						
	6. 木炭(炭)						
	7. 物流用パレット						
	8. 梱包用木箱						
	9. その他具体的に	0.13				0.02	0.21
	2. 粗大ゴミ(具体的に)						
	1. 家電製品・家具						
	2. バッテリー						
	3. 自転車・バイク						
	4. タイヤ					10.00	
	5. 自動車・部品(タイヤ・バッテリー以外)						
	6. その他具体的に						
	3. オイルボール			0.00			
	4. 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)	0.01					
	5. 医療系廃棄物						
	1. 注射器	0.01				0.01	
	2. バイアル	0.00					
	3. アンブル						
	4. 点滴パック						
	5. 錠剤パック						
	6. 点眼・点鼻薬容器						
	7. コンドーム						
	8. タンポンのアプリケーター						
	9. 紙おむつ						
	10. その他の医療系廃棄物			0.00			
	6. その他具体的に						
	1. 革製品						
	2. 船(FRP等材質を記入)	3.35					
9. 生物系漂着物							
	1. 流木、灌木等						
	1. 灌木	11.37	0.21	2.17	0.91	13.20	1.85
	2. 流木	6.18					1.21
	2. 海藻	0.63	0.93	8.50	0.27	15.59	0.02
	3. その他(死骸等)						
	1. 死骸等(具体的に)						
	2. その他具体的に						

表 1.6-2(7) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、容量(L)、第2回調査(2007年11月))

地域	福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )	626.0					
	地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
<b>1. プラスチック類</b>						
1. 袋類						
1. 食品用・包装用(食品の包装・容器)	0.25	0.00	0.00		0.21	
2. スーパー・コンビニの袋				0.07	0.05	
3. お菓子の袋	0.09		0.01		0.10	0.02
4. 6パックホルダー						
5. 農薬・肥料袋					1.00	
6. その他の袋	0.07		0.00		0.23	0.01
2. プラボトル						
1. 飲料用(ペットボトル)	6.35	15.80	8.30	15.50	8.50	5.10
2. 飲料用(ペットボトル以外)						
3. 洗剤、漂白剤	0.50	1.00	0.30	0.50	4.10	
4. 市販薬品(農薬含む)						
5. 化粧品容器						
6. 食品用(マヨネーズ・醤油等)		0.50	1.82		0.55	
7. その他のプラボトル	0.80	3.00			0.80	
3. 容器類						
1. カップ、食器	0.43	0.20			4.96	0.10
2. 食品の容器						
3. 食品トレイ	0.15				0.40	
4. 小型調味料容器(お弁当用 醤油・ソース容器)	0.02		0.00	0.00	0.12	
5. ふた・キャップ	4.42	0.02	0.94	0.11	8.21	0.06
6. その他の容器類	2.18		1.33	0.06	0.46	0.02
4. ひも類・シート類						
1. ひも(ねじれ無し)	0.00					
2. ロープ(ねじれ有り)	10.60	0.02	0.10		37.59	4.00
3. テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	2.10		0.00		1.13	
4. シート状プラスチック(ブルーシート)						
5. 雑貨類						
1. ストロー	0.16		0.00		0.01	
2. タバコのフィルター						
3. ライター	0.62	0.01	0.05	0.05	0.36	0.04
4. おもちゃ	0.16		0.03		0.34	0.15
5. 文房具			0.01		0.05	
6. 苗木ポット	0.02	0.02	0.01		0.14	
7. 生活雑貨類(ハブラシ、スプーン等)						
8. その他の雑貨類	0.40	0.05		0.11	0.83	0.05
6. 漁具						
1. 釣り糸			0.02			
2. 釣りのルアー・浮き	0.14	0.01	0.10	0.00	0.06	0.02
3. ブイ	0.36	0.10	1.80	0.10	1.19	0.50
4. 釣りの蛍光棒(ケミホタル)						
5. 魚網						
6. かご漁具	1.50		0.22		2.72	
7. カキ養殖用パイプ	0.01				0.03	
8. カキ養殖用コード	0.05		0.01		0.21	
9. 釣りえさ袋・容器			0.04		0.13	0.10
10. その他の漁具	0.07				429.38	
7. 破片類						
1. シートや袋の破片(シートの破片)			0.00	0.02	0.00	
2. シートや袋の破片(袋の破片)	5.33	0.01	0.72		0.30	
3. プラスチックの破片	13.45	0.06	1.50	0.03	18.34	0.17
4. 漁具の破片						
5. ペットボトルラベルの破片						
8. レジンベレット(プラスチック粒)						
9. その他具体的に						
1. 燃え殻	5.16	0.20	1.30	0.00	3.43	0.03
2. コード配線類	0.02				0.16	
3. 薬きょう(猟銃の弾丸の殻)	0.00		0.00		0.02	
4. ウレタン	0.10		0.92		5.08	0.32
5. 農業資材(ビニールハウスのパッカー等)						
6. 不明	0.25		1.47	0.03	0.85	0.17
<b>2. ゴム類</b>						
1. ボール	0.20				0.20	
2. 風船	0.00					
3. ゴム手袋	0.30					
4. 輪ゴム	0.02					
5. ゴムの破片	1.12		0.05		0.05	
6. その他具体的に						
1. ゴムサンダル						
2. 複合素材サンダル			0.80		3.90	0.80
3. くつ・靴底	1.00			1.50	2.10	

表 1.6-2(8) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、容量(L)、第2回調査(2007年11月))

地域		福井県坂井市地域							
回収面積(m <sup>2</sup> )		626.0							
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6		
3. 発泡スチロール類									
1. 容器・包装等	1. 食品トレイ	7.16	0.02	1.01	0.19	2.61	0.33		
	2. 飲料用カップ								
	3. 弁当・ラーメン等容器	0.00		0.00		0.03	0.04		
	4. 梱包資材	1.00		0.15		0.10	0.10		
	2. プイ	8.00	1.50	4.50			1.50		
	3. 発泡スチロールの破片	9.42	4.45	13.00	8.65	44.60	11.50		
	4. 魚箱(トコ箱)								
	5. その他具体的に						0.15		
	4. 紙類								
	1. 容器類	1. 紙コップ							
2. 飲料用紙パック		0.10		0.31		0.10			
3. 紙皿									
2. 包装		1. 紙袋							
		2. タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)							
		3. 菓子類包装紙							
		4. 段ボール(箱、板等)							
		5. ボール紙箱							
3. 花火の筒									
4. 紙片等		1. 新聞、雑誌、広告							
		2. ティッシュ、鼻紙							
		3. 紙片							
5. その他具体的に		1. タバコの吸殻							
		2. 葉巻などの吸い口							
5. 布類									
1. 衣服類		1. 衣服類		1.00					
		2. 軍手							
		3. 布片	0.85		1.01		0.10		
		4. 糸、毛糸					0.20		
	5. 布ひも								
	6. その他具体的に	1. 毛布・カーペット							
		2. 覆い(シート類)							
6. ガラス・陶磁器類									
1. ガラス	1. 飲料用容器			0.20			0.15		
	2. 食品用容器								
	3. 化粧品容器								
	4. 市販薬品(農薬含む)容器								
	5. 食器(コップ、ガラス皿等)								
	6. 蛍光灯(金属部のみも含む)								
	7. 電球(金属部のみも含む)			0.01					
	2. 陶磁器類	1. 食器							
		2. タイル・レンガ							
	3. ガラス破片	0.11	0.04	0.00	0.01		0.00		
	4. 陶磁器類破片	0.01		0.03	0.00				
	5. その他具体的に						0.20		
	7. 金属類								
	1. 缶	1. アルミ製飲料用缶			0.10		0.30		
		2. スチール製飲料用缶			0.20		0.37		
		3. 食品用缶							
		4. スプレー缶(カセットボンベを含む)			0.52				
		5. 潤滑油缶・ボトル							
		6. ドラム缶							
		7. その他の缶							
		2. 釣り用品	1. 釣り針(糸のついたものを含む)						
			2. おもり					0.03	
			3. その他の釣り用品						
3. 雑貨類		1. ふた・キャップ	0.01	0.00	0.00				
		2. プルタブ	0.00						
		3. 針金	0.00						
		4. 釘(くぎ)							
		5. 電池							

表 1.6-2(9) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、容量(L)、第2回調査(2007年11月))

地域	福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )	626.0					
	地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
4. 金属片						
1. 金属片	0.01	0.00	0.00	0.32	0.37	
2. アルミホイール・アルミ箔	0.02					
5. その他						
1. コード配線類						
8. その他の人工物						
1. 木類						
1. 木材・木片(角材・板)	20.23	20.40	4.00	1.50	34.55	1.55
2. 花火(手持ち花火)						
3. 割り箸						
4. つま楊枝						
5. マッチ						
6. 木炭(炭)						
7. 物流用パレット						
8. 梱包用木箱						
9. その他具体的に	0.27				0.06	0.70
2. 粗大ゴミ(具体的に)						
1. 家電製品・家具						
2. バッテリー						
3. 自転車・バイク						
4. タイヤ					54.32	
5. 自動車・部品(タイヤ・バッテリー以外)						
6. その他具体的に						
3. オイルボール			0.00			
4. 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)	0.01					
5. 医療系廃棄物						
1. 注射器	0.01				0.01	
2. バイアル	0.01					
3. アンブル						
4. 点滴バック						
5. 錠剤バック						
6. 点眼・点鼻薬容器						
7. コンドーム						
8. タンポンのアプリケーター						
9. 紙おむつ						
10. その他の医療系廃棄物			0.01			
6. その他具体的に						
1. 革製品						
2. 船(FRP等材質を記入)	60.00					
9. 生物系漂着物						
1. 流木、灌木等						
1. 灌木	63.36	1.75	7.60	2.70	57.70	14.57
2. 流木	10.51					2.15
2. 海藻	7.68	10.25	90.40	2.31	58.80	0.11
3. その他(死骸等)						
1. 死骸等(具体的に)						
2. その他具体的に						

表 1.6-3(1) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、個数、第4回調査(2008年4月))

地域	福井県坂井市地域					
	626.0					
回収面積(m <sup>2</sup> )	地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
<b>1. プラスチック類</b>						
<b>1. 袋類</b>						
1. 食品用・包装用(食品の包装・容器)	51		2	1	7	1
2. スーパー・コンビニの袋		3			2	
3. お菓子の袋	41	4		2	5	1
4. 6パックホルダー						
5. 農薬・肥料袋						
6. その他の袋	384	1	1		5	1
<b>2. プラボトル</b>						
1. 飲料用(ペットボトル)	6		15	7	19	
2. 飲料用(ペットボトル以外)	1		2			
3. 洗剤・漂白剤	2				7	
4. 市販薬品(農薬含む)	1			1		
5. 化粧品容器	1	1			1	
6. 食品用(マヨネーズ・醤油等)	1		4			
7. その他のプラボトル			5		7	
<b>3. 容器類</b>						
1. カップ、食器			4	4	1	
2. 食品の容器	42	3	3	2	15	1
3. 食品トレイ	3					
4. 小型調味料容器(お弁当用 醤油・ソース容器)	7	1	1	2		
5. ふた・キャップ	289	1	54	36	18	2
6. その他の容器類	20	4	3		4	
<b>4. ひも類・シート類</b>						
1. ひも(ねじれ無し)	11	1				
2. ロープ(ねじれ有り)	187	16	29	11	15	10
3. テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	30	1	4	1	2	
4. シート状プラスチック(ブルーシート)						
<b>5. 雑貨類</b>						
1. ストロー	58		2	5		
2. タバコのフィルター						
3. ライター	16	1	3	4	2	
4. おもちゃ	1		1			
5. 文房具	6					
6. 苗木ポット	4		5		8	
7. 生活雑貨類(ハブラシ、スプーン等)	23		6	1	1	2
8. その他の雑貨類	20	4	7	4	4	1
<b>6. 漁具</b>						
1. 釣り糸	1					
2. 釣りのルアー・浮き	4		2	2	1	
3. ブイ	17	2	14	7	11	1
4. 釣りの蛍光棒(ケミホタル)						
5. 魚網					1	
6. かご漁具	1	1	6	1	22	
7. カキ養殖用パイプ						
8. カキ養殖用コード	31	1	6	1		
9. 釣りえさ袋・容器	15	3	6	1	7	
10. その他の漁具	24	1		1	2	
<b>7. 破片類</b>						
1. シートや袋の破片(シートの破片)	3	1			7	
2. シートや袋の破片(袋の破片)	3	4	21	11	2	
3. プラスチックの破片	918	7	108	86	57	11
4. 漁具の破片						
5. ペットボトルラベルの破片	1	1			2	
<b>8. レジンベレット(プラスチック粒)</b>						
<b>9. その他具体的に</b>						
1. 燃え殻	252	5	18	4	4	
2. コード配線類	1			3		
3. 薬きょう(猟銃の弾丸の殻)						
4. ウレタン	70	2	25	35	8	4
5. 農業資材(ビニールハウスのバックカー等)						
6. 不明		1		1		
<b>2. ゴム類</b>						
1. ボール	2		3		1	
2. 風船	1					
3. ゴム手袋	2				1	
4. 輪ゴム						
5. ゴムの破片	3					
6. その他具体的に						
1. ゴムサンダル	1					
2. 複合素材サンダル	1		4	2	1	
3. くつ・靴底			2		4	

表 1.6-3(2) 共通調査における漂着ゴミ分類結果

(小分類、個数、第4回調査(2008年4月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		626.0					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
3.発泡スチロール類							
1.容器・包装等							
1.食品トレイ		1149	5	162	211	34	4
2.飲料用カップ							
3.弁当・ラーメン等容器				1			1
4.梱包資材							
2.パイ					2		
3.発泡スチロールの破片		537	17	377	598	231	39
4.魚箱(ト口箱)						1	
5.その他具体的に							
4.紙類							
1.容器類							
1.紙コップ							
2.飲料用紙パック		1	1	1	1		
3.紙皿							
2.包装							
1.紙袋							
2.タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)							
3.菓子類包装紙							
4.段ボール(箱、板等)							
5.ボール紙箱							
3.花火の筒							
4.紙片等							
1.新聞、雑誌、広告							
2.ティッシュ、鼻紙							
3.紙片							
5.その他具体的に							
1.タバコの吸殻							
2.葉巻などの吸い口							
5.布類							
1.衣服類							
2.軍手		1					1
3.布片		1		1	1		
4.糸、毛糸							
5.布ひも							
6.その他具体的に							
1.毛布・カーペット							
2.覆い(シート類)							
6.ガラス・陶磁器類							
1.ガラス							
1.飲料用容器							
2.食品用容器							
3.化粧品容器							
4.市販薬品(農薬含む)容器							
5.食器(コップ、ガラス皿等)							
6.蛍光灯(金属部のみも含む)				2			
7.電球(金属部のみも含む)		0	1				1
2.陶磁器類							
1.食器							
2.タイル・レンガ							
3.ガラス破片		43	95	5	6	1	7
4.陶磁器類破片		3	8	1	4		1
5.その他具体的に							
7.金属類							
1.缶							
1.アルミ製飲料用缶			1				
2.スチール製飲料用缶				1			
3.食品用缶							
4.スプレー缶(カセットボンベを含む)		1				2	
5.潤滑油缶・ボトル							
6.ドラム缶		1					
7.その他の缶							
2.釣り用品							
1.釣り針(糸のついたものを含む)							
2.おもり							
3.その他の釣り用品							
3.雑貨類							
1.ふた・キャップ		12	1				
2.プルタブ							
3.針金				1			
4.釘(くぎ)			1				
5.電池							

表 1.6-3(3) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、個数、第4回調査(2008年4月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		626.0					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
4. 金属片							
	1. 金属片	2		1	2		
	2. アルミホイル・アルミ箔						
5. その他							
	1. コード配線類						
8. その他の人工物							
1. 木類							
	1. 木材・木片(角材・板)	1	1	1	1	0	
	2. 花火(手持ち花火)						
	3. 割り箸						
	4. つま楊枝						
	5. マッチ						
	6. 木炭(炭)						
	7. 物流用パレット						
	8. 梱包用木箱						
	9. その他具体的に						
	2. 粗大ゴミ(具体的に)						
	1. 家電製品・家具						
	2. バッテリー						
	3. 自転車・バイク						
	4. タイヤ						
	5. 自動車・部品(タイヤ・バッテリー以外)						
	6. その他具体的に						
	3. オイルボール						
	4. 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)	22		4	4	1	2
	5. 医療系廃棄物						
	1. 注射器	4		1			
	2. バイアル						
	3. アンブル						
	4. 点滴パック						
	5. 錠剤パック						
	6. 点眼・点鼻薬容器			1			
	7. コンドーム						
	8. タンポンのアプリケーション						
	9. 紙おむつ						
	10. その他の医療系廃棄物	1					
	6. その他具体的に						
	1. 革製品						
	2. 船(FRP等材質を記入)						
9. 生物系漂着物							
	1. 流木、灌木等						
	1. 灌木	1	3	0	1	0	0
	2. 流木	1					
	2. 海藻	0	0	0	0	0	
	3. その他(死骸等)						
	1. 死骸等(具体的に)						
	2. その他具体的に	14					

表 1.6-3(4) 共通調査における漂着ゴミ分類結果

(小分類、重量(kg)、第4回調査(2008年4月))

地域	福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )	626.0					
	地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
1. プラスチック類						
1.1 袋類						
1.1.1 食品用・包装用(食品の包装・容器)	0.06		0.00	0.00	0.01	0.00
1.1.1.1 スーパー・コンビニの袋		0.00			0.00	
1.1.1.2 お菓子の袋	0.02	0.00		0.00	0.00	0.00
1.1.1.3 6パックホルダー						
1.1.1.4 農薬・肥料袋						
1.1.1.5 その他の袋	0.27	0.00	0.07		0.02	0.00
1.1.2 プラボトル						
1.1.2.1 飲料用(ペットボトル)	0.16		0.45	0.29	0.80	
1.1.2.2 飲料用(ペットボトル以外)	0.01		0.02			
1.1.2.3 洗剤・漂白剤	0.06				0.71	
1.1.2.4 市販薬品(農薬含む)	0.01			0.00		
1.1.2.5 化粧品容器	0.08	0.02			0.01	
1.1.2.6 食品用(マヨネーズ・醤油等)	0.02		0.05			
1.1.2.7 その他のプラボトル			0.13		0.26	
1.1.3 容器類						
1.1.3.1 カップ、食器			0.01	0.02	0.01	
1.1.3.2 食品の容器	0.10	0.00	0.01	0.01	0.10	0.01
1.1.3.3 食品トレイ	0.00					
1.1.3.4 小型調味料容器(お弁当用 醤油・ソース容器)	0.01	0.00	0.00	0.00		
1.1.3.5 ふた・キャップ	0.87	0.00	0.44	0.33	0.43	0.05
1.1.3.6 その他の容器類	0.28	0.05	0.45		0.26	
1.1.4 ひも類・シート類						
1.1.4.1 ひも(ねじれ無し)	0.02	0.00				
1.1.4.2 ロープ(ねじれ有り)	2.77	1.73	1.98	8.67	2.82	0.11
1.1.4.3 テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	0.05	0.00	0.05	0.01	0.01	
1.1.4.4 シート状プラスチック(ブルーシート)						
1.1.5 雑貨類						
1.1.5.1 ストロー	0.02		0.00	0.00		
1.1.5.2 タバコのフィルター						
1.1.5.3 ライター	0.15	0.01	0.03	0.04	0.02	
1.1.5.4 おもちゃ	0.00		0.16			
1.1.5.5 文房具	0.07					
1.1.5.6 苗木ポット	0.03		0.02		0.03	
1.1.5.7 生活雑貨類(ハブラシ、スプーン等)	0.14		0.25	0.00	0.00	0.01
1.1.5.8 その他の雑貨類	0.22	0.08	0.33	0.05	4.14	0.00
1.1.6 漁具						
1.1.6.1 釣り糸	0.03					
1.1.6.2 釣りのルアー・浮き	0.03		0.03	0.01	0.01	
1.1.6.3 ブイ	0.14	0.05	0.39	0.08	2.14	0.02
1.1.6.4 釣りの蛍光棒(ケミホタル)						
1.1.6.5 魚網					0.03	
1.1.6.6 かご漁具	0.01	0.05	0.19	0.00	0.88	
1.1.6.7 カキ養殖用パイプ						
1.1.6.8 カキ養殖用コード	0.06	0.00	0.02	0.00		
1.1.6.9 釣りえさ袋・容器	0.06	0.04	0.08	0.00	0.08	
1.1.6.10 その他の漁具	2.90	0.00		0.07	1.10	
1.1.7 破片類						
1.1.7.1 シートや袋の破片(シートの破片)	0.01	0.01			0.03	
1.1.7.2 シートや袋の破片(袋の破片)	0.00	0.00	0.11	0.04	0.00	
1.1.7.3 プラスチックの破片	2.72	0.01	0.65	0.93	1.62	0.71
1.1.7.4 漁具の破片						
1.1.7.5 ペットボトルラベルの破片	0.00	0.00			0.00	
1.1.8 レジンベレット(プラスチック粒)						
1.1.9 その他具体的に						
1.1.9.1 燃え殻	3.13	0.02	0.65	0.01	0.18	
1.1.9.2 コード配線類	0.00			0.00		
1.1.9.3 薬きょう(猟銃の弾丸の殻)						
1.1.9.4 ウレタン	0.35	0.02	0.12	0.24	0.06	0.04
1.1.9.5 農業資材(ビニールハウスのパッカー等)						
1.1.9.6 不明		0.02		0.01		
2. ゴム類						
2.1 ボール	0.02		0.03		0.02	
2.2 風船	0.00					
2.3 ゴム手袋	0.13				0.02	
2.4 輪ゴム						
2.5 ゴムの破片	0.04					
2.6 その他具体的に						
2.6.1 ゴムサンダル	0.22					
2.6.2 複合素材サンダル	0.20		0.55	0.09	0.06	
2.6.3 くつ・靴底			0.33		0.06	

表 1.6-3(5) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、重量(kg)、第4回調査(2008年4月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		626.0					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
<b>3. 発泡スチロール類</b>							
1. 容器・包装等							
	1. 食品トレイ	0.34	0.01	0.10	0.05	0.02	0.00
	2. 飲料用カップ						
	3. 弁当・ラーメン等容器			0.00			0.00
	4. 梱包資材						
	2. ブイ				0.51		
	3. 発泡スチロールの破片	0.39	0.22	1.64	0.78	0.49	0.28
	4. 魚箱(ト口箱)					0.21	
	5. その他具体的に						
<b>4. 紙類</b>							
1. 容器類							
	1. 紙コップ						
	2. 飲料用紙パック	0.04	0.04	0.03	0.07		
	3. 紙皿						
2. 包装							
	1. 紙袋						
	2. タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)						
	3. 菓子類包装紙						
	4. 段ボール(箱、板等)						
	5. ボール紙箱						
3. 花火の筒							
4. 紙片等							
	1. 新聞、雑誌、広告						
	2. ティッシュ、鼻紙						
	3. 紙片						
5. その他具体的に							
	1. タバコの吸殻						
	2. 葉巻などの吸い口						
<b>5. 布類</b>							
1. 衣服類							
2. 軍手		0.12					0.13
3. 布片		0.01		0.03	0.01		
4. 糸、毛糸							
5. 布ひも							
6. その他具体的に							
	1. 毛布・カーペット						
	2. 覆い(シート類)						
<b>6. ガラス・陶磁器類</b>							
1. ガラス							
	1. 飲料用容器						
	2. 食品用容器						
	3. 化粧品容器						
	4. 市販薬品(農薬含む)容器						
	5. 食器(コップ、ガラス皿等)						
	6. 蛍光灯(金属部のみも含む)			0.11			
	7. 電球(金属部のみも含む)	0.00	0.01				0.01
2. 陶磁器類							
	1. 食器						
	2. タイル・レンガ						
3. ガラス破片		0.33	0.39	0.03	0.02	0.01	0.09
4. 陶磁器類破片		0.07	0.09	0.02	0.18		0.02
5. その他具体的に							
<b>7. 金属類</b>							
1. 缶							
	1. アルミ製飲料用缶		0.02				
	2. スチール製飲料用缶			0.03			
	3. 食品用缶						
	4. スプレー缶(カセットボンベを含む)	0.39				0.23	
	5. 潤滑油缶・ボトル						
	6. ドラム缶	10.00					
	7. その他の缶						
2. 釣り用品							
	1. 釣り針(糸のついたものを含む)						
	2. おもり						
	3. その他の釣り用品						
3. 雑貨類							
	1. ふた・キャップ	0.16	0.00				
	2. プルタブ						
	3. 針金			0.01			
	4. 釘(くぎ)		0.00				
	5. 電池						

表 1.6-3(6) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、重量(kg)、第4回調査(2008年4月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		626.0					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
4. 金属片	1. 金属片	0.00		0.01	0.02		
	2. アルミホイル・アルミ箔						
	5. その他						
	1. コード配線類						
8. その他の人工物							
1. 木類							
	1. 木材・木片(角材・板)	1.30	0.09	7.50	1.00	9.10	
	2. 花火(手持ち花火)						
	3. 割り箸						
	4. つま楊枝						
	5. マッチ						
	6. 木炭(炭)						
	7. 物流用パレット						
	8. 梱包用木箱						
	9. その他具体的に						
	2. 粗大ゴミ(具体的に)						
	1. 家電製品・家具						
	2. バッテリー						
	3. 自転車・バイク						
	4. タイヤ						
	5. 自動車・部品(タイヤ・バッテリー以外)						
	6. その他具体的に						
	3. オイルボール						
	4. 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)	0.37		0.06	0.04	0.01	0.01
	5. 医療系廃棄物						
	1. 注射器	0.00		0.01			
	2. バイアル						
	3. アンブル						
	4. 点滴バック						
	5. 錠剤バック						
	6. 点眼・点鼻薬容器			0.00			
	7. コンドーム						
	8. タンポンのアプリケーター						
	9. 紙おむつ						
	10. その他の医療系廃棄物	0.00					
	6. その他具体的に						
	1. 革製品						
	2. 船(FRP等材質を記入)						
9. 生物系漂着物							
1. 流木、灌木等							
	1. 灌木	12.31	1.45	6.42	4.96	7.85	1.16
	2. 流木	0.95					
	2. 海藻	65.00	21.21	5.52	19.75	8.83	
	3. その他(死骸等)						
	1. 死骸等(具体的に)						
	2. その他具体的に	0.03					

表 1.6-3(7) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、容量(L)、第4回調査(2008年4月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		626.0					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
<b>1. プラスチック類</b>							
1. 袋類							
	1. 食品用・包装用(食品の包装・容器)	0.25		0.00	0.00	0.06	0.00
	2. スーパー・コンビニの袋		0.01			0.01	
	3. お菓子の袋	0.07	0.00		0.00	0.01	0.00
	4. 6パックホルダー						
	5. 農薬・肥料袋						
	6. その他の袋	12.30	0.00	0.30		0.03	0.00
2. プラボトル							
	1. 飲料用(ペットボトル)	4.40		9.25	6.65	24.30	
	2. 飲料用(ペットボトル以外)	0.05		0.15			
	3. 洗剤・漂白剤	0.20				7.00	
	4. 市販薬品(農薬含む)	0.02			0.00		
	5. 化粧品容器	0.10	0.05			0.05	
	6. 食品用(マヨネーズ・醤油等)	0.10		0.30			
	7. その他のプラボトル			0.48		3.02	
3. 容器類							
	1. カップ、食器			0.03	0.20	0.03	
	2. 食品の容器	1.16	0.02	0.05	0.20	1.11	0.02
	3. 食品トレイ	0.00					
	4. 小型調味料容器(お弁当用 醤油・ソース容器)	0.01	0.01	0.00	0.04		
	5. ふた・キャップ	8.44	0.01	0.99	1.34	1.37	0.22
	6. その他の容器類	1.16	0.35	13.10		5.04	
4. ひも類・シート類							
	1. ひも(ねじれ無し)	0.07	0.01				
	2. ロープ(ねじれ有り)	15.95	14.10	13.52	31.10	16.00	0.70
	3. テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	1.00	0.00	0.55	0.05	0.02	
	4. シート状プラスチック(ブルーシート)						
5. 雑貨類							
	1. ストロー	0.07		0.03	0.01		
	2. タバコのフィルター						
	3. ライター	0.28	0.02	0.05	0.07	0.04	
	4. おもちゃ	0.02		0.50			
	5. 文房具	0.13					
	6. 苗木ポット	0.05		0.08		0.08	
	7. 生活雑貨類(ハブラシ、スプーン等)	0.18		0.58	0.00	0.02	0.02
	8. その他の雑貨類	0.35	0.09	0.33	0.22	118.33	0.00
6. 漁具							
	1. 釣り糸	0.05					
	2. 釣りのルアー・浮き	0.06		0.05	0.02	0.02	
	3. ブイ	0.21	0.08	0.56	0.15	20.24	0.03
	4. 釣りの蛍光棒(ケミホタル)						
	5. 魚網					0.15	
	6. かご漁具	0.01	0.05	0.38	0.01	4.00	
	7. カキ養殖用パイプ						
	8. カキ養殖用コード	0.28	0.01	0.06	0.01		
	9. 釣りえさ袋・容器	0.20	0.06	0.21	0.00	0.35	
	10. その他の漁具	10.70	0.00		0.30	12.01	
7. 破片類							
	1. シートや袋の破片(シートの破片)	0.01	0.02			0.07	
	2. シートや袋の破片(袋の破片)	0.01	0.01	1.01	0.12	0.00	
	3. プラスチックの破片	17.25	0.00	2.31	1.98	10.12	5.00
	4. 漁具の破片						
	5. ペットボトルラベルの破片	0.00	0.00			0.00	
8. レジンベレット(プラスチック粒)							
9. その他具体的に							
	1. 燃え殻	7.92	0.04	1.50	0.03	0.15	
	2. コード配線類	0.00			0.00		
	3. 薬きょう(猟銃の弾丸の殻)						
	4. ウレタン	2.78	0.05	0.60	1.84	0.14	0.16
	5. 農業資材(ビニールハウスのバックカー等)						
	6. 不明		0.02		0.01		
<b>2. ゴム類</b>							
	1. ボール	0.05		0.06		0.03	
	2. 風船	0.00					
	3. ゴム手袋	0.20				0.05	
	4. 輪ゴム						
	5. ゴムの破片	0.06					
	6. その他具体的に						
	1. ゴムサンダル	0.50					
	2. 複合素材サンダル	1.00		1.55	0.10	0.10	
	3. くつ・靴底			0.52		0.50	

表 1.6-3(8) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、容量(L)、第4回調査(2008年4月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		626.0					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
3.発泡スチロール類							
1.容器・包装等							
	1.食品トレイ	7.80	0.02	1.60	0.18	0.53	0.02
	2.飲料用カップ						
	3.弁当・ラーメン等容器			0.00			0.00
	4.梱包資材						
	2.パイ				7.00		
	3.発泡スチロールの破片	9.86	14.05	40.03	26.80	26.52	16.01
	4.魚箱(ト口箱)					0.50	
	5.その他具体的に						
4.紙類							
1.容器類							
	1.紙コップ						
	2.飲料用紙パック	0.30	0.50	0.05	1.00		
	3.紙皿						
2.包装							
	1.紙袋						
	2.タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)						
	3.菓子類包装紙						
	4.段ボール(箱、板等)						
	5.ボール紙箱						
3.花火の筒							
4.紙片等							
	1.新聞、雑誌、広告						
	2.ティッシュ、鼻紙						
	3.紙片						
5.その他具体的に							
	1.タバコの吸殻						
	2.葉巻などの吸い口						
5.布類							
1.衣服類							
2.軍手		0.10					0.10
3.布片		0.02		0.10	0.02		
4.糸、毛糸							
5.布ひも							
6.その他具体的に							
	1.毛布・カーペット						
	2.覆い(シート類)						
6.ガラス・陶磁器類							
1.ガラス							
	1.飲料用容器						
	2.食品用容器						
	3.化粧品容器						
	4.市販薬品(農薬含む)容器						
	5.食器(コップ、ガラス皿等)						
	6.蛍光灯(金属部のみも含む)			0.30			
	7.電球(金属部のみも含む)	0.00	0.02				0.02
2.陶磁器類							
	1.食器						
	2.タイル・レンガ						
3.ガラス破片		0.22	0.14	0.01	0.01	0.00	0.02
4.陶磁器類破片		0.04	0.04	0.00	0.05		0.00
5.その他具体的に							
7.金属類							
1.缶							
	1.アルミ製飲料用缶		0.30				
	2.スチール製飲料用缶			0.15			
	3.食品用缶						
	4.スプレー缶(カセットボンベを含む)	0.50				0.73	
	5.潤滑油缶・ボトル						
	6.ドラム缶	200.00					
	7.その他の缶						
2.釣り用品							
	1.釣り針(糸のついたものを含む)						
	2.おもり						
	3.その他の釣り用品						
3.雑貨類							
	1.ふた・キャップ	0.20	0.00				
	2.プルタブ						
	3.針金			0.00			
	4.釘(くぎ)		0.00				
	5.電池						

表 1.6-3(9) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、容量(L)、第4回調査(2008年4月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		626.0					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
4. 金属片							
	1. 金属片	0.00		0.00	0.02		
	2. アルミホイル・アルミ箔						
5. その他							
	1. コード配線類						
8. その他の人工物							
	1. 木類						
	1. 木材・木片(角材・板)	1.50	0.20	17.51	0.70	13.84	
	2. 花火(手持ち花火)						
	3. 割り箸						
	4. つま楊枝						
	5. マッチ						
	6. 木炭(炭)						
	7. 物流用パレット						
	8. 梱包用木箱						
	9. その他具体的に						
	2. 粗大ゴミ(具体的に)						
	1. 家電製品・家具						
	2. バッテリー						
	3. 自転車・バイク						
	4. タイヤ						
	5. 自動車・部品(タイヤ・バッテリー以外)						
	6. その他具体的に						
	3. オイルボール						
	4. 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)	0.33		0.09	0.07	0.02	0.01
	5. 医療系廃棄物						
	1. 注射器	0.01		0.04			
	2. バイアル						
	3. アンブル						
	4. 点滴パック						
	5. 錠剤パック						
	6. 点眼・点鼻薬容器			0.01			
	7. コンドーム						
	8. タンポンのアブリケーター						
	9. 紙おむつ						
	10. その他の医療系廃棄物	0.00					
	6. その他具体的に						
	1. 革製品						
	2. 船(FRP等材質を記入)						
9. 生物系漂着物							
	1. 流木、灌木等						
	1. 灌木	72.34	25.55	62.21	22.01	94.15	20.13
	2. 流木	2.26					
	2. 海藻	142.50	94.54	37.08	104.06	40.15	
	3. その他(死骸等)						
	1. 死骸等(具体的に)						
	2. その他具体的に	0.12					

表 1.6-4(1) 共通調査における漂着ゴミ分類結果

(小分類、個数、第5回調査(2008年5月))

地域	福井県坂井市地域					
	601.0					
回収面積(m <sup>2</sup> )	地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
1. プラスチック類						
1. 袋類						
1. 食品用・包装用(食品の包装・容器)			1		1	
2. スーパー・コンビニの袋				1		
3. お菓子の袋	5	1	2	3	5	1
4. 6パックホルダー						
5. 農薬・肥料袋						
6. その他の袋	8	1	1	3	5	
2. プラボトル						
1. 飲料用(ペットボトル)	2			2	4	1
2. 飲料用(ペットボトル以外)						
3. 洗剤・漂白剤						
4. 市販薬品(農薬含む)						1
5. 化粧品容器						
6. 食品用(マヨネーズ・醤油等)						
7. その他のプラボトル					1	
3. 容器類						
1. カップ、食器					2	
2. 食品の容器	4	3	3		7	1
3. 食品トレイ		1			4	
4. 小型調味料容器(お弁当用 醤油・ソース容器)	1	2		1	2	
5. ふた・キャップ	57	3	14	18	9	2
6. その他の容器類					1	
4. ひも類・シート類						
1. ひも(ねじれ無し)	1	2			1	
2. ロープ(ねじれ有り)	92	19	3	3	6	1
3. テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	15	3		2	3	1
4. シート状プラスチック(ブルーシート)						
5. 雑貨類						
1. ストロー	24			6		
2. タバコのフィルター						
3. ライター	1		2		1	
4. おもちゃ	1				1	
5. 文房具						
6. 苗木ポット					3	2
7. 生活雑貨類(ハブラシ、スプーン等)	1		2	1	1	
8. その他の雑貨類		1		1		
6. 漁具						
1. 釣り糸						
2. 釣りのルアー・浮き	2			1	3	
3. ブイ	1		1		1	
4. 釣りの蛍光棒(ケミホタル)						
5. 魚網						
6. かご漁具	1			1	2	
7. カキ養殖用パイプ	1					
8. カキ養殖用コード	10		1	1		
9. 釣りえさ袋・容器						
10. その他の漁具						
7. 破片類						
1. シートや袋の破片(シートの破片)						
2. シートや袋の破片(袋の破片)	97	4	6		29	1
3. プラスチックの破片	279	21	54	70	40	
4. 漁具の破片						
5. ペットボトルラベルの破片					1	
8. レジンベレット(プラスチック粒)						
9. その他具体的に						
1. 燃え殻	73	5	9	6	3	2
2. コード配線類	4			2		
3. 薬きょう(猟銃の弾丸の殻)						
4. ウレタン	2	5	5		6	2
5. 農業資材(ビニールハウスのパッカー等)						
6. 不明						
2. ゴム類						
1. ボール	1					
2. 風船						
3. ゴム手袋						
4. 輪ゴム						
5. ゴムの破片	8	1		3	3	
6. その他具体的に						
1. ゴムサンダル						
2. 複合素材サンダル						
3. くつ・靴底			1			

表 1.6-4(2) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、個数、第5回調査(2008年5月))

地域	福井県坂井市地域					
	601.0					
回収面積(m <sup>2</sup> )	地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
3.発泡スチロール類						
1.容器・包装等						
1.食品トレイ		1		5		
2.飲料用カップ		1				
3.弁当・ラーメン等容器		1		2		
4.梱包資材	15					
2.パイ						
3.発泡スチロールの破片	225	27	111	237	181	28
4.魚箱(ト口箱)						
5.その他具体的に						
4.紙類						
1.容器類						
1.紙コップ						
2.飲料用紙パック					1	
3.紙皿						
2.包装						
1.紙袋						
2.タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)						
3.菓子類包装紙						
4.段ボール(箱、板等)						
5.ボール紙箱						
3.花火の筒						
4.紙片等						
1.新聞、雑誌、広告						
2.ティッシュ、鼻紙						
3.紙片					1	1
5.その他具体的に						
1.タバコの吸殻						
2.葉巻などの吸い口						
5.布類						
1.衣服類				2		
2.軍手						
3.布片	1		1	1		
4.糸、毛糸		1				
5.布ひも						
6.その他具体的に						
1.毛布・カーペット						
2.覆い(シート類)						
6.ガラス・陶磁器類						
1.ガラス						
1.飲料用容器						
2.食品用容器						
3.化粧品容器						
4.市販薬品(農薬含む)容器						
5.食器(コップ、ガラス皿等)						
6.蛍光灯(金属部のみも含む)						
7.電球(金属部のみも含む)						
2.陶磁器類						
1.食器						
2.タイル・レンガ						
3.ガラス破片	153	441	21	20		18
4.陶磁器類破片	3	7				
5.その他具体的に						
7.金属類						
1.缶						
1.アルミ製飲料用缶					1	
2.スチール製飲料用缶						
3.食品用缶						
4.スプレー缶(カセットボンベを含む)					1	
5.潤滑油缶・ボトル						
6.ドラム缶						
7.その他の缶						
2.釣り用品						
1.釣り針(糸のついたものを含む)						
2.おもり						
3.その他の釣り用品						1
3.雑貨類						
1.ふた・キャップ		1				
2.プルタブ	3					
3.針金		1				
4.釘(くぎ)						
5.電池	1	1				

表 1.6-4(3) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、個数、第5回調査(2008年5月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		601.0					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
4. 金属片	1. 金属片	2	9	3	1		
	2. アルミホイル・アルミ箔					1	
	5. その他						
5. その他	1. コード配線類						
8. その他の人工物							
1. 木類							
1. 木類	1. 木材・木片(角材・板)				1	1	1
	2. 花火(手持ち花火)						
	3. 割り箸						
	4. つま楊枝						
	5. マッチ						
	6. 木炭(炭)						
	7. 物流用パレット						
	8. 梱包用木箱						
	9. その他具体的に						
2. 粗大ゴミ(具体的に)							
2. 粗大ゴミ(具体的に)	1. 家電製品・家具						
	2. バッテリー						
	3. 自転車・バイク						
	4. タイヤ			1			
	5. 自動車・部品(タイヤ・バッテリー以外)						
	6. その他具体的に						
3. オイルボール							
4. 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)		2					
5. 医療系廃棄物							
5. 医療系廃棄物	1. 注射器				1		
	2. バイアル						
	3. アンブル						
	4. 点滴バック						
	5. 錠剤バック	1					
	6. 点眼・点鼻薬容器						
	7. コンドーム						
	8. タンポンのアプリケーター						
	9. 紙おむつ						
	10. その他の医療系廃棄物						
6. その他具体的に							
6. その他具体的に	1. 革製品						
	2. 船(FRP等材質を記入)						
9. 生物系漂着物							
1. 流木、灌木等							
1. 流木、灌木等	1. 灌木	0	0	0	0	0	0
	2. 流木					1	
2. 海藻		0	0	0	0	0	0
3. その他(死骸等)							
3. その他(死骸等)	1. 死骸等(具体的に)						
	2. その他具体的に						

表 1.6-4(4) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、重量(kg)、第5回調査(2008年5月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		601.0					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
<b>1. プラスチック類</b>							
1. 袋類							
	1. 食品用・包装用(食品の包装・容器)			0.00		0.00	
	2. スーパー・コンビニの袋				0.01		
	3. お菓子の袋	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	4. 6パックホルダー						
	5. 農薬・肥料袋						
	6. その他の袋	0.03	0.00	0.00	0.04	0.04	
2. プラボトル							
	1. 飲料用(ペットボトル)	0.06			0.10	0.12	0.03
	2. 飲料用(ペットボトル以外)						
	3. 洗剤・漂白剤						
	4. 市販薬品(農薬含む)						0.05
	5. 化粧品容器						
	6. 食品用(マヨネーズ・醤油等)						
	7. その他のプラボトル					0.00	
3. 容器類							
	1. カップ、食器					0.01	
	2. 食品の容器	0.01	0.01	0.00		0.02	0.00
	3. 食品トレイ		0.01			0.03	
	4. 小型調味料容器(お弁当用 醤油・ソース容器)	0.00	0.00		0.00	0.00	
	5. ふた・キャップ	0.12	0.01	0.03	0.07	0.03	0.03
	6. その他の容器類					0.00	
4. ひも類・シート類							
	1. ひも(ねじれ無し)	0.00	0.00			0.00	
	2. ロープ(ねじれ有り)	0.59	0.25	0.01	0.03	0.04	0.00
	3. テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	0.01	0.02		0.00	0.01	0.00
	4. シート状プラスチック(ブルーシート)						
5. 雑貨類							
	1. ストロー	0.01			0.00		
	2. タバコのフィルター						
	3. ライター	0.01		0.02		0.01	
	4. おもちゃ	0.00				0.01	
	5. 文房具						
	6. 苗木ポット					0.01	0.01
	7. 生活雑貨類(ハブラシ、スプーン等)	0.00		0.01	0.01	0.00	
	8. その他の雑貨類		0.02		0.08		
6. 漁具							
	1. 釣り糸						
	2. 釣りのルアー・浮き	0.01			0.00	0.01	
	3. ブイ	0.00		0.01		0.04	
	4. 釣りの蛍光棒(ケミホタル)						
	5. 魚網						
	6. かご漁具	0.06			0.03	0.05	
	7. カキ養殖用パイプ	0.00					
	8. カキ養殖用コード	0.02		0.00	0.00		
	9. 釣りえさ袋・容器						
	10. その他の漁具						
7. 破片類							
	1. シートや袋の破片(シートの破片)						
	2. シートや袋の破片(袋の破片)	0.06	0.00	0.00		0.04	0.00
	3. プラスチックの破片	0.37	0.09	0.17	0.22	0.19	
	4. 漁具の破片						
	5. ペットボトルラベルの破片					0.00	
8. レジンベレット(プラスチック粒)							
9. その他具体的に							
	1. 燃え殻	0.69	0.04	0.06	0.05	0.07	0.01
	2. コード配線類	0.01			0.01		
	3. 薬きょう(猟銃の弾丸の殻)						
	4. ウレタン	0.00	0.06	0.01		0.05	0.00
	5. 農業資材(ビニールハウスのバックカー等)						
	6. 不明						
<b>2. ゴム類</b>							
	1. ボール	0.01					
	2. 風船						
	3. ゴム手袋						
	4. 輪ゴム						
	5. ゴムの破片	0.01	0.00		0.01	0.03	
	6. その他具体的に						
	1. ゴムサンダル						
	2. 複合素材サンダル						
	3. くつ・靴底			0.03			

表 1.6-4(5) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、重量(kg)、第5回調査(2008年5月))

地域	福井県坂井市地域					
	601.0					
回収面積(m <sup>2</sup> )	地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
3.発泡スチロール類						
1.容器・包装等						
1.食品トレイ		0.01		0.01		
2.飲料用カップ		0.00				
3.弁当・ラーメン等容器		0.00		0.01		
4.梱包資材	0.01					
2.パイ						
3.発泡スチロールの破片	0.06	0.06	0.02	0.03	0.17	0.02
4.魚箱(ト口箱)						
5.その他具体的に						
4.紙類						
1.容器類						
1.紙コップ						
2.飲料用紙パック					0.01	
3.紙皿						
2.包装						
1.紙袋						
2.タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)						
3.菓子類包装紙						
4.段ボール(箱、板等)						
5.ボール紙箱						
3.花火の筒						
4.紙片等						
1.新聞、雑誌、広告						
2.ティッシュ、鼻紙						
3.紙片					0.04	0.01
5.その他具体的に						
1.タバコの吸殻						
2.葉巻などの吸い口						
5.布類						
1.衣服類				0.00		
2.軍手						
3.布片	0.00		0.00	0.00		
4.糸、毛糸		0.00				
5.布ひも						
6.その他具体的に						
1.毛布・カーペット						
2.覆い(シート類)						
6.ガラス・陶磁器類						
1.ガラス						
1.飲料用容器						
2.食品用容器						
3.化粧品容器						
4.市販薬品(農薬含む)容器						
5.食器(コップ、ガラス皿等)						
6.蛍光灯(金属部のみも含む)						
7.電球(金属部のみも含む)						
2.陶磁器類						
1.食器						
2.タイル・レンガ						
3.ガラス破片	0.90	0.89	0.03	0.06		0.09
4.陶磁器類破片	0.03	0.03				
5.その他具体的に						
7.金属類						
1.缶						
1.アルミ製飲料用缶					0.04	
2.スチール製飲料用缶						
3.食品用缶						
4.スプレー缶(カセットボンベを含む)					0.10	
5.潤滑油缶・ボトル						
6.ドラム缶						
7.その他の缶						
2.釣り用品						
1.釣り針(糸のついたものを含む)						
2.おもり						
3.その他の釣り用品						0.03
3.雑貨類						
1.ふた・キャップ		0.00				
2.プルタブ	0.00					
3.針金		0.00				
4.釘(くぎ)						
5.電池	0.02	0.00				

表 1.6-4(6) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、重量(kg)、第5回調査(2008年5月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		601.0					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
4. 金属片							
	1. 金属片	0.01	0.05	0.03	0.00		
	2. アルミホイル・アルミ箔					0.00	
5. その他							
	1. コード配線類						
8. その他の人工物							
	1. 木類						
	1. 木材・木片(角材・板)				0.03	0.47	0.25
	2. 花火(手持ち花火)						
	3. 割り箸						
	4. つま楊枝						
	5. マッチ						
	6. 木炭(炭)						
	7. 物流用パレット						
	8. 梱包用木箱						
	9. その他具体的に						
	2. 粗大ゴミ(具体的に)						
	1. 家電製品・家具						
	2. バッテリー						
	3. 自転車・バイク						
	4. タイヤ		1.04				
	5. 自動車・部品(タイヤ・バッテリー以外)						
	6. その他具体的に						
	3. オイルボール						
	4. 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)	0.05					
	5. 医療系廃棄物						
	1. 注射器				0.00		
	2. バイアル						
	3. アンブル						
	4. 点滴パック						
	5. 錠剤パック	0.00					
	6. 点眼・点鼻薬容器						
	7. コンドーム						
	8. タンポンのアプリケーター						
	9. 紙おむつ						
	10. その他の医療系廃棄物						
	6. その他具体的に						
	1. 革製品						
	2. 船(FRP等材質を記入)						
9. 生物系漂着物							
	1. 流木、灌木等						
	1. 灌木	0.85	1.18	0.80	1.17	2.36	1.43
	2. 流木					1.33	
	2. 海藻	0.54	11.21	0.28	7.20	31.20	1.95
	3. その他(死骸等)						
	1. 死骸等(具体的に)						
	2. その他具体的に						

表 1.6-4(7) 共通調査における漂着ゴミ分類結果

(小分類、容量(L)、第5回調査(2008年5月))

地域	福井県坂井市地域					
	601.0					
回収面積(m <sup>2</sup> )	地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
1. プラスチック類						
1. 袋類						
1. 食品用・包装用(食品の包装・容器)			0.00		0.01	
2. スーパー・コンビニの袋				0.30		
3. お菓子の袋	0.00	0.00	0.03	0.04	0.03	0.02
4. 6 バックホルダー						
5. 農薬・肥料袋						
6. その他の袋	0.21	0.00	0.00	0.13	0.40	
2. プラボトル						
1. 飲料用(ペットボトル)	1.00			2.50	2.20	0.50
2. 飲料用(ペットボトル以外)						
3. 洗剤・漂白剤						
4. 市販薬品(農薬含む)						0.50
5. 化粧品容器						
6. 食品用(マヨネーズ・醤油等)						
7. その他のプラボトル					0.02	
3. 容器類						
1. カップ、食器					0.04	
2. 食品の容器	0.05	0.10	0.03		0.27	0.00
3. 食品トレイ		0.20			0.50	
4. 小型調味料容器(お弁当用 醤油・ソース容器)	0.00	0.01		0.00	0.04	
5. ふた・キャップ	0.37	0.04	0.12	0.31	0.09	0.06
6. その他の容器類					0.01	
4. ひも類・シート類						
1. ひも(ねじれ無し)	0.00	0.01			0.00	
2. ロープ(ねじれ有り)	3.26	1.15	0.02	0.20	0.30	0.02
3. テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	0.05	0.05		0.00	0.10	0.01
4. シート状プラスチック(ブルーシート)						
5. 雑貨類						
1. ストロー	0.04			0.02		
2. タバコのフィルター						
3. ライター	0.01		0.03		0.01	
4. おもちゃ	0.02				0.15	
5. 文房具						
6. 苗木ポット					0.20	0.10
7. 生活雑貨類(ハブラシ、スプーン等)	0.01		0.03	0.03	0.00	
8. その他の雑貨類		0.30		0.30		
6. 漁具						
1. 釣り糸						
2. 釣りのルアー・浮き	0.02			0.01	0.05	
3. ブイ	0.01		0.05		0.17	
4. 釣りの蛍光棒(ケミホタル)						
5. 魚網						
6. かご漁具	0.40			0.20	0.40	
7. カキ養殖用パイプ	0.00					
8. カキ養殖用コード	0.09		0.00	0.00		
9. 釣りえさ袋・容器						
10. その他の漁具						
7. 破片類						
1. シートや袋の破片(シートの破片)						
2. シートや袋の破片(袋の破片)	1.20	0.00	0.08		0.63	0.00
3. プラスチックの破片	1.36	0.14	0.43	0.67	1.30	
4. 漁具の破片						
5. ペットボトルラベルの破片					0.00	
8. レジンベレット(プラスチック粒)						
9. その他具体的に						
1. 燃え殻	2.27	0.08	0.09	0.07	0.10	0.01
2. コード配線類	0.02			0.03		
3. 薬きょう(猟銃の弾丸の殻)						
4. ウレタン	0.01	0.87	0.16		0.50	0.10
5. 農業資材(ビニールハウスのパッカー等)						
6. 不明						
2. ゴム類						
1. ボール	0.01					
2. 風船						
3. ゴム手袋						
4. 輪ゴム						
5. ゴムの破片	0.01	0.00		0.08	0.18	
6. その他具体的に						
1. ゴムサンダル						
2. 複合素材サンダル						
3. くつ・靴底			0.10			

表 1.6-4(8) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、容量(L)、第5回調査(2008年5月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		601.0					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
3. 発泡スチロール類							
1. 容器・包装等							
1. 食品トレイ			0.20		0.48		
2. 飲料用カップ			0.08				
3. 弁当・ラーメン等容器			0.30		0.27		
4. 梱包資材		0.10					
2. プイ							
3. 発泡スチロールの破片		2.40	0.43	0.52	0.77	4.09	0.68
4. 魚箱(ト口箱)							
5. その他具体的に							
4. 紙類							
1. 容器類							
1. 紙コップ						0.07	
2. 飲料用紙パック							
3. 紙皿							
2. 包装							
1. 紙袋							
2. タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)							
3. 菓子類包装紙							
4. 段ボール(箱、板等)							
5. ボール紙箱							
3. 花火の筒							
4. 紙片等							
1. 新聞、雑誌、広告							
2. ティッシュ、鼻紙							
3. 紙片						0.30	0.03
5. その他具体的に							
1. タバコの吸殻							
2. 葉巻などの吸い口							
5. 布類							
1. 衣服類					0.08		
2. 軍手							
3. 布片		0.00		0.05	0.00		
4. 糸、毛糸			0.00				
5. 布ひも							
6. その他具体的に							
1. 毛布・カーペット							
2. 覆い(シート類)							
6. ガラス・陶磁器類							
1. ガラス							
1. 飲料用容器							
2. 食品用容器							
3. 化粧品容器							
4. 市販薬品(農薬含む)容器							
5. 食器(コップ、ガラス皿等)							
6. 蛍光灯(金属部のみも含む)							
7. 電球(金属部のみも含む)							
2. 陶磁器類							
1. 食器							
2. タイル・レンガ							
3. ガラス破片		0.55	0.46	0.01	0.03		0.04
4. 陶磁器類破片		0.02	0.01				
5. その他具体的に							
7. 金属類							
1. 缶							
1. アルミ製飲料用缶						0.20	
2. スチール製飲料用缶							
3. 食品用缶							
4. スプレー缶(カセットボンベを含む)						0.50	
5. 潤滑油缶・ボトル							
6. ドラム缶							
7. その他の缶							
2. 釣り用品							
1. 釣り針(糸のついたものを含む)							
2. おもり							
3. その他の釣り用品							0.05
3. 雑貨類							
1. ふた・キャップ			0.00				
2. プルタブ		0.00					
3. 針金			0.00				
4. 釘(くぎ)							
5. 電池		0.01	0.00				

表 1.6-4(9) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、容量(L)、第5回調査(2008年5月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		601.0					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
4. 金属片	1. 金属片	0.01	0.03	0.01	0.00		
	2. アルミホイル・アルミ箔					0.00	
5. その他	1. コード配線類						
8. その他の人工物							
1. 木類							
1. 木類	1. 木材・木片(角材・板)				0.05	0.80	0.30
	2. 花火(手持ち花火)						
	3. 割り箸						
	4. つま楊枝						
	5. マッチ						
	6. 木炭(炭)						
	7. 物流用パレット						
	8. 梱包用木箱						
	9. その他具体的に						
2. 粗大ゴミ(具体的に)							
2. 粗大ゴミ(具体的に)	1. 家電製品・家具						
	2. バッテリー						
	3. 自転車・バイク						
	4. タイヤ		3.00				
	5. 自動車・部品(タイヤ・バッテリー以外)						
	6. その他具体的に						
3. オイルボール							
4. 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)		0.06					
5. 医療系廃棄物							
5. 医療系廃棄物	1. 注射器				0.01		
	2. バイアル						
	3. アンブル						
	4. 点滴バック						
	5. 錠剤バック	0.01					
	6. 点眼・点鼻薬容器						
	7. コンドーム						
	8. タンポンのアプリケーター						
	9. 紙おむつ						
	10. その他の医療系廃棄物						
6. その他具体的に							
6. その他具体的に	1. 革製品						
	2. 船(FRP等材質を記入)						
9. 生物系漂着物							
1. 流木、灌木等							
1. 流木、灌木等	1. 灌木	2.37	8.00	3.86	7.52	4.35	2.56
	2. 流木					3.00	
2. 海藻		2.70	73.00	4.00	69.00	153.77	26.00
3. その他(死骸等)							
3. その他(死骸等)	1. 死骸等(具体的に)						
	2. その他具体的に						

表 1.6-5(1) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、個数、第6回調査(2008年9月))

地域	福井県坂井市地域					
	610.5					
回収面積(m <sup>2</sup> )	地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
<b>1. プラスチック類</b>						
1. 袋類						
1. 食品用・包装用(食品の包装・容器)	1			2	8	2
2. スーパー・コンビニの袋		2	1	1	1	
3. お菓子の袋	4	1	4	1	9	
4. 6パックホルダー						
5. 農薬・肥料袋						
6. その他の袋	4	2	3		4	
2. プラボトル						
1. 飲料用(ペットボトル)	8	5	3	11	42	2
2. 飲料用(ペットボトル以外)	2			1	7	
3. 洗剤・漂白剤				1	1	
4. 市販薬品(農薬含む)	1		1		5	
5. 化粧品容器		1		1	4	
6. 食品用(マヨネーズ・醤油等)					1	
7. その他のプラボトル	2		1		2	2
3. 容器類						
1. カップ、食器			1		2	
2. 食品の容器	8	4	3	1	29	
3. 食品トレイ				2	3	
4. 小型調味料容器(お弁当用 醤油・ソース容器)					10	
5. ふた・キャップ	25	6	37	9	196	6
6. その他の容器類		1	1	1	17	1
4. ひも類・シート類						
1. ひも(ねじれ無し)				1		
2. ロープ(ねじれ有り)	48	19	14	1	21	3
3. テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	6	18	1		9	2
4. シート状プラスチック(ブルーシート)						
5. 雑貨類						
1. ストロー	8	1	4	2	15	
2. タバコのフィルター						
3. ライター	1		2	1	14	1
4. おもちゃ	1		1		7	
5. 文房具	2	1		2	1	
6. 苗木ポット	1				11	
7. 生活雑貨類(ハブラシ、スプーン等)	2		4	1	7	1
8. その他の雑貨類	1	2		1	2	1
6. 漁具						
1. 釣り糸						
2. 釣りのルアー・浮き	2		2	1	12	1
3. ブイ	6		4		33	4
4. 釣りの蛍光棒(ケミホタル)			1		1	
5. 魚網						1
6. かご漁具	3		2	1	7	
7. カキ養殖用パイプ	1	1	1			
8. カキ養殖用コード	1		2		8	
9. 釣りえさ袋・容器	1				2	
10. その他の漁具		2			2	
7. 破片類						
1. シートや袋の破片(シートの破片)	23	13	7	4	12	2
2. シートや袋の破片(袋の破片)	4		1		37	1
3. プラスチックの破片	72	6	85	27	347	13
4. 漁具の破片					3	
5. ペットボトルラベルの破片	5	1		1	2	
8. レジンベレット(プラスチック粒)						
9. その他具体的に						
1. 燃え殻	20	2	5	4	46	2
2. コード配線類	1		1	1		
3. 薬きょう(猟銃の弾丸の殻)						
4. ウレタン	15	4	8	7	89	12
5. 農業資材(ビニールハウスのバッカー等)					1	
6. 不明	1		1		6	3
<b>2. ゴム類</b>						
1. ボール					6	1
2. 風船						
3. ゴム手袋						
4. 輪ゴム			1			
5. ゴムの破片			1	2		1
6. その他具体的に						
1. ゴムサンダル		1			5	
2. 複合素材サンダル						
3. くつ・靴底		3			2	

表 1.6-5(2) 共通調査における漂着ゴミ分類結果

(小分類、個数、第6回調査(2008年9月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		610.5					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
3.発泡スチロール類							
1.容器・包装等							
	1.食品トレイ	59	14	12	48	426	78
	2.飲料用カップ						
	3.弁当・ラーメン等容器	2		1		4	7
	4.梱包資材	2		1	1		4
	2.フイ					2	
	3.発泡スチロールの破片	60	38	16	94	396	55
	4.魚箱(ト口箱)						
	5.その他具体的に						
4.紙類							
1.容器類							
	1.紙コップ				1	1	
	2.飲料用紙パック					1	
	3.紙皿					1	
	2.包装						
	1.紙袋						
	2.タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)						
	3.菓子類包装紙						
	4.段ボール(箱、板等)						
	5.ボール紙箱						
	3.花火の筒						
	4.紙片等						
	1.新聞、雑誌、広告						
	2.ティッシュ、鼻紙						
	3.紙片	2	4	2			
	5.その他具体的に						
	1.タバコの吸殻		3				
	2.葉巻などの吸い口						
5.布類							
	1.衣服類						2
	2.軍手	2	2				
	3.布片	1	2	4	1	4	
	4.糸、毛糸						
	5.布ひも						
	6.その他具体的に						
	1.毛布・カーペット						
	2.覆い(シート類)						
6.ガラス・陶磁器類							
1.ガラス							
	1.飲料用容器					8	1
	2.食品用容器						
	3.化粧品容器						
	4.市販薬品(農薬含む)容器						
	5.食器(コップ、ガラス皿等)						
	6.蛍光灯(金属部のみも含む)					1	
	7.電球(金属部のみも含む)			1			
	2.陶磁器類						
	1.食器						
	2.タイル・レンガ						
	3.ガラス破片	18	33	1	41	2	9
	4.陶磁器類破片	1	1		7		1
	5.その他具体的に						
7.金属類							
1.缶							
	1.アルミ製飲料用缶	2	3		10	6	
	2.スチール製飲料用缶		1		1		1
	3.食品用缶						
	4.スプレー缶(カセットボンベを含む)					1	
	5.潤滑油缶・ボトル						
	6.ドラム缶						
	7.その他の缶		1				
	2.釣り用品						
	1.釣り針(糸のついたものを含む)						
	2.おもり						
	3.その他の釣り用品						
	3.雑貨類						
	1.ふた・キャップ	1				2	1
	2.プルタブ						
	3.針金						
	4.釘(くぎ)						
	5.電池		1				

表 1.6-5(3) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、個数、第6回調査(2008年9月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		610.5					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
4. 金属片							
	1. 金属片			1	4	1	1
	2. アルミホイル・アルミ箔				1		
5. その他							
	1. コード配線類						
8. その他の人工物							
1. 木類							
	1. 木材・木片(角材・板)	5	1	2	3	45	
	2. 花火(手持ち花火)		2	1	1		2
	3. 割り箸						1
	4. つま楊枝						
	5. マッチ						
	6. 木炭(炭)	1				2	
	7. 物流用パレット						
	8. 梱包用木箱						
	9. その他具体的に			2		10	
2. 粗大ゴミ(具体的に)							
	1. 家電製品・家具						
	2. バッテリー						
	3. 自転車・バイク						
	4. タイヤ						
	5. 自動車・部品(タイヤ・バッテリー以外)						
	6. その他具体的に						
3. オイルボール							
4. 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)		1				2	
5. 医療系廃棄物							
	1. 注射器	1	1	1		1	
	2. バイアル						
	3. アンブル						
	4. 点滴パック						
	5. 錠剤パック	1					1
	6. 点眼・点鼻薬容器						
	7. コンドーム					1	
	8. タンポンのアプリケーター						
	9. 紙おむつ						
	10. その他の医療系廃棄物						
6. その他具体的に							
	1. 革製品						
	2. 船(FRP等材質を記入)						
9. 生物系漂着物							
1. 流木、灌木等							
	1. 灌木	0	0	0	0	0	0
	2. 流木				1	5	7
2. 海藻		0	0	0	0	0	0
3. その他(死骸等)							
	1. 死骸等(具体的に)						
	2. その他具体的に						

表 1.6-5(4) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、重量(kg)、第6回調査(2008年9月))

地域	福井県坂井市地域					
	610.5					
回収面積(m <sup>2</sup> )	地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
1. プラスチック類						
1. 袋類						
1. 食品用・包装用(食品の包装・容器)	0.00			0.01	0.02	0.01
2. スーパー・コンビニの袋		0.01	0.01	0.00	0.01	
3. お菓子の袋	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	
4. 6パックホルダー						
5. 農薬・肥料袋						
6. その他の袋	0.01	0.01	0.00		0.01	
2. プラボトル						
1. 飲料用(ペットボトル)	0.24	0.23	0.08	0.38	1.40	0.06
2. 飲料用(ペットボトル以外)	0.03			0.02	0.12	
3. 洗剤・漂白剤				0.06	0.06	
4. 市販薬品(農薬含む)	0.09		0.01		0.03	
5. 化粧品容器		0.03		0.03	0.10	
6. 食品用(マヨネーズ・醤油等)					0.02	
7. その他のプラボトル	0.01		0.10		0.05	0.09
3. 容器類						
1. カップ、食器			0.01		0.04	
2. 食品の容器	0.02	0.02	0.01	0.01	0.08	
3. 食品トレイ				0.03	0.01	
4. 小型調味料容器(お弁当用 醤油・ソース容器)					0.02	
5. ふた・キャップ	0.08	0.02	0.12	0.05	0.63	0.02
6. その他の容器類		0.00	0.00	0.12	0.08	0.03
4. ひも類・シート類						
1. ひも(ねじれ無し)				0.00		
2. ロープ(ねじれ有り)	0.87	0.60	0.11	0.01	0.53	0.02
3. テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	0.03	0.01	0.00		0.03	0.01
4. シート状プラスチック(ブルーシート)						
5. 雑貨類						
1. ストロー	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	
2. タバコのフィルター						
3. ライター	0.01		0.02	0.01	0.14	0.01
4. おもちゃ	0.02		0.00		0.07	
5. 文房具	0.00	0.01		0.00	0.01	
6. 苗木ポット	0.00				0.24	
7. 生活雑貨類(ハブラシ、スプーン等)	0.01		0.04	0.01	0.05	0.01
8. その他の雑貨類	0.00	0.32		0.02	0.00	0.19
6. 漁具						
1. 釣り糸						
2. 釣りのルアー・浮き	0.00		0.01	0.01	0.09	0.00
3. プイ	0.08		0.05		2.48	0.06
4. 釣りの蛍光棒(ケミホタル)			0.00		0.00	
5. 魚網						0.04
6. かご漁具	0.11		0.30	0.01	0.19	
7. カキ養殖用パイプ	0.00	0.01	0.00			
8. カキ養殖用コード	0.00		0.00		0.02	
9. 釣りえさ袋・容器	0.02				0.02	
10. その他の漁具		0.06			3.20	
7. 破片類						
1. シートや袋の破片(シートの破片)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00
2. シートや袋の破片(袋の破片)	0.00		0.00		0.03	0.00
3. プラスチックの破片	0.29	0.04	0.57	0.13	2.41	0.06
4. 漁具の破片					0.01	
5. ペットボトルラベルの破片	0.00	0.00		0.00	0.00	
8. レジンベレット(プラスチック粒)						
9. その他具体的に						
1. 燃え殻	0.83	0.04	0.05	0.02	0.59	0.06
2. コード配線類	0.01		0.00	0.00		
3. 薬きょう(猟銃の弾丸の殻)						
4. ウレタン	0.23	0.00	0.03	0.01	0.96	0.31
5. 農業資材(ビニールハウスのパッカー等)					0.01	
6. 不明	0.18		0.00		1.28	0.01
2. ゴム類						
1. ボール					0.35	0.14
2. 風船						
3. ゴム手袋						
4. 輪ゴム			0.00			
5. ゴムの破片			0.00	0.00		0.08
6. その他具体的に						
1. ゴムサンダル		0.15			0.29	
2. 複合素材サンダル						
3. くつ・靴底		0.33			0.20	

表 1.6-5(5) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、重量(kg)、第6回調査(2008年9月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		610.5					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
3.発泡スチロール類							
1.容器・包装等							
	1.食品トレイ	0.01	0.00	0.00	0.05	0.15	0.02
	2.飲料用カップ						
	3.弁当・ラーメン等容器	0.00		0.00		0.00	0.01
	4.梱包資材	0.00		0.00	0.00		0.00
2.パイ						2.29	
	3.発泡スチロールの破片	0.08	0.02	0.01	0.05	0.68	0.13
	4.魚箱(ト口箱)						
	5.その他具体的に						
4.紙類							
1.容器類							
	1.紙コップ				0.11	0.02	
	2.飲料用紙パック					0.03	
	3.紙皿					0.01	
2.包装							
	1.紙袋						
	2.タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)						
	3.菓子類包装紙						
	4.段ボール(箱、板等)						
	5.ボール紙箱						
3.花火の筒							
4.紙片等							
	1.新聞、雑誌、広告						
	2.ティッシュ、鼻紙						
	3.紙片	0.00	0.01	0.08			
5.その他具体的に							
	1.タバコの吸殻		0.00				
	2.葉巻などの吸い口						
5.布類							
1.衣服類						0.30	
2.軍手		0.21	0.03				
3.布片		0.00	0.11	0.06	0.00	0.09	
4.糸、毛糸							
5.布ひも							
6.その他具体的に							
	1.毛布・カーペット						
	2.覆い(シート類)						
6.ガラス・陶磁器類							
1.ガラス							
	1.飲料用容器					1.42	0.13
	2.食品用容器						
	3.化粧品容器						
	4.市販薬品(農薬含む)容器						
	5.食器(コップ、ガラス皿等)						
	6.蛍光灯(金属部のみも含む)					0.01	
	7.電球(金属部のみも含む)			0.03			
2.陶磁器類							
	1.食器						
	2.タイル・レンガ						
3.ガラス破片		0.19	0.14	0.00	0.12	0.06	0.10
4.陶磁器類破片		0.01	0.00		0.07		0.04
5.その他具体的に							
7.金属類							
1.缶							
	1.アルミ製飲料用缶	0.05	0.05		0.19	0.12	
	2.スチール製飲料用缶		0.04		0.22		0.03
	3.食品用缶						
	4.スプレー缶(カセットボンベを含む)					0.13	
	5.潤滑油缶・ボトル						
	6.ドラム缶						
	7.その他の缶		0.21				
2.釣り用品							
	1.釣り針(糸のついたものを含む)						
	2.おもり						
	3.その他の釣り用品						
3.雑貨類							
	1.ふた・キャップ	0.00				0.01	0.00
	2.プルタブ						
	3.針金						
	4.釘(くぎ)						
	5.電池		0.01				

表 1.6-5(6) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、重量(kg)、第6回調査(2008年9月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		610.5					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
4. 金属片	1. 金属片			0.01	0.65	0.00	0.01
	2. アルミホイル・アルミ箔				0.07		
	5. その他						
5. その他	1. コード配線類						
	8. その他の人工物						
1. 木類	1. 木材・木片(角材・板)	0.84	0.05	0.56	2.46	21.52	
	2. 花火(手持ち花火)		0.00	0.00	0.00		0.00
	3. 割り箸						0.00
	4. つま楊枝						
	5. マッチ						
	6. 木炭(炭)	0.00				0.00	
	7. 物流用パレット						
	8. 梱包用木箱						
	9. その他具体的に			1.47		4.34	
2. 粗大ゴミ(具体的に)	1. 家電製品・家具						
	2. バッテリー						
	3. 自転車・バイク						
	4. タイヤ						
	5. 自動車・部品(タイヤ・バッテリー以外)						
	6. その他具体的に						
3. オイルボール							
4. 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)	0.02					0.07	
5. 医療系廃棄物							
1. 注射器	1. 注射器	0.01	0.01	0.00		0.00	
	2. バイアル						
	3. アンブル						
	4. 点滴バック						
	5. 錠剤バック	0.00					0.00
	6. 点眼・点鼻薬容器						
	7. コンドーム					0.00	
	8. タンポンのアプリーケーター						
	9. 紙おむつ						
	10. その他の医療系廃棄物						
6. その他具体的に	1. 革製品						
	2. 船(FRP等材質を記入)						
9. 生物系漂着物							
1. 流木、灌木等	1. 灌木	1.41	0.70	0.29	1.19	15.74	1.91
	2. 流木				0.28	5.60	35.33
2. 海藻	1.04	5.19	86.90	15.18	4.20	0.03	
3. その他(死骸等)	1. 死骸等(具体的に)						
	2. その他具体的に						

表 1.6-5(7) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、容量(L)、第6回調査(2008年9月))

地域	福井県坂井市地域					
	610.5					
回収面積(m <sup>2</sup> )	地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
1. プラスチック類						
1.1 袋類						
1.1.1 食品用・包装用(食品の包装・容器)	0.00			0.06	0.10	0.03
1.1.2 スーパー・コンビニの袋		0.06	0.03	0.03	0.15	
1.1.3 お菓子の袋	0.00	0.00	0.00	0.00	0.15	
1.1.4 6パックホルダー						
1.1.5 農薬・肥料袋						
1.1.6 その他の袋	0.02	0.05	0.01		0.04	
2. プラボトル						
2.1 飲料用(ペットボトル)	3.35	5.50	1.40	7.30	25.84	1.00
2.2 飲料用(ペットボトル以外)	0.38			0.18	1.50	
2.3 洗剤・漂白剤				0.60	1.00	
2.4 市販薬品(農薬含む)	0.50		0.01		0.15	
2.5 化粧品容器		0.20		0.13	0.44	
2.6 食品用(マヨネーズ・醤油等)					0.10	
2.7 その他のプラボトル	0.05		0.20		0.35	0.70
3. 容器類						
3.1 カップ、食器			0.05		0.50	
3.2 食品の容器	0.27	0.10	0.11	0.20	1.34	
3.3 食品トレイ				0.30	0.19	
3.4 小型調味料容器(お弁当用 醤油・ソース容器)					0.06	
3.5 ふた・キャップ	0.24	0.04	0.43	0.18	3.41	0.05
3.6 その他の容器類		0.02	0.03	0.47	1.02	0.05
4. ひも類・シート類						
4.1 ひも(ねじれ無し)				0.03		
4.2 ロープ(ねじれ有り)	8.99	7.24	0.61	0.02	5.55	0.08
4.3 テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	0.27	0.11	0.00		0.27	0.04
4.4 シート状プラスチック(ブルーシート)						
5. 雑貨類						
5.1 ストロー	0.02	0.00	0.01	0.01	0.10	
5.2 タバコのフィルター						
5.3 ライター	0.02		0.04	0.01	0.28	0.02
5.4 おもちゃ	0.05		0.00		0.51	
5.5 文房具	0.02	0.01		0.01	0.01	
5.6 苗木ポット	0.02				3.10	
5.7 生活雑貨類(ハブラシ、スプーン等)	0.08		0.18	0.03	0.30	0.01
5.8 その他の雑貨類	0.02	12.03		0.20	0.03	0.40
6. 漁具						
6.1 釣り糸						
6.2 釣りのルアー・浮き	0.00		0.02	0.01	0.84	0.01
6.3 ブイ	0.31		0.21		32.59	0.20
6.4 釣りの蛍光棒(ケミホタル)			0.01		0.00	
6.5 魚網						0.50
6.6 かご漁具	0.65		4.30	0.10	1.70	
6.7 カキ養殖用パイプ	0.00	0.02	0.00			
6.8 カキ養殖用コード	0.00		0.01		0.16	
6.9 釣りえさ袋・容器	0.50				0.15	
6.10 その他の漁具		0.09			40.08	
7. 破片類						
7.1 シートや袋の破片(シートの破片)	0.11	0.05	0.10	0.01	0.07	0.00
7.2 シートや袋の破片(袋の破片)	0.02		0.00		0.71	0.00
7.3 プラスチックの破片	2.54	0.07	3.46	0.37	18.79	0.28
7.4 漁具の破片					0.02	
7.5 ペットボトルラベルの破片	0.05	0.02		0.00	0.03	
8. レジンペレット(プラスチック粒)						
9. その他具体的に						
9.1 燃え殻	1.52	0.05	0.08	0.04	2.10	0.33
9.2 コード配線類	0.05		0.00	0.00		
9.3 薬きょう(猟銃の弾丸の殻)						
9.4 ウレタン	3.00	0.05	0.09	0.23	26.60	1.13
9.5 農業資材(ビニールハウスのパッカー等)					0.03	
9.6 不明	0.20		0.01		15.13	0.03
2. ゴム類						
2.1 ボール					1.10	0.15
2.2 風船						
2.3 ゴム手袋						
2.4 輪ゴム			0.00			
2.5 ゴムの破片			0.01	0.00		0.14
2.6 その他具体的に						
2.6.1 ゴムサンダル		0.25			0.70	
2.6.2 複合素材サンダル						
2.6.3 くつ・靴底		0.70			0.50	

表 1.6-5(8) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、容量(L)、第6回調査(2008年9月))

地域	福井県坂井市地域					
	回収面積(m <sup>2</sup> )					
610.5						
地点1						
地点2						
地点3						
地点4						
地点5						
地点6						
3. 発泡スチロール類						
1. 容器・包装等						
1. 食品トレイ	0.38	0.21	0.09	1.93	10.21	0.89
2. 飲料用カップ						
3. 弁当・ラーメン等容器	0.05		0.00		0.05	0.04
4. 梱包資材	0.05		0.00	0.00		0.01
2. プイ					72.00	
3. 発泡スチロールの破片	7.73	1.60	0.55	2.63	34.71	10.15
4. 魚箱(ト口箱)						
5. その他具体的に						
4. 紙類						
1. 容器類						
1. 紙コップ				0.50	0.20	
2. 飲料用紙パック					0.10	
3. 紙皿					0.05	
2. 包装						
1. 紙袋						
2. タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)						
3. 菓子類包装紙						
4. 段ボール(箱、板等)						
5. ボール紙箱						
3. 花火の筒						
4. 紙片等						
1. 新聞、雑誌、広告						
2. ティッシュ、鼻紙						
3. 紙片	0.00	0.05	0.26			
5. その他具体的に						
1. タバコの吸殻		0.00				
2. 葉巻などの吸い口						
5. 布類						
1. 衣服類					1.60	
2. 軍手	0.25	0.10				
3. 布片	0.03	2.20	0.31	0.00	1.51	
4. 糸、毛糸						
5. 布ひも						
6. その他具体的に						
1. 毛布・カーペット						
2. 覆い(シート類)						
6. ガラス・陶磁器類						
1. ガラス						
1. 飲料用容器					2.22	0.15
2. 食品用容器						
3. 化粧品容器						
4. 市販薬品(農薬含む)容器						
5. 食器(コップ、ガラス皿等)						
6. 蛍光灯(金属部のみも含む)					0.04	
7. 電球(金属部のみも含む)			0.15			
2. 陶磁器類						
1. 食器						
2. タイル・レンガ						
3. ガラス破片	0.11	0.09	0.00	0.07	0.04	0.05
4. 陶磁器類破片	0.01	0.00		0.03		0.02
5. その他具体的に						
7. 金属類						
1. 缶						
1. アルミ製飲料用缶	0.80	0.70		3.30	1.75	
2. スチール製飲料用缶		0.20		0.19		0.20
3. 食品用缶						
4. スプレー缶(カセットボンベを含む)					0.50	
5. 潤滑油缶・ボトル						
6. ドラム缶						
7. その他の缶		0.50				
2. 釣り用品						
1. 釣り針(糸のついたものを含む)						
2. おもり						
3. その他の釣り用品						
3. 雑貨類						
1. ふた・キャップ	0.01				0.02	0.01
2. プルタブ						
3. 針金						
4. 釘(くぎ)						
5. 電池		0.01				

表 1.6-5(9) 共通調査における漂着ゴミ分類結果  
(小分類、容量(L)、第6回調査(2008年9月))

地域		福井県坂井市地域					
回収面積(m <sup>2</sup> )		610.5					
		地点1	地点2	地点3	地点4	地点5	地点6
4. 金属片							
1. 金属片				0.00	0.78	0.00	0.02
2. アルミホイル・アルミ箔					0.25		
5. その他							
1. コード配線類							
8. その他の人工物							
1. 木類							
1. 木材・木片(角材・板)		3.20	0.15	1.00	4.57	55.60	
2. 花火(手持ち花火)			0.01	0.00	0.00		0.00
3. 割り箸							0.01
4. つま楊枝							
5. マッチ							
6. 木炭(炭)		0.00				0.01	
7. 物流用パレット							
8. 梱包用木箱							
9. その他具体的に				6.07		19.97	
2. 粗大ゴミ(具体的に)							
1. 家電製品・家具							
2. バッテリー							
3. 自転車・バイク							
4. タイヤ							
5. 自動車・部品(タイヤ・バッテリー以外)							
6. その他具体的に							
3. オイルボール							
4. 建築資材(主にコンクリート、鉄筋等)		0.04				0.09	
5. 医療系廃棄物							
1. 注射器		0.02	0.03	0.01		0.01	
2. バイアル							
3. アンブル							
4. 点滴パック							
5. 錠剤パック		0.00					0.02
6. 点眼・点鼻薬容器							
7. コンドーム						0.01	
8. タンポンのアプリケーター							
9. 紙おむつ							
10. その他の医療系廃棄物							
6. その他具体的に							
1. 革製品							
2. 船(FRP等材質を記入)							
9. 生物系漂着物							
1. 流木、灌木等							
1. 灌木		13.88	7.78	2.57	11.27	189.00	31.30
2. 流木					1.00	13.00	86.67
2. 海藻		11.50	74.50	625.00	103.80	80.00	0.20
3. その他(死骸等)							
1. 死骸等(具体的に)							
2. その他具体的に							

## 2. 観光資源価値向上の検討に係る調査

### 2.1 アンケート票（オンサイト）

#### 石垣島の漂着ゴミに関するアンケート（オンサイト用）

環境省では、2007年度より日本国内の7県11海岸において海岸に漂着したゴミ（漂着ゴミ）を調査し、その管理や対策の方法を検討しています。このアンケートは、環境省による調査の一環として、日本エヌ・ユー・エス（株）が委託を受け実施しているものです。

このアンケートでご回答いただいた内容は、この調査の目的以外には使用いたしません。

#### A. あなたが石垣島へ来訪する機会について、下記の当てはまる項目の番号に丸を付けてください。

##### Q1. あなたは、観光目的としてどのくらいの頻度で石垣島に訪れていますか？（出張等は除く）

1. 今回が初めて
2. 数年に1回の頻度（\_\_\_年に1回） *年数をご記入ください*
3. 1年に数回の頻度（1年に\_\_\_回） *回数をご記入ください*

##### Q2. これまでの来訪を含め、あなたが石垣島へ訪問する主な目的は何ですか？（複数選択可）

1. 海水浴
2. 海水浴以外のマリレジャー
3. 自然や景観を楽しむため
4. キャンプ
5. イベント参加
6. 保養・休養
7. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

Q3. 一度の訪問につき平均してどのくらいの期間滞在しますか？（ ）内にご記入ください。  
(はじめての方は今回の滞在期間をご回答ください)

- ・ 石垣島に（ ）日間  
(石垣島以外での滞在日数は除いてご回答ください)
- ・ 沖縄旅行全体として（ ）日間  
(石垣島以外の訪問の場合は上記と同じ日数をご記入ください)

石垣島以外の滞在先： \_\_\_\_\_

Q4. 今回の沖縄旅行（石垣島訪問を含む）でご利用の交通についてお尋ねします。

詳細にお聞きしているのは、旅行にかかった費用を把握するためです。ご協力のほどよろしくお願いたします。

Q4-1 自宅からご出発空港までの主な交通手段をひとつお答えください。

1. 公共交通機関（電車、バスなど）
2. 自家用車
3. タクシー
4. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

Q4-2 旅行のご出発時にご利用の空港名をお答えください。

（乗り継ぎのある場合には、出発時に最初に利用された空港名をお答えください。）

1. 羽田空港
2. 中部国際空港
3. 関西国際空港
4. 伊丹空港
5. 神戸空港
6. 福岡空港
7. 鹿児島空港
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ 空港）

Q4-3 沖縄旅行（石垣島を含む）全体のおよその往復交通費をお答えください。下記 1、2 のどちらかに をしてご回答ください。

1. 個人手配である 約 \_\_\_\_\_ 円（宿泊費・食事代などを除く）
2. パックツアーを利用した 約 \_\_\_\_\_ 円（宿泊費などを含むツアー総額をご記入ください）

Q5. 石垣島への訪問時の同行者はあなたを含めて何人ですか。

（団体ツアーの場合、あなた又は同行者の方が申し込んだ人数をご記入ください。）

\_\_\_\_\_ 人

Q6. 今までの訪問を含めて、石垣島を訪問した際、どの程度の量のゴミを海岸で見かけたことがありますか？

1. 不快に思うほど非常に多く見かけたことがある
2. 気になる程度に多く見かけたことがある
3. 見かけたことがあるが、少なかった、又は、あまり気にならなかった
4. 見かけたことがない/いつもきれいだった

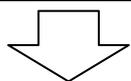
B. 以下の石垣島の地図および海岸の写真をご覧ください。

石垣島では、【地図】の赤で示すような箇所の海岸でゴミが漂着しやすいことが分かっています。そのような海岸では、適切に管理されないと【写真A】のような状態になってしまいますが、最低年一度のゴミの回収作業により、【写真B】のような状態に維持することができます。

【写真A】および【写真B】をご覧ください、以下の質問にご回答ください。



**【写真A】 石垣島の漂着ゴミが適切に管理されていない状態**



**【写真B】 石垣島の漂着ゴミを回収した状態**



Q7. 石垣島の海岸が写真 A 又は写真 B の状態であった場合に、また訪れたいと思いますか？

1. 「写真 A」の状態でも「写真 B」の状態でも訪れたい/訪れてもよいと思う
2. 「写真 A」の状態であれば訪れたいと思う
3. 「写真 B」の状態であれば訪れたいと思う
4. 「写真 A」の状態でも「写真 B」の状態でも訪れたいとは思わない

Q8. もし、石垣島の漂着ゴミが管理され、「写真 B」の状態が維持されたら、石垣島を訪れる頻度や滞在日数を、Q1 および Q3 でご回答いただいた現状より増やしてもよいと思いますか？

1. 訪れる頻度も滞在日数も増やしてよい Q9-1 と Q9-2 にご回答ください
2. 訪れる頻度は増やしてもよい Q9-1 にご回答後 C へお進みください
3. 滞在日数は増やしてもよい Q9-2 にご回答後 C へお進みください
4. 訪れる頻度も滞在日数も増やそうとは思わない C へお進みください

Q9-1. (Q8 で 1. 又は 2. にお答えくださった方) その場合、今後石垣島を訪れる頻度は現状と比べてどのくらいに増えると思いますか？ (Q1 の回答と比較してお答えください)

1. 数年に 1 回の頻度 ( \_\_\_ 年に 1 回 ) 年数をご記入ください
2. 1 年に数回の頻度 ( 1 年に \_\_\_ 回 ) 回数をご記入ください

Q9-2. (Q8 で 1. 又は 3. にお答えくださった方) 1 回の訪問につき石垣島での滞在日数はどの程度増えると思いますか？ (Q3 の回答に基づいてお答えください)

1. 1 日増える
2. 2 日増える
3. 3 日増える
4. 4 日増える
5. 5 日増える
6. 6 日増える
7. 一週間以上増える ( 具体的に : \_\_\_ 日 )

C へお進みください

C. 近年、石垣島だけでなく日本各地の海岸に多くのゴミが漂着しています。これに関する以下の質問について、当てはまる番号に丸を付けてください。

Q10. あなたは日本各地の海岸に多くのゴミが漂着していることを知っていましたか？

<ol style="list-style-type: none"><li>1. TV、雑誌、新聞等の報道から知っている</li><li>2. 学校の授業等で聞いて、知っている</li><li>3. 友人、知人から聞いて、知っている</li><li>4. 自分で実際に見た経験から知っている</li><li>5. その他（具体的に：_____）の理由で知っている</li><li>6. 知らなかった <i>D</i>へお進みください</li></ol>	} <b>Q11 へお進みください</b>
--	-----------------------

Q11. (Q10で「知っている」とお答えくださった方) 漂着ゴミは問題だと思いますか？

<ol style="list-style-type: none"><li>1. 全く問題ではない</li><li>2. あまり問題ではない</li><li>3. 問題である</li><li>4. 非常に問題である</li><li>5. どちらでもない</li></ol>	} <b>Q12 へお進みください</b>
	} <b>Q13 へお進みください</b>
	<b>D へお進みください</b>

Q12. Q11で漂着ゴミは「あまり問題ではない」又は「全く問題ではない」とお答えくださった方にお伺いします。そう思う理由は何ですか？（複数選択可）

<ol style="list-style-type: none"><li>1. 見たことがないから</li><li>2. 生活に支障はないから</li><li>3. 放っておけばまた海に流れ出ていくから</li><li>4. 自分が捨てたものではないから</li><li>5. 誰かが拾うから</li><li>6. その他（具体的に：_____）</li></ol>
--

**D へお進みください**

Q13. Q11で「非常に問題である」又は「問題である」とお答えくださった方にお伺いします。

Q13-1. そう思う理由は何ですか？（複数選択可）

1. 海岸を訪問した際にケガをするおそれがあるのではないかと思うから
2. 実際に海岸のゴミでケガをしたことがあるから
3. 水質が悪化するおそれがあるのではないかと思うから
4. 景観が悪化するおそれがあるのではないかと思うから
5. 水辺の動植物に影響を与えるのではないかと思うから
6. ゴミの回収・処分に多くの手間と費用がかかるのではないかと思うから
7. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

Q13-2. 海岸の清掃活動に参加したいと思いますか？

1. 是非参加したい
2. 機会があれば参加したい
3. あまり参加したくない
4. 参加したくない
5. わからない

D. 最後に、ご回答者ご自身のことについてお尋ねします。

正確な調査のために必要なものですので、ご協力お願いいたします。

また、本アンケートでご回答いただいた内容は、本調査の目的以外には使用いたしません。

性別

1. 男
2. 女

年齢

1. 10代
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80代以上

ご職業

1. 会社員
2. 公務員
3. 自営業
4. 学生
5. 専業主婦
6. パート・アルバイト
7. 無職（退職も含む）
8. その他

お住まい

\_\_\_\_\_ 都道 \_\_\_\_\_ 市区  
\_\_\_\_\_ 府県 \_\_\_\_\_ 町村

差し支えなければ、およその年収額（年金・税金を含む）を教えてください。

1. 200万円未満
2. 200～500万円未満
3. 500～1,000万円未満
4. 1,000～1,500万円未満
5. 1,500万円以上

**アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。**

## 2.2 アンケート票（オフサイト）

### 石垣島の漂着ゴミに関するアンケート（オフサイト用）

環境省では、2007年度より日本国内の7県11海岸において海岸に漂着したゴミ（漂着ゴミ）を調査し、その管理や対策の方法を検討しています。このアンケートは、環境省による調査の一環として、日本エヌ・ユー・エス（株）が委託を受け実施しているものです。

**このアンケートでご回答いただいた内容は、この調査の目的以外には使用いたしません。**

設問番号が飛ぶことがあります。表示された質問に順番に答えてください。

**下記の当てはまる項目の横の にチェックを入れてください。**

Q1. 石垣島を観光目的で訪れたことはありますか？

1. ある Q2へ
2. ない Q9へ

Q2～Q8は、Q1で「ある」とお答えくださった方にお伺いします。

Q2. あなたは、観光目的としてどのくらいの頻度で石垣島に訪れていますか？（出張等は除いてください）

後で訪問頻度に関する質問が再度ありますので、ここでの回答を覚えておいてください。

1. 今までに一度だけ
2. 数年に1回の頻度（\_\_\_年に1回） 年数をご記入ください
3. 1年に数回の頻度（1年に\_\_\_回） 回数をご記入ください

Q3. これまでの来訪を含め、あなたが石垣島へ訪問する主な目的はなんですか？（いくつでも）

1. 海水浴
2. 海水浴以外のマリレジャー
3. 自然や景観を楽しむため
4. キャンプ
5. イベント参加
6. 保養・休養
7. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

Q4. 一度の訪問につき平均してどのくらいの期間滞在しますか？

- ・ 石垣島に( )日間  
(石垣島以外での滞在日数は除いてご回答ください)
  - ・ 沖縄旅行全体として( )日間  
(石垣島のみの訪問の場合は上記と同じ日数をご記入ください)
- 石垣島以外の滞在先： \_\_\_\_\_

Q5. 前回の沖縄旅行(石垣島訪問を含む)の際にご利用の交通についてお尋ねします。

詳細にお聞きしているのは、旅行にかかった費用を把握するためです。ご協力のほどよろしくお願いたします。

Q5-1 自宅からご出発空港(船をご利用の方は港)までの主な交通手段をひとつお答えください。

1. 公共交通機関(電車、バスなど)
2. 自家用車
3. タクシー
4. その他(具体的に： \_\_\_\_\_)

Q5-2 前回の沖縄旅行(石垣島を含む)の出発時にご利用の空港名をお答えください。

(乗り継ぎのある場合には、出発時に最初に利用された空港名をお答えください。)

船をご利用の方は、「8.その他」を選択の上、港名をご記入ください。

1. 羽田空港
2. 中部国際空港
3. 関西空港
4. 伊丹空港
5. 神戸空港
6. 福岡空港
7. 鹿児島空港
8. その他(具体的に： \_\_\_\_\_ 空港)

Q5-3 前回の沖縄旅行(石垣島を含む)全体の往復交通費をお答えください。

おおよその金額で結構ですので、下記のどちらかを選択してご回答ください。

1. 個人手配である 約 \_\_\_\_\_ 円 (宿泊費・食事代などを除く)
2. パックツアーを利用した 約 \_\_\_\_\_ 円 (宿泊費などを含むツアー総額をご記入ください)

Q6. 前回の石垣島への訪問時の同行者はあなたを含めて何人ですか。

(団体ツアーの場合、あなた又は同行者の方が申し込んだ

人数をご記入ください)

\_\_\_\_\_ 人

Q7. 石垣島を訪問した際、どの程度の量のゴミを海岸で見かけたことがありますか？

1. 不快に思うほど非常に多く見かけたことがある
2. 気になる程度に多く見かけたことがある
3. 見かけたことがあるが、少なかった、又は、あまり気にならなかった
4. 見かけたことがない/いつもきれいだった

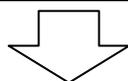
Q8. 以下の石垣島の地図および海岸の写真をご覧ください。

石垣島には、【地図】の赤で示すような箇所の海岸でゴミが漂着しやすいことが分かっています。そのような海岸では、適切に管理されないと【写真A】のような状態になってしまいますが、最低年一度のゴミの回収作業により、【写真B】のような状態に維持することができます。

【写真A】および【写真B】をご覧ください。以下の質問にご回答ください。



**【写真A】 石垣島の漂着ゴミが適切に管理されていない状態**



**【写真B】 石垣島の漂着ゴミを回収した状態**



Q8-1 石垣島の海岸が写真 A 又は写真 B の状態であった場合に、また訪れたいと思いますか？

1. 「写真 A」の状態でも「写真 B」の状態でも訪れたい/訪れてもよいと思う
2. 「写真 A」の状態であれば訪れたいと思う
3. 「写真 B」の状態であれば訪れたいと思う
4. 「写真 A」の状態でも「写真 B」の状態でも訪れたいとは思わない

Q8-2 もし、石垣島の漂着ゴミが管理され、「写真 B」の状態が維持されたら、石垣島を訪れる頻度や滞在日数を、Q2 および Q4 でご回答いただいた現状より増やしてもよいと思いますか？

1. 訪れる頻度も滞在日数も増やしてよい Q8-3 と Q8-4 にご回答後、Q12 へ
2. 訪れる頻度は増やしてもよい Q8-3 にご回答後、Q12 へ
3. 滞在日数は増やしてもよい Q8-4 にご回答後、Q12 へ
4. 訪れる頻度も滞在日数も増やそうとは思わない Q12 へお進みください

Q8-3 Q8-2 で石垣島の漂着ゴミが管理され、「写真 B」の状態が維持されたら、石垣島を訪れる頻度を現状よりも増やしてもよいとお答えくださった方にお尋ねします。

その場合、今後石垣島を訪れる頻度は現状と比べてどのくらいに増えると思いますか？

Q2 でご回答いただいた現状の訪問頻度と比較してお答えください。

1. 数年に 1 回の頻度（ \_\_\_年に 1 回） 年数をご記入ください
2. 1 年に数回の頻度（ 1 年に \_\_\_回） 回数をご記入ください

以下に前ページの写真 A・B を再度示しましたので、必要であればご参考ください。

（写真の上に注書き）

Q8-4 Q8-2 で石垣島の漂着ゴミが管理され、「写真 B」の状態が維持されたら、石垣島での滞在日数を現状よりも増やしてもよいとお答えくださった方にお尋ねします。

その場合、1 回の訪問につき石垣島での滞在日数はどの程度増えると思いますか？

Q4 でご回答いただいた現状の滞在日数に基づいて増える日数をお答えください。

1. 1 日増える
2. 2 日増える
3. 3 日増える
4. 4 日増える
5. 5 日増える
6. 6 日増える
7. 一週間以上増える（具体的に： \_\_\_日）

**Q12 へお進みください**

以下に前ページの写真 A・B を再度示しましたので、必要であればご参考ください。

（写真の上に注書き）

Q9～Q11 は、Q1 で「ない」とお答えくださった方にお伺いします。

Q9. 石垣島を観光で訪れてみたいと思いますか？

1. はい Q10へ
2. いいえ Q11へ

Q10. (Q9で「はい」とお答えくださった方)その場合の主な目的は何になると思われますか?  
(いくつでも)

1. 海水浴
2. 海水浴以外のマリレジャー
3. 自然の景観を楽しむため
4. キャンプ
5. イベント参加
6. 保養・休養
7. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

Q11へ

Q11. 以下の石垣島の地図および海岸の写真をご覧ください。

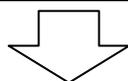
石垣島には、【地図】の赤で示すような箇所の海岸でゴミが漂着しやすいことが分かっています。そのような海岸では、適切に管理されないと【写真A】のような状態になってしまいますが、最低年一度のゴミの回収作業により、【写真B】のような状態に維持することができます。

【写真A】および【写真B】をご覧ください、以下の質問にご回答ください。

**[地図] 石垣島で海岸にゴミが見られる箇所**



**【写真A】 石垣島の漂着ゴミが適切に管理されていない状態**



**【写真B】 石垣島の漂着ゴミを回収した状態**



Q11-1. 石垣島の海岸が写真 A 又は写真 B の状態であった場合に、石垣島を訪問したいと思いませんか？

- |   |         |
|---|---------|
| 1. 「写真 A」の状態でも「写真 B」の状態でも訪れたい/訪れてもよいと思う | Q11-2 へ |
| 2. 「写真 A」の状態であれば訪れたいと思う                 | Q12 へ   |
| 3. 「写真 B」の状態であれば訪れたいと思う                 | Q11-2 へ |
| 4. 「写真 A」の状態でも「写真 B」の状態でも訪れたいとは思わない     | Q12 へ   |

Q11-2. (Q11-1 で 1.、2. 又は 3. にお答えくださった方)もし、石垣島の漂着ゴミが管理され、「写真 B」の状態が維持されたら、石垣島を訪れる頻度はどのくらいになると思いますか？

- |                              |                   |
|------------------------------|-------------------|
| 1. 数年に 1 回の頻度 ( ___ 年に 1 回 ) | <b>年数をご記入ください</b> |
| 2. 1 年に数回の頻度 ( 1 年に ___ 回 )  | <b>回数をご記入ください</b> |

以下に前ページの写真 A・B を再度示しましたので、必要であればご参考ください。  
(写真の上に注書き)

Q11-3. (Q11-1 で 1.、2. 又は 3. にお答えくださった方)もし、石垣島の漂着ゴミが管理され、「写真 B」の状態が維持されたら、石垣島での滞在日数はどのくらいになると思いますか？

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 日帰り                     |
| 2. 2 日間                    |
| 3. 3 日間                    |
| 4. 4 日間                    |
| 5. 5 日間                    |
| 6. 6 日間                    |
| 7. 一週間以上 ( 具体的に : ___ 日間 ) |

Q12 へ

以下に前ページの写真 A・B を再度示しましたので、必要であればご参考ください。  
(写真の上に注書き)

Q12～Q13は、ご回答者全員にお伺いします。

**Q12. 近年、石垣島だけでなく日本各地の海岸に多くのゴミが漂着しています。これに関する以下の質問について、当てはまるものを選択してください。**

Q12-1. あなたは日本各地の海岸に多くのゴミが漂着していることを知っていましたか？

- |   |   |                       |
|---|---|-----------------------|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. TV、雑誌、新聞等の報道から知っている</li><li>2. 学校の授業等で聞いて、知っている</li><li>3. 友人、知人から聞いて、知っている</li><li>4. 自分で実際に見た経験から知っている</li><li>5. その他（具体的に：_____）の理由で知っている</li><li>6. 知らない</li></ol> | } | <b>Q12-2 へお進みください</b> |
| <b>Q13 へお進みください</b>   |   |                       |

Q12-2. （Q12-1で「知っている」とお答えくださった方）漂着ゴミは問題だと思いますか？

- |  |   |                       |
|--|---|-----------------------|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 全く問題ではない</li><li>2. あまり問題ではない</li><li>3. 問題である</li><li>4. 非常に問題である</li><li>5. どちらでもない</li></ol> | } | <b>Q12-3 へお進みください</b> |
|  | } | <b>Q12-4 へお進みください</b> |
|  |   | <b>Q13 へお進みください</b>   |

Q12-3. Q12-2で漂着ゴミは「あまり問題ではない」又は「全く問題ではない」とお答えくださった方にお伺いします。そう思う理由は何ですか？（複数選択可）

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 見たことがないから</li><li>2. 生活に支障はないから</li><li>3. 放っておけばまた海に流れ出ていくから</li><li>4. 自分が捨てたものではないから</li><li>5. 誰かが拾うから</li><li>6. その他（具体的に：_____）</li></ol> |
|--|

**Q13 へお進みください**

Q12-4. Q12-2 で「非常に問題である」又は「問題である」とお答えくださった方にお伺いします。そう思う理由は何ですか？（複数選択可）

1. 海岸を訪問した際にケガをするおそれがあるのではないかと思うから
2. 実際に海岸のゴミでケガをしたことがあるから
3. 水質が悪化するおそれがあるのではないかと思うから
4. 景観が悪化するおそれがあるのではないかと思うから
5. 水辺の動植物に影響を与えるのではないかと思うから
6. ゴミの回収・処分に多くの手間と費用がかかるのではないかと思うから
7. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

Q12-5. 海岸の清掃活動に参加したいと思いませんか？

1. 是非参加したい
2. 機会があれば参加したい
3. あまり参加したくない
4. 参加したくない
5. わからない

**Q13 へお進みください**

**Q13 最後に、ご回答者ご自身のことについてお尋ねします。**

正確な調査のために必要なものですので、ご協力お願いいたします。

また、本アンケートでご回答いただいた内容は、この調査の目的以外には利用いたしません。

ご職業

1. 会社員    2. 公務員    3. 自営業    4. 学生    5. 主婦  
6. パート・アルバイト    7. 無職（退職も含む）    8. その他

現在のお住まい

都道	市
府県	町村
	区( )

( ) 住所に「区」がある場合には、区名までご記入ください。

差し支えなければ、およその年収額（年金・税金を含む）を教えてください。

1. 200万円未満                      2. 200～500万円未満                      3. 500～1,000万円未満  
4. 1,000～1,500万円未満                      5. 1,500万円以上

**アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。**

## 2.3 アンケート調査結果概要

### 【オンサイト】

調査実施日：2008年8月23日(土)～24日(日)

場所：石垣空港、出発搭乗待合室

調査対象者：石垣島訪問後の観光客

サンプル数：217 サンプル

### 【オフサイト】

調査実施日：2008年9月6日(土)～7日(日)

調査対象者：調査に当たり、事前に以下の手順で調査対象者の絞込みを実施している。

性・年齢・居住地域・石垣島の訪問の有無を確認(28,000人に確認)

訪問経験あり962人、全体の約3.4%

今回の対象都府県(関東、中部、近畿地方)<sup>1</sup>の回収目標数を人口比に応じて設定  
(性・年齢についてはトータルで均等になるように設定)

で設定した回収目標数を確保できるように配信(配信数はそれぞれ213件)

サンプル数：合計266サンプル(訪問経験あり：132人、訪問経験なし：134人)

---

<sup>1</sup> 8 地方区分に従い、各地方の以下の都府県を対象とした。

関東地方：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部地方：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県

近畿地方：三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

## I. 回答者の属性

### 性別

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
男	108(49.8%)	60(45.5%)	79(59.0%)
女	109(50.2%)	72(54.5%)	55(41.0%)

### 年齢

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
10代	3(1.4%)	2(1.5%)	3(2.2%)
20代	51(23.5%)	26(19.7%)	29(21.7%)
30代	60(27.7%)	30(22.7%)	41(30.6%)
40代	55(25.3%)	42(31.8%)	32(23.9%)
50代	32(14.8%)	18(13.6%)	20(14.9%)
60代	12(5.5%)	10(7.6%)	7(5.2%)
70代	4(1.8%)	4(3.0%)	2(1.5%)
80代以上	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)

### 職業

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
会社員	105(48.4%)	62(47.0%)	57(42.5%)
公務員	32(14.8%)	7(5.3%)	11(8.2%)
自営業	18(8.3%)	8(6.1%)	13(9.7%)
学生	9(4.1%)	3(2.3%)	9(6.7%)
専業主婦	25(11.5%)	25(18.9%)	22(16.4%)
パート・アルバイト	11(5.1%)	14(10.6%)	15(11.2%)
無職(退職も含む)	8(3.7%)	7(5.3%)	5(3.7%)
その他	9(4.1%)	6(4.5%)	2(1.5%)

住まい

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
北海道地方	1(0.5%)		
東北地方	8(3.7%)		
関東地方	104(47.9%)	60(45.5%)	55(41.0%)
中部地方	28(12.9%)	31(23.5%)	39(29.1%)
近畿地方	53(24.4%)	41(31.1%)	40(29.9%)
中国地方	6(2.8%)		
四国地方	5(2.3%)		
九州地方	10(4.6%)		
無回答	2(0.9%)		

年収額(年金・税金を含む)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
200万未満	11(5.1%)	15(11.4%)	28(20.9%)
200～500万未満	67(30.9%)	52(39.4%)	45(33.6%)
500～1000万未満	72(33.2%)	40(30.3%)	27(20.1%)
1000～1500万未満	6(2.7%)	9(6.8%)	11(8.2%)
1500万以上	11(5.1%)	4(3.0%)	4(3.0%)
無回答	50(23.0%)	12(9.1%)	19(14.2%)

11. 石垣島訪問に関する質問に対する回答

オフサイトは【経験あり】のみへの質問

あなたは、観光目的としてどのくらいの頻度で石垣島に訪れていますか？（出張等は除く）  
（オンサイト Q1、オフサイト Q2）

	オンサイト	オフサイト （経験あり）	オフサイト （経験なし）
N=	217	132	134
今までに一度だけ	132(60.8%)	92(69.7%)	
1年に0.5回未満	20(9.2%)	21(15.9%)	
1年に0.5回以上1回未満	13(6.0%)	8(6.1%)	
1年に1回以上3回未満	47(21.7%)	7(5.3%)	
1年に3回以上	5(2.3%)	4(3.0%)	

これまでの来訪を含め、あなたが石垣島へ訪問する主な目的は何ですか？（複数選択可）  
（オンサイト Q2、オフサイト Q3）

	オンサイト	オフサイト （経験あり）	オフサイト （経験なし）
N=	217	132	134
海水浴	125(57.6%)	41(31.1%)	
海水浴以外のマリレジャー	88(40.6%)	40(30.3%)	
自然や景観を楽しむため	144(66.4%)	108(81.8%)	
キャンプ	1(0.5%)	5(3.8%)	
イベント参加	1(0.5%)	5(3.8%)	
保養・休養	82(37.8%)	52(39.4%)	
その他	9(4.1%)	11(8.3%)	

（オンサイト）その他：ハネムーン、友人に会うため、周辺の島への拠点として、姪とその子供に会うため、避寒のため、両親の故郷であるため、プール、仕事

（オフサイト）その他：友人との会食、民俗調査、グルメを楽しむ、ツアーのコース、友人に会うため、結婚式、離島観光のため、買い物、祖母を訪問するため、登山

一度の訪問につき平均してどのくらいの期間滞在しますか？(オンサイト Q3、オフサイト Q4)

【石垣島】

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
日帰り	22(10.1%)	19(14.4%)	
2日間	23(10.6%)	32(24.3%)	
3日間	54(24.9%)	44(33.3%)	
4日間	70(32.3%)	16(12.1%)	
5日間	40(18.4%)	16(12.1%)	
6日間	3(1.4%)	1(0.8%)	
一週間以上	5(2.3%)	4(3.0%)	
【一週間以上の内訳】			
-オンサイト 7日間(4)、15日間(1)			
-オフサイト 7日間(2)、10日間(2)			

【沖縄】

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
日帰り	0(0.0%)	2(1.5%)	
2日間	7(3.2%)	6(4.5%)	
3日間	48(22.1%)	41(31.1%)	
4日間	81(37.3%)	37(28.0%)	
5日間	55(25.4%)	22(16.7%)	
6日間	8(3.7%)	4(3.0%)	
一週間以上	18(8.3%)	20(15.2%)	
【一週間以上の内訳】			
-オンサイト 7日間(12)、8日間(2)、10日間(1)、14日間(2)、30日間(1)			
-オフサイト 7日間(12)、8日間(3)、10日間(4)、11日間(1)			

【石垣島以外の訪問先】

-オンサイト

沖縄本島(那覇)、小浜島、与那国島、波照間島、西表島、竹富島、黒島、宮古島、鳩間島

-オフサイト

沖縄本島(那覇)、小浜島、与那国島、波照間島、西表島、竹富島、宮古島、鳩間島、バナリ島、  
座間味島、渡嘉敷島

沖縄旅行（石垣島訪問を含む）の際にご利用の交通についてお尋ねします。  
 （オンサイト Q4、オフサイト Q5）

a) 自宅からご出発空港までの主な交通手段をひとつお答えください。  
 （オンサイト Q4-1、オフサイト Q5-1）

	オンサイト	オフサイト （経験あり）	オフサイト （経験なし）
N=	217	132	134
公共交通機関（電車、バスなど）	120(55.3%)	98(74.2%)	
自家用車	83(38.2%)	25(18.9%)	
タクシー	13(6.0%)	6(4.5%)	
その他	1(0.5%)	3(2.3%)	

（オフサイト）その他：レンタカー、港、リムジン（バス）

b) 旅行の出発時にご利用の空港名をお答えください。  
 （乗り継ぎのある場合には、出発時に最初に利用された空港名をお答えください。）  
 （オンサイト Q4-2、オフサイト Q5-2）

	オンサイト	オフサイト （経験あり）	オフサイト （経験なし）
N=	217	132	134
羽田空港	112(51.6%)	71(53.8%)	
中部国際空港	16(7.4%)	15(11.4%)	
関西国際空港	22(10.1%)	27(20.5%)	
伊丹空港	10(4.6%)	7(5.3%)	
神戸空港	22(10.1%)	5(3.8%)	
福岡空港	4(1.9%)	1(0.8%)	
鹿児島空港	0(0.0%)	0(0%)	
その他	31(14.3%)	6(4.5%)	

【その他空港の内訳】

-オンサイト 高松空港(6)、小松空港(6)、仙台空港(4)、那覇空港(4)、岡山空港(4)、福島空港(3)、  
 新千歳空港(1)、新潟空港(1)、熊本空港(1)、長崎空港(1)  
 -オフサイト 小松空港(2)、新潟空港(1)、長崎空港(1)、富山空港(1)、名古屋空港(1)

c) 沖縄旅行（石垣島を含む）全体の**往復**交通費をお答えください。  
 おおよその金額で結構ですので、下記のどちらかを選択してご回答ください。  
 （オンサイト Q4-3、オフサイト Q5-3）

	オンサイト	オフサイト （経験あり）	オフサイト （経験なし）
N=	217	132	134
個人手配	57(26.3%)	61(46.2%)	
パッケージ利用	159(73.3%)	71(53.8%)	
無回答	1(0.4%)		
<b>【金額の内訳】</b> -オンサイト 個人手配の平均金額： 91,318 円(最小 30,000 円、最大 300,000 円) パッケージ利用の平均金額：127,109 円(最小 17,000 円、最大 500,000 円) -オフサイト 個人手配の平均金額： 65,322 円(最小 15,000 円、最大 300,000 円) パッケージ利用の平均金額：127,710 円(最小 30,000 円、最大 500,000 円)			

石垣島への訪問時の同行者は**あなたを含めて**何人ですか。  
 （オンサイト Q5、オフサイト Q6）

	オンサイト	オフサイト （経験あり）	オフサイト （経験なし）
N=	217	132	134
1人	22(10.1%)	22(16.7%)	
2人	81(37.3%)	55(41.7%)	
3人	36(16.6%)	17(12.9%)	
4人	43(19.8%)	16(12.1%)	
5人	23(10.6%)	4(3.0%)	
6人	4(1.9%)	3(2.3%)	
7人以上	8(3.7%)	15(11.3%)	
<b>【7人以上の内訳】</b> -オンサイト 7人(4)、8人(3)、9人(1) -オフサイト 7人(4)、8人(2)、10人(1)、11人(1)、12人(1)、15人(1)、16人(1)、20人(1)、 25人(1)、30人(1)、50人(1)			

石垣島を訪問した際、どの程度の量のゴミを海岸で見かけたことがありますか？  
 (オンサイト Q6、オフサイト Q7)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
不快に思うほど非常に多く見かけたことがある	3(1.4%)	6(4.5%)	
気になる程度に多く見かけたことがある	30(13.8%)	18(13.6%)	
見かけたことがあるが少なかった/あまり気にならなかった	141(65.0%)	81(61.4%)	
見かけたことがない/いつもきれいだっ	42(19.3%)	27(20.5%)	
無回答	1(0.5%)		

III. 漂着ゴミの回収による行動様式の変化に関する質問に対する回答

～ (オフサイト) は、【経験あり】の方のみへの質問

石垣島の海岸が写真 A 又は写真 B の状態であった場合に、また訪れたいと思いますか？

(オンサイト Q7、オフサイト Q8-1)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
「写真 A」の状態でも「写真 B」の状態でも訪れたい/訪れてもよいと思う	32(14.7%)	30(22.7%)	
「写真 A」の状態であれば訪れたいと思う	2(0.9%)	2(1.5%)	
「写真 B」の状態であれば訪れたいと思う	180(83.0%)	94(71.2%)	
「写真 A」の状態でも「写真 B」の状態でも訪れたいとは思わない	3(1.4%)	6(4.5%)	

石垣島の漂着ゴミが管理され、「写真 B」の状態が維持されたら、石垣島を訪れる頻度や滞在日数を、現状より増やしてもよいと思いますか？

(オンサイト Q8、オフサイト Q8-2)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
訪れる頻度も滞在日数も増やしてよい	66(30.4%)	38(28.8%)	
訪れる頻度は増やしてもよい	56(25.8%)	34(25.8%)	
滞在日数は増やしてもよい	42(19.4%)	31(23.5%)	
訪れる頻度も滞在日数も増やそうとは思わない	53(24.4%)	29(21.9%)	

オフサイト：実際に入力した頻度の値が現状と比較して増加していなかった回答者については、「頻度を増やしてもよい」とは考えていないとみなし、それぞれ該当する回答に振り替えた。

の場合、今後石垣島を訪れる頻度は現状と比べてどのくらいに増えると思いますか？  
 (オンサイト Q9-1、オフサイト Q8-3)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	122/217	72/132	134
1年に0.5回未満	28(23.0%)	28(38.9%)	
1年に0.5回以上1回未満	23(18.8%)	18(25.0%)	
1年に1回以上3回未満	63(51.6%)	21(29.2%)	
1年に3回以上	8(6.6%)	5(6.9%)	

の場合、1回の訪問につき石垣島での滞在日数はどの程度増えると思いますか？  
 (オンサイト Q9-2、オフサイト Q8-4)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	108/217	69/132	134
1日増える	41(38.0%)	40(58.0%)	
2日増える	53(49.1%)	20(29.0%)	
3日増える	9(8.3%)	9(13.0%)	
4日増える	2(1.8%)	0(0%)	
5日増える	0(0%)	0(0%)	
6日増える	0(0%)	0(0%)	
一週間以上増える	3(2.8%)	0(0%)	
【一週間以上の内訳】 オンサイト：10日(1)、不明(2)			

石垣島を観光で訪れてみたいと思いますか？

(オフサイト Q9)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
はい			123(91.8%)
いいえ			11(8.2%)

( で「はい」と答えた方のみへの質問) その場合の主な目的は何になると思われますか？

(複数回答可)(オフサイト Q10)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	123/134
海水浴			50(40.7%)
海水浴以外のマリレジャー			36(29.3%)
自然や景観を楽しむため			99(80.5%)
キャンプ			7(5.7%)
イベント参加			2(1.6%)
保養・休養			64(52.0%)
その他			3(2.4%)

その他：写真撮影、長期滞在(1ヶ月以上)、歴史的建築物を見たり地元の食べ物を食べたり

石垣島の海岸が写真A又は写真Bの状態であった場合に、石垣島を訪問したいと思いますか？  
 (オフサイト Q11-1)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
「写真A」の状態でも「写真B」の状態でも訪れたい/訪れてもよいと思う			27(20.1%)
「写真A」の状態であれば訪れたいと思う			1(0.7%)
「写真B」の状態であれば訪れたいと思う			96(71.6%)
「写真A」の状態でも「写真B」の状態でも訪れたいとは思わない			10(7.5%)

( で「写真A」でも「写真B」でも訪れたい又は「写真B」でも訪れたい、と回答した方のみへの質問)もし、石垣島の漂着ゴミが管理され、「写真B」の状態が維持されたら、石垣島を訪れる頻度はどのくらいになると思いますか？

(オフサイト Q11-2)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	123/134
1年に0.5回未満			87(70.7%)
1年に0.5回以上1回未満			13(10.6%)
1年に1回以上3回未満			20(16.3%)
1年に3回以上			3(2.4%)

( で「写真 A」でも「写真 B」でも訪れたい又は「写真 B」でも訪れたい、と回答した方のみへの質問)もし、石垣島の漂着ゴミが管理され、「写真 B」の状態が維持されたら、石垣島での滞在日数はどのくらいになると思いますか？

(オフサイト Q11-3)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	123/134
日帰り			1(0.8%)
2日間			21(17.1%)
3日間			59(48.0%)
4日間			19(15.5%)
5日間			17(13.8%)
6日間			3(2.4%)
一週間以上			3(2.4%)
【一週間以上の内訳】 10日間(1)、30日間(2)			

#### IV. 漂着ゴミに関する意識に関する質問に対する回答

あなたは日本各地の海岸に多くのゴミが漂着していることを知っていましたか？

(オンサイト Q10、オフサイト Q12-1)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
TV、雑誌、新聞等の報道から知っている	140(64.5%)	86(65.2%)	89(66.4%)
学校の授業等で聞いて知っている	2(0.9%)	2(1.5%)	4(3.0%)
友人、知人から聞いて知っている	3(1.4%)	2(1.5%)	1(0.7%)
自分で実際に見た経験から知っている	53(24.4%)	28(21.2%)	12(9.0%)
その他の理由で知っている	1(0.5%)	1(0.8%)	1(0.7%)
知らなかった	18(8.3%)	13(9.8%)	27(20.1%)
<b>【その他の理由の内訳】</b> -オンサイト 地元の海も汚い -オフサイト(経験あり) なんとなく -オフサイト(経験なし) インターネットの情報			

( で「知っている」と回答した方のみへの質問) 漂着ゴミは問題だとおもいますか？

(オンサイト Q11、オフサイト Q12-2)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	199/217	119/132	107/134
全く問題ではない	0(0%)	1(0.8%)	0(0%)
あまり問題ではない	1(0.5%)	0(0%)	3(2.8%)
問題である	91(45.7%)	42(35.3%)	49(45.8%)
非常に問題である	106(53.3%)	76(63.9%)	55(51.4%)
どちらでもない	1(0.5%)	0(0%)	0(0%)

( で海岸の漂着ゴミは「あまり問題ではない」又は「全く問題ではない」と回答した方  
 への質問) そう思う理由は何ですか? (複数回答可)

(オンサイト Q12、オフサイト Q12-3)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	1/217	1/132	3/134
見たことがないから	0(0%)	1(100%)	1(33.3%)
生活に支障はないから	1(100%)	0(0%)	1(33.3%)
放っておけばまた海に流れ出て行くから	0(0%)	0(0%)	0(0%)
自分が捨てたものではないから	1(100%)	0(0%)	0(0%)
誰かが拾うから	0(0%)	0(0%)	0(0%)
その他	0(0%)	0(0%)	3(100%)

(オフサイト) その他: 砂に埋もれることもあるから、まとめて拾うことができるから、自分  
 行ってみたいということに直接影響しないから

で海岸の漂着ゴミは「非常に問題である」又は「問題である」と回答した方のみへの質問)

a) そう思う理由は何ですか？（複数回答可）

（オンサイト Q13-1、オフサイト Q12-4）

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	197/217	118/132	104/134
海岸を訪問した際にケガをするおそれがあるのではないかと思うから	100(50.8%)	76(64.4%)	56(53.8%)
実際に海岸のゴミでケガをしたことがあるから	9(4.6%)	13(11.0%)	8(7.7%)
水質が悪化するおそれがあるのではないかと思うから	141(71.6%)	85(72.0%)	69(66.3%)
景観が悪化するおそれがあるのではないかと思うから	158(80.2%)	95(80.5%)	91(87.5%)
水辺の動植物に影響を与えるのではないかと思うから	148(75.1%)	93(78.8%)	74(71.2%)
ゴミの回収・処分に手間と費用がかかるのではないかと思うから	92(46.7%)	71(60.2%)	66(63.5%)
その他	5(2.5%)	8(6.8%)	1(1.0%)
<p>【その他の内訳】</p> <p>-オンサイト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>魚や生き物が死んでしまう。</li> <li>海岸マナーが悪いと思ってしまう。</li> <li>外交問題、近隣諸国の不法投棄取締り。</li> <li>汚染物質、化学物質。</li> <li>単純に悲しいことだと思う。</li> </ul> <p>-オフサイト（経験あり）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>以前訪れたときは、とてもきれいな海岸だった。そのイメージのままできて欲しい。</li> <li>見て不快感を催すから。</li> <li>世界の国々の力関係が顕著。</li> <li>マナーの問題。</li> <li>注射器などの廃棄による感染症が怖いから。</li> <li>既にゴミがあると、観光客が自分たちの出したゴミも置いて行くから。</li> <li>ゴミを出す国への怒り。</li> <li>観光で訪れる人が減少。</li> </ul> <p>-オフサイト（経験なし）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モラルの低下</li> </ul>			

b) 海岸の清掃活動に参加したいと思えますか？

(オンサイト Q13-2、オフサイト Q12-5)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	197/217	118/132	104/134
是非参加したい	9(4.6%)	7(5.9%)	9(8.7%)
機会があれば参加したい	143(72.6%)	84(71.2%)	61(58.7%)
あまり参加したくない	22(11.2%)	15(12.7%)	20(19.2%)
参加したくない	2(1.0%)	5(4.2%)	6(5.8%)
わからない	21(10.6%)	7(5.9%)	8(7.7%)

### 3. 九頭竜川流域ごみ問題ワークショップ開催

#### 3.1 議事概要

福井市で開催された九頭竜川流域ごみ問題ワークショップの開催内容として、議事概要を以下に示す。

#### 議 事

開会 (14:00)

##### 1. 開会

##### 2. 冒頭挨拶・趣旨説明

田中 聡志 (環境省地球環境局環境保全対策課長)

##### 3. 海洋ゴミの問題点：資料1

小島 あずさ (JEAN/クリーンアップ全国事務局代表)

【質疑】(特になし)

##### 4. 漂着ゴミの削減・発生抑制に向けて～福井県坂井市三国町における漂着ゴミの調査結果から～：資料2

小沼 信之 (環境省地球環境局環境保全対策課係長)

【質疑】

- 1) 漂着ゴミ問題だけでなく、様々な環境問題がクローズアップされているが、子供たちに対してどのような教育をしていくべきか、国や県の取組みが市議会レベルまで伝わらないので、情報がほしい。

環境教育については、ゴミ問題に限らず、温暖化問題や省エネ問題も含め、文科省と連携し取組みを進めている。本モデル調査では、一部の地域において中学生に海岸清掃を通じた環境教育に参加してもらうなど、普及啓発も行っている。今後も活動を広げていく。

##### 5. みくにの海から SOS：資料-3

阪本 周一 (エコネイチャー・彩みくに会長)

【質疑】(特になし)

##### 6. ドラゴンリバー交流会の活動：資料-4

有塚 達郎 (NPO 法人ドラゴンリバー交流会理事長)

【質疑】(特になし)

##### 7. 九頭竜川への取り組み：資料-5

多田 輝雄 ((社)勝山青年会議所理事長)

【質疑】

- 1) 自分のところだけのゴミを始末するだけでなく、上・中流から下流まで連携して活動するというのが望ましいのではないか。

青年会議所は県内に10ヶ所の団体がある。シニアのクラブも含め連携できる機会をつくっていきたい。

8. 足羽川水源地に生きる民として：資料-6（エコポイントについて追加説明）  
堀口 岩男（まちおこし 21 前代表）

【質疑】（特になし）

9. 最上川流域におけるゴミ問題への取り組み：資料-7  
平野 沢果（美しい山形・最上川フォーラム事務局）

【質疑】

- 1) そもそもゴミが出なければこのような問題は起こらない。発生抑制についてはどのように考えているか。

発生抑制については今後の課題である。クリーンアップキャンペーンの広報や、研修会によりゴミの現状を認識させる、という活動をしている。

レジ袋が多いという調査結果を踏まえた活動により、山形県ではレジ袋の有料化とマイバッグ持参運動が普及してきたということである。

10. 九頭竜川における漂流・漂着ゴミ問題への取り組みについて：資料-8  
玉置 文志（近畿地方整備局福井河川国道事務所副所長）

【質疑】（特になし）

11. 福井県の漂着ゴミ対策：資料-9  
城越 芳博（福井県安全環境部企画幹）

【質疑】

- 1) 漂着物の支援事業は県内の海岸線に対して予算が不足していると思う。ボランティアによって回収されたゴミを処理するための費用についてどのように考えているか。

費用については、地域の方々と協力し意識啓発運動を兼ねて回収されたゴミの運搬費用として利用する。また、大きな木材などは新たな予算要求をする。さらに大規模な災害時には国の災害補助金で対応する、という3段階に分けた考え方をしている。

12. 全体討議・まとめ

・討議テーマの紹介：事務局よりテーマ紹介

1. 河川や海岸の各所で行われている清掃活動を、どのように流域全体に広げて／つなげていくのか
2. ゴミの発生を減らすための取り組み・啓発活動を効果的に進めていくには、どのようにすればよいか
3. 活動団体、住民、行政、企業、学校間の連携、また流域全体での連携を、どのように深めていけばよいか

・「海ゴミプラットフォーム」の紹介（JEAN / クリーンアップ全国事務局 小島あずさ）  
資料-11

・全体討議（進行：エコネイチャー・彩みくに 阪本）

- 1) 川の上流から海までのネットワークをつくり、発生抑制や情報交換などを行い、ゴミを減らすための活動に取り組む、という構想を考えている。自身は下流部を中心に活動しているが、堤外部の水田および畑には、すでに何十年とゴミが捨てられているような場所があ

- る。悪循環をとめなければならない。
- 2) 川守制度に興味を持った。川守として川を巡視する制度を設けたらどうか。たとえば駐車違反の取締り制度のように、制服や腕章などをつけ、ある程度の権限をもって巡視すればより効果的なのではないか。
  - 3) ゴミの処分には苦勞するので、期間を限定して回収者による現地焼却（野焼き）ができるような制度ができれば、それほど行政に頼らなくても処分できる。
  - 4) 各種団体、住民、行政、企業、学校等の連携がとれないか。当団体では現在、各企業から協賛を得てクリーンアップ事業を行っている。協賛企業にはクリーンアップに参加してもらおうか、協賛金という形で協力してもらっている。そして、行政には回収したゴミの処理と広報活動をしてもらう、という連携をとっている。このつながりを今後拓げるために、協力いただいた企業などに、行政から何か特典を付加するようにしたらどうか。
  - 5) 子供たちに対して学校を基盤とした環境教育も必要である。地域住民も一緒になってできるような活動を広められたら良い。
  - 6) 現代のような社会では、今まで役場が行っていたような公的サービスも自立して行えないので、地域で肩代わりしていくしかない。そのためにも地域のリーダーを育成し、彼らの活動を支援することが必要ではないか。
  - 7) 九頭竜川流域にはたくさんの市町があるので、関係団体の方々以外にも官公庁同士での連携が必要である。共通の認識を持ち、お互いに情報を提供して連携していくことが必要である。
  - 8) 本日の視察のように、環境教育の一環として実際に汚れているところを見せ、ゴミを捨てたらいけない、という意識を早い段階で（小さい年齢のうちに）持たせるべきである。
  - 9) 多くの農村部では、地元の堤防を、草が伸びてくると自分たちで刈り、田の肥料や牛馬の餌にして、守ってきている。一方で、草の生えている場所には不法投棄が絶えず、子供たちが近づかなくなり、ますます川への関心が薄れてしまう、ということがある。県では川守活動の他に、河川付近の企業へ活動に参加してもらえよう呼びかけをしている。今後もHPなどで紹介しながら活動の継続を図りたい。
  - 10) 現在 CO2 の排出抑制などで世界的に企業の責任が問われているが、例えばペットボトルに対しての企業責任が今後は求められるのではないか。電化製品のリサイクルに倣い、プラスチックの処分等について、生産者としてどうするのか、ということ进行を明らかにするべきではないか。
  - 11) 消費段階、すなわち分別処理においては、各団体、市町村、企業などで対応をとっているが、今後は上流から下流まで統一した考え方や方法で取り組むことが必要だと思う。
  - 12) 漂着ゴミは日本製品以外にも海外由来のものも多くある。それらのゴミ処理について管理責任が明確になっていないことも、処理方法などがうまく進まないことの原因になっているのではないか。管理責任の明確化、あるいはそれに対する補助制度の統一化をお願いしたい。
  - 13) 不法投棄については、河川管理としてなかなか得策がない。捨てられるものはタイヤなど、処分費用がかかるものが多い傾向にあるので、デポジット制度など、この場だけの話ではなく国策として動く必要があるのではないか。
  - 14) 河川国道事務所と県の河川課で協力して、九頭竜川文化交流という名称で活動する土台はできている。しかし、実際に活動をする段階になるとなかなか具体的には計画が進まない。連携という言葉はよく出るが、具体策がなく抽象的な言葉として終わっているのが実態である。

- 15) 発生抑制について、発生源をどのように押さえるかという点が重要である。不法投棄、管理不十分ということに加え、ゴミの種類も国内外のもの、生活系、産業系のものと様々であり、それぞれ対策が違ってくるので、地域ごとにどこに重点をおき、何をすべきかを考えなければならない。また、一方では流れてくるものをどう処理するかが大きな問題であるが、海岸により管理者も違えばしくみも違っていて、なかなか連携がとれない。中央レベル、地方レベルでさらに連携を深めていかなければならない。
- 16) 管理のあり方について、海岸管理者や市町村の役割、または企業の責任についても議論する必要があるが、やはり一番大事なのは捨てる人の責任、ということでないか。その対策は啓発だけではないので、今後詰めていかなければならない。
- 17) 関係各所の連携を図るということについては、広報活動というのが唯一確実な手段ではないか。本日の映像資料など、流域の方々がどれくらい苦労しているかということについて、具体的な情報を使って、理解を深めていく必要がある。
- 18) 午前中の視察で、河川敷の畑から野菜くずや肥料袋を捨てている現状を見て、最上川と同じような光景だと思った。ゴミ問題というのは、ゴミがあるマイナスの状態からスタートして、ゴミがないゼロの状態になったら終わりという意識があったが、このワークショップに参加して、人の交流が増えて、楽しく人がよりよく暮らしていく方向に、どこまでも進んでいける可能性があると感じた。
- 19) 連携という言葉は簡単だが、具体的にどうすればいいのか、というのが難しいので、すぐに行えるような提案をする。ひとつはネットワークというのは名簿を作れば終わり、というのではなく、手を入れて面倒をみることをメンバー全員で行う必要があるので、まずその点を相談することが大事である。もうひとつは、統一的な活動、というのは発想としてよくあるが、何かを一緒にしようすると、調整だけで計画倒れになってしまう。無理に統一することよりも、各団体がいつどこで何をしているか、というアクションカレンダーを作り、それを行政が共有情報として管理してはどうか。そうすれば他の団体の活動にも参加しやすくなり、結果、合同で活動したということにつながるのではないか。
- 20) 河口の農地から出るゴミについては、すぐ水に流され目の前から見えなくなるので、何となく知らないふりをしているのではないか。犯人探しではなく、自分たちの川の現状を関係者が一緒にまず見る、というところから始めたらどうか。

#### 【自由討論】

- 1) リーダーシップをとる立場にある人は率先垂範が大切である。トップ自らが現場に参加すると、その率先垂範の気持ちが広く伝わるのではないか。
- 2) 海岸や川はそれぞれ誰が管理し、責任を持つのか明確にしてほしい。  
海岸のゴミを処理するのは、公物としての海岸維持管理の一環として海岸管理者が行うことになっており、法律上、清潔を維持する責務がある、となっている。しかし、漂流・漂着ゴミについては責任の所在を明確にした条文はなく、他の条文を援用して考えると、海岸管理者にはその責任がある、ということが関係省庁間で一致した認識である。問題は、海岸により管理者が異なっていたり、一部市町村に委任されていたり、などとても複雑なことになっていることである。財源の手当ても問題である。今後うまく機能するにはどうすればよいか引き続き議論の必要がある。
- 3) 1970年から国内清掃美化運動というのがあったが、それから40年近くたってもまだ責任者が決まっていない。いまだに体制が変わらないことに地域住民は怒りのほうが先にくるのではないか。連携を確実にするのはやはり国の仕事だと考える。

- 4) 本日の議論を踏まえると、一番大切なのは連携そのものではなく、連携して「活動していくこと」だと考える。そのためにも今回のワークショップをきっかけに今後定例会などを開き、具体的な議論ができることを希望する。

・宣言の採択

本ワークショップのまとめとして以下の宣言文が阪本会長から提案され、満場の拍手により全会一致で採択された。

九頭竜川流域ごみ問題ワークショップ宣言

私たちは、河川ごみ・海ごみを減らして、美しい九頭竜川水系および福井の海を未来に引き継ぐために、清掃活動や発生抑制に向けて、連携と協働して継続的な活動を進めていきます。

最後に、福井県安全環境部 城越氏よりご挨拶いただき、閉会とした。

以 上

### 3.2 最上川フォーラムヒアリング結果

ワークショップ開催に先立ち、最上川フォーラムへヒアリングを行った。その概要を以下に示す。

日時：2008年10月7日 16:30～19:00

相手：美しい山形・最上川フォーラム

事務局長 伊藤 憲昭 氏

事務局員 平野 沢果 氏

#### 設立の経緯

- 美しい山形を作ろう、そのための運動を最上川をKWとして活性化しようというのがフォーラムの目的である。
- 山形県民にとって、最上川は県民歌にとりあげられるような存在であり、県民や行政に最上川をきれいにしたいという共通認識がある。
- もともとは日本銀行山形支店に赴任してきた宮坂氏が発案者である。宮坂氏はその後東京に異動となり、最上川フォーラムと同じような組織である多摩川フォーラムの設立に関わっている。
- 県のプロジェクトとして指定され進められた経緯があり、どちらかという県主導で進められたと言える。
- 当初は県庁内に事務局を置き、専任3名、兼任2名のスタッフがいたが、知事が変わり自立化の方針のもと、2007年4月に山形大学内に移した。現在のスタッフは理事長（兼任）と事務局員（専任）1名。
- 同時に4つあった部会を2部会に統合し、地域部会を強化することとした（村山、最上、置賜、庄内の4地域部会）。

#### 協働・連携

- 会員は約5000人であり、個人会員は県職員や銀行の人が多い。

- 銀行OBの人が積極的に参加しており、リタイアされた方の自己実現の場にもなっている。
- 流域の関連団体は個人会員もしくは団体会員として参加しているが、軒並み加入しているわけではない。
- 学校の先生が会員になっており、生徒を連れて水質調査やクリーンアップ活動に参加している。総合学習の時間では小学4年生は自然を調べることになっている。
- 企業がCSRの一環として活動を実施している。
- ゆるやかな連携の形をとっており、会員から意見をいろいろと出してもらった上で、最終的に会長、部会長が決定している。最後はそうしないと話がまとまらない。
- 会合や活動の場に参加する会員だけでなく、会費を払ってくれる会員もあってこそ活動が成り立っている。

#### 行政の関与

- 県から補助金（345万円）と会費（40万円）を得ている。県がこのような事業を直接やるよりも低費用だと思う。
- 流域の3つの河川国道事務所が全面バックアップしてくれており、山形河川国道事務所がリーダーシップをとって熱心に活動している。
- 流域の35市町村のうち20が会員となっており、処理費用を負担してくれている。
- クリーンアップ活動では、県環境部の循環型社会推進課が、ゴミ処理の減免をまとめている。
- 土木部河川砂防課とは桜の植林で連携している。
- 水環境発表会の際には、河川砂防課、環境科学研究センター、総合支庁の環境課の参加もある。
- 国交省や県、市町村の協力がないとこのような活動はなかなか難しい。フォーラムの会長（山形大学副学長、専門は地域経済）が県の公共事業評価の委員長をやっていることもあり、行政には太いパイプがある。

#### 運営資金

- 県からの補助金がどんどん減らされてきている。現在の予算は県の補助金が全体の1/3~1/4、その他は会員からの会費収入と企業からの寄付（特定の活動を対象としたものが多い）からなる。
- 寄付先を選択できる県と市の制度ができた。税制上の優遇があり、個人でも寄付可能。
- 定期預金で一定の利息分を最上川フォーラムに寄付する商品がある。
- 銀行の協力により、手数料無料で会費の自動引き落としができる。
- 昨年度までは一人あたり100円の寄付を組み込んだJTBのツアー商品があり、200万円/年の収入があった。

#### 運営・活動上の課題

- 資金不足が最大の課題である。
- 部会長とは常時連絡をとっており、会合も頻繁に行っている。
- 全県レベルの会議では話がまとまりきらないことがある。海の人と川の人とで関心が異なるためである。このため、地域部会での会議にシフトさせている。

美しいやまがたの海プラットフォームとの関係は？

- 海のプラットフォームは、今年からプロジェクト事務局が発足し、パートナーシップオフィスと東北公益文化大学に置かれている。最上川フォーラムは実行委員会に入っており、上流域での広報を担当している。
- パートナーシップオフィス、最上川フォーラム、河川国道事務所で、川ゴミと海ゴミの話をつなげようと検討している。

クリーンアップキャンペーンについて

- クリーンアップキャンペーンの一番の目的は河川の美化である。参加グループごとに、実施場所の範囲を決めて、1～1.5時間程度の清掃活動を行う。これは同時に啓発活動の一環としても実施している。
- クリーンアップキャンペーンは、一定の期間（約3ヶ月）のなかで、グループ単位で都合のよい日時に実施するという方法をとっており、参加しやすい。約1000人の参加がある。
- 事前に実施日と場所を登録してもらう。事務局から実施マニュアルを送付し、クリーンアップの実施後、データとアンケート用紙を記入して送り返してもらう。その後、保険料の補助を支払う。
- 参加グループの中には、毎月河川の清掃活動をしており、活動期間の月だけはそれに参加というところもある。
- 山形では秋になると芋煮会を河原で実施することが恒例行事となっており、クリーンアップの後に芋煮会を行って実施したりしている。
- データはJEAN/クリーンアップ全国事務局にまとめて報告している。
- 厳密なデータ解析はフォーラムでは行っていない。同一の日にとられたデータでないので厳密なデータ解析はできないが。
- 今年はキャプテン講習の前段として、庄内海岸クリーンアップに参加した。
- ダイオキシン特措法の施行に伴い野焼きができなくなったことを受け、農業の肥料袋やビニールハウスのゴミが増えた。
- 舟下り観光業者が関心を高めている。
- クリーンアップ活動にあわせて河川にゴミを捨てる人はいない。

ゴミ発生抑制に関する取り組み

- 調査の結果、コンビニ袋が多いことが明らかとなった。文化・地域交流部会に県内最大手スーパーが参加しており、県とフォーラムの後押しを受け、レジ袋の有料化が進んだ。
- 不法投棄については、国交省の連絡先を知らせて、直接に通報してもらっている。

その他

- 流域連携の事例として、京都でNPO法人プロジェクト保津川という団体が立ち上がり、船頭さん達がゴミを拾っていると聞いたことがある。
- ゴミ問題だけで流域の連携を進めるのは少し難しいかもしれない。

以上

#### 4. 地域検討会の実施

福井県で実施された地域検討会の議事内容として、第1～6回地域検討会の議事概要を次頁以降に示す。

平成19年度漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査  
第1回地域検討会（福井県） 議事概要(案)

日時：平成19年8月30日（木）

19:00～21:00

場所：坂井市三国総合支所 4階会議室

議 事

開会（19:00）

- 1．環境省あいさつ
- 2．資料の確認
- 3．検討員の紹介〔資料1〕
- 4．座長選任
- 5．議事

平成19年度調査の全体計画(案)に関する説明〔資料2〕

概況調査計画(案)に関する説明〔資料3〕

クリーンアップ調査およびフォローアップ調査計画(案)に関する説明〔資料4〕

その他の調査計画(案)に関する説明〔資料5〕

全体を通じての質疑応答

- 6．その他連絡事項

閉会（21:00）

配布資料

- 資料1 平成19年度漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査地域検討会（福井県）  
検討員名簿
- 資料2 平成19年度調査の全体計画（案）
- 資料3 概況調査計画（案）
- 資料4 クリーンアップ調査およびフォローアップ調査計画（案）
- 資料5 その他の調査計画（案）

参考資料1 対策の方向性（目標設定）の検討

参考資料2 クリーンアップ調査 共通調査作業手順書

平成 19 年度漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査地域検討会（福井県）

第 1 回地域検討会 出席者名簿

（敬称略）

検討員（五十音順、敬称略）	
井 黒 虎子男	米ヶ脇自治会 会長
（代理：波多野 勲 米ヶ脇自治会 副会長）	
大 竹 臣 哉	福井県立大学生物資源学部 教授
勝 又 久 雄	海上保安庁第八管区海上保安本部 福井海上保安署 署長
坂野上 芳 行	東尋坊観光協会 会長
阪 本 周 一	エコネイチャー 彩 みくに 会長
下 影 務	安島自治会 会長
新 宅 隆	梶自治会 会長
鈴 木 隆 史	越前松島水族館 館長
玉 置 文 志	国土交通省近畿地方整備局 福井河川国道事務所 副所長
難 波 英 夫	崎自治会 会長
前 田 孝 夫	坂井市生活環境部環境衛生課 課長
増 永 裕	福井県安全環境部廃棄物対策課 課長
松 井 康 彦	国土交通省北陸地方整備局 敦賀港湾事務所 工務課長
矢 尾 良 雄	福井県土木部砂防海岸課 課長
矢 口 眞 治	雄島漁業協同組合 組合長
オブザーバー（所属機関名）	
福井県安全環境部廃棄物対策課リサイクル推進室	
福井県土木部砂防海岸課	
坂井市生活環境部環境衛生課	
坂井市三国総合支所産業課	
環境省 地球環境局	
小 沼 信 之	環境保全対策課 係長
草 刈 耕 一	環境省中部地方環境事務所廃棄物・リサイクル対策課 廃棄物対策等調査官
事務局：日本エヌ・ユー・エス(株)	
井 川 周 三	地球環境ユニット
松 土 康 雄	生物科学ユニット
高 橋 理	地球環境ユニット
中 澤 和 子	地球環境ユニット

### 議題1 平成19年度調査の全体計画について(資料-2)

質問・コメント等はなし。

### 議題2 概況調査計画について(資料-3)

- 1) 航空機の調査は11月までやるのか。また、福井県全域を対象とするのか。  
福井県全域を対象として、8月25日に撮影済みである。
- 2) 河川が発生源となるゴミについて、どのように調査されるのか。  
河川に関する情報として、流域面積などを調べる予定だが、流下するゴミの量などは難しいと考えている。
- 3) 河川管理の関係で、ゴミの処分費などわかるものがある。  
活用させていただく。

### 議題3 クリーンアップ調査およびフォローアップ調査計画について(資料-4)

- 1) 10m×10mの調査枠内を2m×2mに全部区分けして分類するのか。  
2m×2mの枠は汀線から陸に向けて1列だけ設定する。残りの2m枠を置かない部分も調査は行うので、全体の汀線方向の幅としては10mの幅を調査するということになる。
- 2) 冬季には、ゴミ運搬のための船も岸に近づけないなど、調査が実施できないことがあるのではないかと。  
冬季、特に2月の3回目の調査が海況上は一番厳しいため、好天を待って3月にずれ込む可能性がある。作業員の安全を第一に考え、調査の実施が可能かどうか判断したい。
- 3) 各自治会では独自に浜の清掃活動を行っている。これから調査が実施されることを考えると、今後はどのようなタイミングで清掃活動を行えばいいか。  
各自治会の清掃活動の情報をいただきながら、こちらでも調査の日程を組んでいきたい。特に独自調査は清掃活動と同時に実施できるように調整したい。また、人員の募集についても是非、御協力いただきたい。
- 4) 海岸に打ち上げられた海藻にはプラスチックまたは発泡スチロールが含まれている。それらをすべて回収するのか。  
今回の調査では、すべて回収することを考えている。ただし、あまりにも量が多い場合には浜から搬出できない場合もあるので、実際に全て回収できるかどうか、浜の状況をみて検討したい。
- 5) 自治会の年間事業の中に、海岸清掃が年2回ある。安島地区では9月22日に実施する。その時に同時にやるのであればそれでもいいが。  
既にある地元の活動とうまく連動しながら調査を進めていきたい。
- 6) 枠の設定位置は、2年間の調査で同じということか。その場合、何かしらの表示をしておくということか。  
2年間で6回すべて同じ場所で行うが、位置はGPS等を用いて把握し、浜にマークをつけることはしない。
- 7) 解析方法として、ゴミの漂着状況を平均波高とか平均風速のデータと比較するという図があるが、ゴミが打ち上げられるという現象は平均的な値よりも、最大波高や最大風力が関係していると考えられるので、そのような観点で解析を進めてはどうか。  
解析の参考にしたい。
- 8) 海浜の清掃ボランティアであるが、窓口が全く把握できず、ある日突然クリーンアップす

ることが往々にしてある。そのような情報があれば事前に連絡するようにしたい。  
是非お願いしたい。

9) 基本的には海底ゴミは対象外か。

海底ゴミは対象としていない。

10) 海域の(漂流している)ゴミは対象にしないのか。

漂流しているゴミは対象としていない。浜に漂着したゴミだけを対象とする。

#### 議題4 その他の調査計画について(資料-5)

1) 本地域検討会での検討事項として、「その他の調査」の調査結果も含まれるのか。

このような補足的な調査も並行して進めることをご紹介させていただいた。基本的には、「その他の調査」の結果は、該当するモデル地域の地域検討会でご報告し、ご意見をいただくことを考えている。

2) 「微細なプラスチック破片による生態系への影響調査」にはどのように取り組むのか。

文献調査と専門家への聞き取り調査により実施する予定である。

3) 「定点観測」の写真撮影を、水族館の前でもやっても良い。

定点観測については、阪本検討員、鈴木検討員にお願いすることにする。

4) 「その他の調査」で、「国内向けおよび海外向け広報活動の検討」となっているが、特に今回の調査をやっているということを海外に広く広報すべきだと思う。そうすれば、ある程度、海外におけるゴミの削減に繋がるのではという気はする。

日本・中国・韓国・ロシアを中心とした北西太平洋地域海行動計画(NOWPAP)において、漂流・漂着ゴミに関するプロジェクトが昨年からはスタートしている。それに関連するワークショップ等で、今回の調査の成果を公表していきたい。

5) プラスチック容器の中に入っている液体の分析も行う予定か。

ペットボトルの内容物の調査については、今のところは考えてはいない。

#### 議題5 全体を通じての質疑応答

1) 今回の調査では、回収方法を検討するだけであって、回収自体は行わないのか。

回収方法を検討し、実際に2ヶ月に一度、回収も実施して、その後にどれだけゴミが漂着するかをモニタリングしていく。

2) この検討会は公開、あるいはプレス発表をするのか。また、このような調査をゴミ減量に向けての啓発として使っていくべきであろう。

検討会自体は非公開で行うが、資料と議事の概要については公開する予定である。

3) 地域検討会を公開にすることによって、結果として意見が出なくなってしまうということもある。次回以降どうするかについて、事務局で検討してほしい。

検討する。

4) 福井県の立場からも、やはり非常にいい調査と思うので、できるだけ積極的にPRしてほしい。

検討する。

5) 注射針など医療系の漂着ゴミに対する安全対策がどのようになっているのか。

医療系廃棄物に対しては、医療系廃棄物の取扱いマニュアルを整備して作業員に周知する。危険物についても取扱いマニュアルを作成する。

6) 調査では、どのような大きさのゴミまで回収するのか。発泡スチロールの小さい粒1つたりとも全部回収するのか。

調査枠中のゴミについては、1cm 以上を目安としてゴミを回収・分別する。独自調査の際にも、基本的には 1cm 以上を目安としている。

- 7) 東尋坊では、30m の断崖の上にゴミがあり、今のところ回収はできていない。東尋坊は特に観光資源として大きいので、なるべく早く回収方法を示してほしい。

本調査の中で検討していきたい。ただし、作業員の安全を第一に考え調査を進める。

- 8) 第 1 回目の調査ではどこの浜を対象として行うのか。

陸側から入りやすい浜を優先的に対象とする予定である。

平成 19 年度漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査地域検討会（福井県）  
第 2 回地域検討会 議事概要（案）

日時：平成 19 年 11 月 19 日(月)  
19:00～21:00

場所：坂井市三国総合支所 4 階会議室

議 事

開会（19:00）

1．資料の確認

2．議事

第 1 回地域検討会議事概要および指摘事項について〔資料 1、資料 2〕

概況調査結果概要について〔資料 3〕

クリーンアップ調査およびフォローアップ調査結果概要について〔資料 4〕

その他調査の進捗状況について〔資料 5〕

質疑・意見交換

3．その他連絡事項

閉会（21:00）

配布資料

資料 1 第 1 回地域検討会（福井県） 議事概要(案)

資料 2 第 1 回地域検討会での指摘事項に対する対応(案)

資料 3 概況調査結果概要

資料 4 クリーンアップ調査およびフォローアップ調査結果概要

資料 5 その他の調査の進捗状況

参考資料 1 今後の調査スケジュール(案)

平成 19 年度漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査地域検討会（福井県）

第 2 回地域検討会 出席者名簿

（敬称略）

検討員（五十音順、敬称略）	
井 黒 虎子男	米ヶ脇自治会 会長
(代理：波多野 勲)	( 同上 副会長)
大 竹 臣 哉	福井県立大学生物資源学部 教授
勝 又 久 雄	海上保安庁第八管区海上保安本部 福井海上保安署 署長
(代理：田中 滋)	( 同上 次長)
坂野上 芳 行	東尋坊観光協会 会長
阪 本 周 一	エコネイチャー 彩 みくに 会長
下 影 務	安島自治会 会長
新 宅 隆	梶自治会 会長
鈴 木 隆 史	越前松島水族館 館長
玉 置 文 志	国土交通省近畿地方整備局 福井河川国道事務所 副所長
難 波 英 夫	崎自治会 会長
前 田 孝 夫	坂井市生活環境部環境衛生課 課長
増 永 裕	福井県安全環境部廃棄物対策課 課長
松 井 康 彦	国土交通省北陸地方整備局 敦賀港湾事務所 工務課長
矢 尾 良 雄	福井県土木部砂防海岸課 課長
(代理：中村 勉)	( 同上 主任)
矢 口 眞 治	雄島漁業協同組合 組合長
オブザーバー（所属機関名）	
福井県安全環境部廃棄物対策課リサイクル推進室	
福井県土木部砂防海岸課	
坂井市生活環境部環境衛生課	
坂井市三国総合支所産業課	
環境省 地球環境局	
草 刈 耕 一	環境省中部地方環境事務所廃棄物・リサイクル対策課 廃棄物対策等調査官
事務局：日本エヌ・ユー・エス(株)	
井 川 周 三	地球環境ユニット
松 土 康 雄	生物科学ユニット
高 橋 理	地球環境ユニット

議題1 第1回地域検討会議事概要および指摘事項について(資料-1、2)

質問・コメント等は特になし

議題2 概況調査結果概要について(資料-3)

- 1) 航空機調査が8月に実施されているが、季節的な位置づけは特に問題はないのか。  
ゴミの量は撮影した時期に大きく左右される。特に福井県の場合、季節風が吹き止んだ春先に一番漂着ゴミが多いと言われているので、その時期に撮影するのが一番ベストと考えている。春先は天気、気流の状況があまり撮影に適さないので、県下全域をくまなく撮影するのは難しい。今回はクリーンアップ調査の前に現況を把握するために、8月に撮影を行っている。
- 2) 何か指標を持って補正することは考えないのか。そうしないと、この時期のゴミの量が福井県のベースとなるような気がする。  
最終的な結果については、注釈として撮影日と夏の状況であることは加えるべきと考えている。
- 3) 1回だけのデータをどういうふうに解釈するか。量を解釈するのか、出入りを解釈するのかで随分違ってくのではないのか。  
1時期だけの写真撮影なので、ゴミの出入りというフローについて把握することは難しいと思う。要望があれば、来年度も特に多い時期だけ、特定の海岸に限って撮影することも検討すべきと考えている。この航空機調査とあわせて、文献調査で、定期的な清掃活動の情報も整理する予定である。
- 4) どこの場所に多く集積するということは概況調査で大体わかる。現在行っている三国地区の現場調査で、最新の精密なデータが出てくると認識されるが、あくまでも、この三国地区は一代表点であるということで、県の立場とすれば、全域の今後の対策が必要になるかと思う。そういう意味で、概況調査の重要性というのを考えてほしい。

検討する

議題3 クリーンアップ調査およびフォローアップ調査結果概要について(資料-4)

- 1) 海藻の回収を今後どうするか、この検討会で決めていただきたい。
- 2) 害になるかわからないが、いずれにしても自然物で、微生物が分解していく。地球の歴史上、海藻が生え始めたころから海の自然の状態としてあったわけで、それが打ち上がったあるいは切れ端が流れ着いても、人間の手で処分しなくても、自然界でのサイクルの中で処分してくれるので、それはゴミというふうな考え方をしないほうがいいと思う。
- 3) 戻したほうがいいというのではないが、自然の力に任せとけばいいと思う。流れ藻という形で、稚魚などの生育の場にもなる。
- 4) 海岸線の昔から見る風物詩として見なれているので、違和感が全然ない。
- 5) 私も回収しない方がいいと思う。ただ、海水浴場や船着場ではたくさん堆積して腐って異臭がするので、必要にかられて部分的に回収するというような方法をとっている。ここに指定されている海岸では、ほとんど今まで海藻をゴミとして扱ったことはない。
- 6) 冬季の調査をどうするか。  
3回目の調査を2月に予定しているが、それについては海況を見ながら、安全に実施できる日を待って調査をしたいと考えている。その結果、2月から3月にずれ込むということも考えられる。
- 7) 作業限界みたいなものはあるのか。

やはり作業員の安全が第一で、安全に浜におりられないような状況では調査は延期したいと考えている。

8) 冬季、2月、3月の調査の可能性はどうか。

9) 1月、2月は危なくて絶対できない。早くても3月の末。

10) 天気には合わせられない。冬場は、地区住民を募集することはできるが、責任を持ってないので、動員することはできない。

それでは、3月末を中心に予定を組んでいきたいと思う。

#### 議題4 その他調査の進捗状況について(資料-5)

質問・コメント等は特になし

#### 議題5 質疑・意見交換

1) 外国製のゴミを種別しているが、他地域との比較ではどうか。それと、医療廃棄物も他地域と比較してどうだったのか。

他地域との比較は現在、調査、比較をしている段階で、まだデータがそろっていないが、地域によってばらつきが見られる。

2) 標識放流についてもう1回説明してほしい。

山形県と三重県の河川において、2種類の放流調査を実施する予定でいる。1つは生分解性のプラスチックボトル、放流して、1つの河川から出たものがどこにどれくらい割合として漂着するかという調査を山形と三重で実施する。また、ペットボトルの中に発信機を入れて、それを河口から放流して、その漂流経路を把握するという調査を三重県で行う。

3) 九頭竜川で実施する方向性はないのか。

今年度については山形と三重の2カ所、それ以外の地域では今のところ予定していない。

**平成 19 年度漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査  
第 3 回地域検討会（福井県） 議事概要（案）**

日時：平成 20 年 3 月 5 日（水）  
9:30～12:00  
場所：坂井市三国総合支所 4 階会議室

**議 事**

開会（9:30）

- 1．資料の確認
- 2．議事

第 2 回地域検討会議事概要および指摘事項について〔資料 1、資料 2〕  
概況調査結果概要について〔資料 3〕  
クリーンアップ調査およびフォローアップ調査結果概要について〔資料 4〕  
その他調査の進捗状況について〔資料 5〕  
今後の検討事項について〔資料 6〕  
次年度調査計画について〔資料 7〕  
質疑・意見交換

- 3．その他連絡事項

閉会（12:00）

**配布資料**

- 資料 1 第 2 回地域検討会（福井県）議事概要(案)
- 資料 2 第 2 回地域検討会（福井県）での指摘事項に対する対応(案)
- 資料 3 概況調査結果概要
- 資料 4 クリーンアップ調査およびフォローアップ調査結果概要
- 資料 5 その他の調査の進捗状況
- 資料 6 今後の検討事項
- 資料 7 次年度調査計画(案)

- 参考資料 1 観光資源としての価値の評価手法について
- 参考資料 2 経済効果推計手法および事例について
- 参考資料 3 アンケート票（案）

平成 19 年度漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査地域検討会（福井県）

第 3 回地域検討会 出席者名簿

（敬称略）

検討員（五十音順、敬称略）	
井 黒 虎子男	米ヶ脇自治会 会長
（代理：波多野 勲）（ 同上 副会長）	
大 竹 臣 哉	福井県立大学生物資源学部 教授
勝 又 久 雄	海上保安庁第八管区海上保安本部 福井海上保安署 署長
坂野上 芳 行	東尋坊観光協会 会長
阪 本 周 一	エコネイチャー 彩 みくに 会長
下 影 務	安島自治会 会長
舩 井 知 敏	梶自治会 会長
鈴 木 隆 史	越前松島水族館 館長
玉 置 文 志	国土交通省近畿地方整備局 福井河川国道事務所 副所長
難 波 英 夫	崎自治会 会長
前 田 孝 夫	坂井市生活環境部環境衛生課 課長
増 永 裕	福井県安全環境部廃棄物対策課 課長
（代理：小林 正能）（ 同上 リサイクル推進室室長）	
松 井 康 彦	国土交通省北陸地方整備局 敦賀港湾事務所 工務課長
矢 尾 良 雄	福井県土木部砂防海岸課 課長
矢 口 眞 治	雄島漁業協同組合 組合長
オブザーバー（所属機関名）	
福井県安全環境部廃棄物対策課リサイクル推進室	
福井県土木部砂防海岸課	
坂井市生活環境部環境衛生課	
坂井市三国総合支所産業課	
環境省 地球環境局	
石 橋 和 隆	地球環境局 環境保全対策課 環境専門員
草 刈 耕 一	中部地方環境事務所廃棄物・リサイクル対策課 廃棄物対策等調査官
事務局：日本エヌ・ユー・エス(株)	
松 土 康 雄	生物科学ユニット
高 橋 理	地球環境ユニット

## 議題1 前回議事概要および指摘事項について〔資料1、資料2〕

- 1) 「海藻の回収を今後どうするかということだが、自然の力に任せたほうがよい。今まで海藻をゴミとして扱ったことはない」ということで、今後は、海の自然のものだから、それは自然に返すことにするというを基本的なスタンスにすることを委員会で決めた。この対応としては「今後は回収しない方向としたい」ということである。ただ、日本海の1つの特徴として、海藻が環境へ与える影響を評価すべきものがあるので、ある程度量的な押さえはしておいたほうがいいのではと考えている。今回の調査ではある程度の量的なものは把握しておいたほうがいい。

## 議題2 概況調査結果概要について〔資料3〕

- 1) 地区でのクリーンアップについては、実態調査には載せないのか。  
今回集まっていた4つの自治会に関しては情報をいただいているが、県内全域に関して同じようなレベルで情報が得られているわけではないので、今のところは記載していない。福井県にも協力を依頼して情報収集に努めたが、自治会レベルの取り組みについては集約された情報は無いのでおおよその活動状況については追加していく。
- 2) 回収したゴミの量などを把握することまで各地区ができるのかなと疑問である。これまでは1カ所に集めて出してしまうので、数字を掴んでいないのが実情である。
- 3) 問題は今後とも誰がどういう形で回収して行くかである。調査したからといってゴミが止まるわけではない。
- 4) この資料に掲載されている分だけでは見えない、隠れた活動がたくさんあって海岸のゴミの清掃が行き届いているということ、理解していただくためにも詳細な結果は出すべきだと思う。
- 5) 航空機調査結果については、今回は海水浴シーズン前の回収が行われた後の撮影のため少しフィルターがかかっているということであるが、海水浴場は図中に含まれているか。また表記することは可能か。  
自然価値あるいは社会的な価値についてはデータ整理ができていますので、ゴミの状況と重ね合わせて比較検討することが可能である。
- 6) 各海水浴場にゴミがほとんど無いという結果を見ると、やはり海水浴場での清掃活動が結果に反映されていると言える。一方、若狭湾に対して北西側に赤マークが多いというのは、やはり冬場の季節風によって集められた状況が表れているのではないかと。  
本検討会は、この調査が終わった後のゴミ回収の枠組みづくり、ということが大きな目標である。今回示した調査も含めて、調査結果を踏まえながらそこに収斂させていきたいと思っている。次回の第4回検討会ではその枠組みづくりについて、もう少し踏み込んだ内容を検討できるようにしたい。
- 7) 集計結果として、例えば1平方キロメートルにどのくらいのゴミがあったというような単純な数字は出ないか。  
単位面積当たりの量を示す場合と、今回のように海岸の奥行き方向は考えずに、海岸背方向10m当たりでその浜全体のゴミの量を示す場合と2通りの方法で示している。JEAN/全国クリーンアップ事務局などからは、その浜に行ってどのくらいのゴミがあるかをまず把握すべきとご指導いただいているが、面積当たりで示すのもひとつの検討材料になると考えている。関係省庁（農水省、水産庁、国交省）が行っている調査では細かなゴミも計量しているので、より実態に近い値が出ているかもしれない。
- 8) この航空機調査結果を今後どのように利用するか。

この調査は、人が入れないような場所も含め全ての海岸を線上で評価している。その他の調査は全て点の情報になるが、これは海岸線全体を通した調査なので、その点が一番特徴的である。今後は人が入りづらい場所のゴミ回収が必要になった場合の基礎的なデータになる。

- 9) 航空機写真はたまたまその時にあったゴミであり、先ほどのご指摘のとおり風や波で移動してしまうものである。従ってこれが福井のゴミの漂着状況だというのはおかしい。費用をかけた割にはサンプル以上のものではないということになってしまう。
- 10) この結果は新たに分かることもあるので必要であるが、会議資料の中に地域の人に参加できるような資料も添えてはどうか。福井県全体から見た三国地区の位置づけを明確にするための材料にする、などの努力が必要である。

### 議題3 クリーンアップ調査およびフォローアップ調査結果概要について〔資料4〕

- 1) 実際に掃除していると漁網がよく目立つ。漁業用ブイとは別のロープや網の発生源は中国や韓国なのか。ペットボトルやライターだけでなく、漁具についても発生源の割合を示してほしい。  
ロープや網はその一部だけという場合が多く、ラベルなどの手がかりもないので発生国の特定は難しい。プラスチックのブイやアナゴ筒などは比較的判明しやすいものが多い。今回は資料編に漁具類として集計している。割合については共通調査の中で出すことはできる。
- 2) 海岸方向での重量集計結果（P10、P11）は、さきほどの航空写真の結果と整合がとれているか。実際の現場での量とその分類と航空写真が定性的に合っているとと言えるかどうか、そのチェックはしているか。  
対象としているゴミの大きさが違うので、両者の調査の間では見えているものが根本的に違う。航空機調査は連続的に大きなゴミだけの分布状況を把握したもの、共通調査あるいは独自調査では飛行機では見えない小さなゴミを含めた集計結果である。県下全体の状況把握についてはこれまで行われていなかったため、航空機調査によって初めてベースになる資料が整った。
- 3) この結果表ではあくまでもキログラムの重さであるので、例えばかさばるもの、小さくても重いものがあればグラフの内容が変わってくる。ゴミの総量の比較ができない。  
三国町に関しては最終的な処分量が重さを単位として決まるので、今回は重量をベースにしている。地域によっては容量で処分量が決まってくるところもあるので、地域に合わせた集計をしている。
- 4) 「不明」がかなり多いが、たとえば鑑定士とまでは言わないが、専門の方に見せればもっと判明するというようなことは考えられるか。せっかく回収したのにもったいないような気がする。形状からも特定できないか。  
海ゴミの研究を専門としている防衛大学の山口先生によれば、形状である程度生産国が分けられるということであるが、我々がすぐ真似できるようなことではない。
- 5) 削られたケヤキの流木や、明らかに船から投げ捨てられたもの、と判別できるものもあるが、それらも分析できないか。  
根や枝がそのまま残っているものと、人の手が加わっているような建材とは区別してカウントしているので、ある程度データから把握は可能である。
- 6) 冬場には相当時化るので、海底に沈んでいるものもかなり巻き上がるのではないかと。12月に土砂崩れがあり、その際の土砂が次の時化の後には強い波の影響で全て無くなってしま

っていた。そのような気候の影響も考慮した分析ができると良いと思う。

#### 議題4 その他の調査の進捗状況について〔資料5〕

##### 観光資源価値向上の検討に係る調査について

- 1) 観光資源価値向上の検討に係る調査については、経済効果を判定する方法と位置付けているのか。また、経済効果というのは、要するにゴミ対策をする、そのゴミ対策費用というものをコストと考えて、それに対してどのぐらい利益が上がってくるのか、ということか。最終的にはそのような比較も可能になってくると思う。今回の調査でゴミの回収に係るコストも押さえており、今回の推計によって経済的な効果の値が出てくるので、そのコストベネフィットの関係がはっきり出るのではないかと思う。ただ、ゴミの回収だけでどれほど経済効果が上がるかということが、どの程度把握できるか、(研究例もなく)難しい課題である。
- 2) 東尋坊でもゴミ回収のできない場所が4カ所ぐらいある。何も対策していないのかと言われるが、実際に回収できないというのが実情である。市から清掃補助金(年間36万)が支給されており、加えて観光協会から約50万、全体で約100万の費用で清掃を行っているが、実際はとても足りない。普通の掃除や草刈りも含めての金額になるので、特殊なところは行政にも何か考えていただきたい。

##### 定点観測調査について

- 1) 最初に決めた場所で継続して撮影している。実際はもう少し奥まった場所でゴミは多いが、分析できるように何ヶ所か撮影しているので、活用していただけるのであれば、提供は可能である。
- 2) この調査結果は連続変化ということなので、データとしての利用価値は高いと思う。

##### 流域ゴミ問題ワークショップ(仮称)開催の検討について

- 1) ワークショップをやる、やらないに拘わらず、この「九頭竜川流域文化交流会(仮称)」である程度ゴミ対策を実施していくと考えてよいのか。  
昨年7月に「九頭竜川“水・交流サミット”」を実施した際に、勝山市長からは、「ゴミを一斉にみんなで掃除しましょう」、坂井市長からは、「思いやりと尊敬の念、上流と下流」と意見をいただいた。ゴミ対策だけではなく文化交流も含めて何らかの形の活動をしていってはどうかということで、現在国土交通省と福井県で、現在ある地域の活動をどのように統括していくのが一番いいのか、仮の名前をつけて考えていこうとテーブルをつくっているところである。まだ具体的なところまでは技術がたどり着かず、やっとテーブルができたところだが、できればサミットで提言いただいた何らかの具体的な活動はしていきたいと考えている。
- 2) 組織づくり、という点はどのように進めていけば良いか。  
過去九頭竜川で取り組んでから大分経つが、中流・上流の方の意識と、下流・河口・海岸を抱えたところの住民の意識の温度差が、話をしていくと確実にある。九頭竜川のゴミの量は相当な量で、過去の分析をしても、季節によって違うが、平均しても大体60%はまず海岸に打ち寄せている影響はあるだろうと見ている。その他40%ぐらいは、冬場は外国のものが多く、1年を通すとやはり九頭竜川流域が多いのではと考えられる。河川を軸にしている活動している団体があるが、現在非常に関心度は高まっている。国土交通省もいろいろシンポジウムの場を開いており、交流の中でぜひ組織づくりも反映させていた

- だければ、幅が広がってくるのではないか。上流の方の川に対する考え方とまた全く違うわけだが、ゴミ問題に関しては是非そのようなネットワークづくりをやっていただきたい。
- 3) 川がゴミをつくるのではなく、川にゴミ集まってきてしまうものである。結局は、一人一人が捨てなければ済む、ということではないか。しかし、モラルの問題、マナーの問題が一番のキーワードになるかと思う。モラルの問題なども含め自治体も含めて広げていきたい。
  - 4) 温度差があるという意味では、この検討員の方々がワークショップに参加すればそれだけでかなりの大きな声になるのではないか。各委員の方々のご意見やご提案があれば、取り組みやすいのではないか。
  - 5) 20年度に坂井市の環境基本計画を立案するために、毎日のように地区の懇話会、小学校単位で懇話会に出席し、その地区のゴミ問題を含めた環境問題について情報収集している。環境基本計画ができた後にはゴミ処理の基本計画など処理の問題の検討も進めていく。しかし、計画ができるまで何もしないわけではなく、すぐに着手できるところから始めていきたいのでご協力をお願いしたい。
  - 6) 坂井市全域 12カ所で懇談会を行い半分以上終わったが、その中で共通して出てくるのが不法投棄の悩みである。九頭竜川の水系に全域で不法投棄の問題が多く出ている。特に九頭竜川ではゴミがあることをわかっていても、上からは回収できない、だから仕方がない、という意見も出ていた。
  - 7) 以前、足羽川の柳の木にゴミが集まって景観が非常に悪いので柳の木を伐採してくれ、という要請が福井市の地域住民から出たときも、そこに引っかかるゴミは全て下流へ流してしまう、ということであった。ゴミは下流に流すものだという意識の表れである。ゴミを出さない方法を話し合いで決めることを考えていかなければならない。
  - 8) この地域のワークショップは、削減方策に重点をおくということを考えれば、この検討会もそのことについて勉強する良い場ではないかと思う。九頭竜川だけでなく、全国や海外（中国、韓国）にもこのような啓蒙活動をしていかなければならない。
  - 9) このワークショップをつくる場合に、この検討会では河口部分の実態調査ができていないことが問題である。
  - 10) この事業においてはまず国内からの排出量を特定し、河川に起因するかもしれないというところから、初めてワークショップが始まるのではないか。このモデル事業での結果を福井県全域の県民活動に生かしていかなければならないと考えている。三国で実施し、九頭竜川へ繋いでいくというのが理想であるので、我々は一緒に協力していくつもりである。今後の調査結果をもとに20年度にはぜひ立ち上げていきたい。九頭竜川もきれいにし、海岸もきれいにするという県民活動に結び付けていけたら良いと思う。
  - 11) 標識放流調査は九頭竜川では実施しないという方向性は出ているということだが、福井県独自としてその調査をこの機会に一緒にやってみてはどうか。
  - 12) 特に東尋坊の際辺りだとほとんど崖下で、人力による回収というのは不可能に近いところが多いので、標識調査というのは必要になってくるのかなと思う。
  - 13) ペットボトル、ウレタン、発泡スチロール、漁網、ブイ、のような化学製品のゴミについては、排煙脱硫の整ったところで燃やしているということだが、これらのガス化、液化などの再利用については検討していないか。物質が何でできているかというのがまずポイントだと思う。ペットボトル樹脂は比較的再利用ができるということである。

#### 議題5 今後の検討事項および次年度計画について〔資料6、資料7〕

- 1) 発泡スチロールの発生源を押さえる方法として、溶解して固形化できるような簡易型の機械があると聞いている。発泡スチロールの発生を押さえる方法と、散らばった発泡スチロールが植物などに対してどのような影響を与えるのか、ということも今後検討してほしい。発泡スチロール片も含めた微細なプラスチック片に関しては、その他の調査において「微細なプラスチックあるいは発泡スチロール片の生態系への影響」について今年度、文献調査を行っている。漁港などでの発泡スチロールの処理に関しては、瀬戸内海の調査も行われており、効率的な回収方法などを検討しているようである。

以 上

**平成 20 年度漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査  
第 4 回地域検討会（福井県） 議事概要（案）**

日時：平成 20 年 5 月 29 日(木)  
13:00～15:00

場所：坂井市三国総合支所 4 階会議室

**議 事**

開会（13:00）

- 1．開会の辞
- 2．資料の確認
- 3．検討員の紹介
- 4．議事

第 3 回地域検討会議事概要および指摘事項について〔資料 1、資料 2〕  
平成 20 年度実施計画(案)〔資料 3〕  
クリーンアップ調査およびフォローアップ調査結果概要について〔資料 4〕  
その他の調査の進捗状況について〔資料 5〕  
地域における今後の漂流・漂着ゴミ対策のあり方について〔資料 6〕  
質疑・意見交換

- 5．その他連絡事項

閉会（15:00）

**配布資料**

- 資料 1 第 3 回地域検討会（福井県）議事概要(案)
- 資料 2 第 3 回地域検討会（福井県）での指摘事項に対する対応(案)
- 資料 3 平成 20 年度実施計画(案)
- 資料 4 クリーンアップ調査およびフォローアップ調査結果概要
- 資料 5 その他の調査の進捗状況
- 資料 6 地域における今後の漂流・漂着ゴミ対策のあり方について  
(別紙 1) 漂流・漂着ゴミ対策に関する関係省庁会議とりまとめ（概要）  
(別紙 2) 福井県における漂流・漂着ゴミ対策に関する取組の現状

- 参考資料 1 今後の調査スケジュール(案)
- 参考資料 2 総括検討会議事概要(第 3 回)
- 参考資料 3 微細なプラスチック破片による生態系への影響調査結果
- 参考資料 4 漂着ゴミに対する取組事例

平成 20 年度漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査地域検討会（福井県）

第 4 回地域検討会 出席者名簿

（敬称略）

検討員（五十音順、敬称略）	
井 黒 虎子男	米ヶ脇自治会 会長
(代理：波多野 勲)	( 同上 副会長)
大 杉 彰 一	坂井市生活環境部環境衛生課 課長
大 竹 臣 哉	福井県立大学生物資源学部 教授
小 針 悟	東尋坊観光協会 会長
阪 本 周 一	エコネイチャー 彩 みくに 会長
下 影 務	安島自治会 会長
鈴 木 隆 史	越前松島水族館 館長
高 橋 伸 一	国土交通省北陸地方整備局 敦賀港湾事務所 工務課長
(欠)玉置 文志	国土交通省近畿地方整備局 福井河川国道事務所 副所長
田 村 香都丸	海上保安庁第八管区海上保安本部 福井海上保安署 署長
難 波 英 夫	崎自治会 会長
舛 井 知 敏	梶自治会 会長
増 永 裕	福井県安全環境部廃棄物対策課 課長
森 岡 清 信	福井県土木部砂防海岸課 課長
(代理：辻岡 雄樹)	( 同上 主任)
矢 口 眞 治	雄島漁業協同組合 組合長
オブザーバー（所属機関名）	
福井県安全環境部廃棄物対策課リサイクル推進室	
坂井市生活環境部環境衛生課	
坂井市三国総合支所産業課	
環境省 地球環境局	
小 沼 信 之	地球環境局 環境保全対策課 係長
相 山 晋太郎	地球環境局 環境保全対策課 環境専門員
事務局：日本エヌ・ユー・エス(株)	
松 土 康 雄	生物科学ユニット
高 橋 理	地球環境ユニット

### 議題1 前回議事概要および指摘事項について〔資料1、資料2〕

- 11) 航空写真から福井県全体のゴミの量を把握するための試算などはできているのか。今後検討していく予定である。
- 12) 「発泡スチロールが植物に与える影響について」というのはこの検討会の課題とは違うのではないか  
この件については情報が少なく、難しい課題であり、この検討会だけで議論できる課題ではない。

### 議題2 平成20年度実施計画(案)〔資料3〕

- 2) 昨年度との違いは何か。  
すでに実施した4月の独自調査は、昨年度手をつけていなかった区域を優先して実施したため、強くご要望いただいていた調査範囲5kmのゴミ全量把握は実施できなかった。第5回調査では調査範囲全体のゴミの量の評価、および一部の調査方法の検討を行う予定である。第6回についても、安島地区だけでなく他の地区からのご協力を得られれば、できるだけ広い範囲の全量把握を実施したい。  
独自調査の目的は、清掃活動を通じ効率的、効果的なゴミの回収方法が可能かを検討することであり、必ずしも全量把握を目的としているわけではない。第4回では、ゴミが蓄積している場所にどれだけの資源を投入し、どのような方法で回収すれば望ましいかを中心に考え、調査を行っていた。ただし、この点についてはあらかじめ関係各所に諮らなかつたことはお詫び申し上げたい。第5回調査については改善を図った上、自治会の方々のご希望に添えるような調査設計をするつもりである。
- 3) この地域では冬場に大量のゴミが漂着することから、4月の調査ではそのことも事前にお伝えしていた。ただ、“大量”という定性的な表現ではなく、実際の数値を得ることを目的としていたはずではなかったか。20年度の計画について何の検討もなされないまま調査をしてしまうなら、この検討会の意味もなくなってしまう。  
4月の調査日程と検討会日程があわなかつたことが原因で検討会の場で説明することができなかった。関係する方々には個別に相談し、方針をお伝えしてきたが、結果的にご希望に添えないことになってしまった。ただし、同じ調査範囲の中にもかわらず、2ヵ年調査のうち一度も手をつけず、その場所についての検討が全くできない、ということは避けたかった。  
全量把握を最優先にせずに調査を進めてしまったことは反省点としている。第5回調査では可能な範囲で実施する予定である。できれば自治会独自で回収したゴミの量もデータとして提供していただければ、それらを活用しながら全体の評価に努めていきたい。
- 4) 本来、調査計画というのは、まず検討会で議論され、全員納得のうえで調査が行われるべきである。さらに、調査を行う上ではデータをとることも大事なので、今回データが不足してしまうのは非常に残念である。今年度の実施計画案でも収集したデータを今後どのように生かしていくのか、という説明が抜けているので、次回にはもう少し具体的なまとめ方、解析方法について示してほしい。

### 議題3 クリーンアップ調査およびフォローアップ調査結果概要について〔資料4〕

- 7) 発生起源別の集計結果について。陸域起源だけを取り出して時間経過別にみることは可能か。また、九頭竜川の流量との関係を見ることは可能か。  
時間経過別に見ることおよび九頭竜川の流量との関係を検討する予定である。九頭竜川は

今後梅雨の時期になり、流量も増えるので、河川起源のゴミが増えてくると予想している。  
9月の調査結果に注目したい。

- 8) 今回のこの調査で、河川流域の人が捨てたと思われるゴミがどのくらいあるか、ということまで分かるか。福井県でも九頭竜川を中心に河川流域から出るゴミについて検討する必要があるので、参考になる情報があればいただきたい。  
本事業の中の瀬戸内海調査では、河川起源のゴミに注目しており、様々な検討はしているが、具体的な結論には至っていない。
- 9) ゴミの収集方法としてエンジンプロアを試したということだが、改良するというのは具体的にどのようなことか。効率的な回収という点ではどうか。  
今回使用したものは落ち葉などを集めるものなので、磯浜の石と石の間に入り込んだ発泡スチロールなどを回収するには適していなかった。吸引力を強くするか、別の機械で試行するなどの改良が必要である。
- 10) 港での清掃活動の際は、藻にまぎれた発泡スチロールを海に投げ、浮いてきたものを網ですくう方法をとっている。
- 11) 回収したゴミの分別方法について、他の廃棄物の処理方法で参考にできるものはないか。
- 12) 工場等での分別方法と、実際に自然海岸で行う方法と少し発想を変える必要がある。現場では水に浸すという方法もあまり現実的ではないか。発泡スチロールの収集、分別はどこまでできるかという点で大変難しい。

#### 議題4 その他の調査の進捗状況について〔資料5〕

- 3) 最近、トロ箱の扱いが地元でも問題になっている。軽くて便利なため漁業者の間でひろく使われているが、これが海岸線や河川に氾濫し、風が吹くと飛び散るのでやっかいである。昔に戻って木材に変えたらどうか、という声や、行政にも一緒に取り組んでほしいという意見もある。行政そのものがゴミを減らすための方策を考えるべきではないか。  
発生抑制という観点から非常におもしろい取り組みだと思う。瀬戸内海の検討会でも発泡スチロール問題が話題であり、日本発泡スチロール協会の調査では、再処理できずに環境下に出ているものは、流通している全体のほぼ1%ということである。その1%が環境に出ないようにはどうすればよいか、ということに苦慮されている。トロ箱を多く扱っている漁業では、減容機材を取り入れて回収・再利用に努めているとのことである。
- 4) 九頭竜川では多雨の影響で、7月下旬ごろまでは上流からゴミが流れてくるというのが毎年のパターンである。今年度の計画の中に8月上旬ごろに河川のゴミ調査を盛り込むことはできないか。  
河川からのゴミの量の把握については以前からご要望いただいている件であるが、なかなか妙案が出てこない状況である。  
河川からのゴミは深刻な問題なので可能な範囲で検討していきたい。河川、海岸でのそれぞれの取り組みの情報共有を第一歩として小規模なワークショップの開催なども考えている。たとえば、ドラゴンリバー交流会のようなどころでは河川の清掃活動を行っているので、そこでのデータと比較してみる、などの方法を用いて河川起源について検討できる可能性はある。

#### 議題5 地域における今後の漂流・漂着ゴミ対策のあり方について〔資料6〕

- 2) 役割分担について。これを作成するにあたってはどのような経過があったのか。海岸清掃の体制もこのようなイメージか。

この役割分担はあくまで案である。この問題の解決に向けて、関係者間の相互協力が可能な体制づくりを推進する、ということが関係省庁全体で決まっている。体制づくりのひとつとして、本モデル調査を活用しながら、各地域においてどうすれば関係者が協力しあい、削減対策について取り組むことができるのか、という議論をまとめていきたいと考えている。海岸管理者には海岸の清潔保持の義務があり、どのように海岸清掃を進めれば良いか、という点について、もともとの海岸保全の基本方針やそれを受けた基本計画がすでにあるが、海岸清掃計画等の策定というのは、基本計画に限らず、関係機関と連携しながらどういった体制で進めていけばよいか考える、ということである。

- 3) 役割分担の中に、発生抑制という観点から製造物責任法もどこかに入れたほうが良い。製造側とゴミの発生源についての関係も書いたほうが良いのではないかと考えている。発生源について考えると、我々が一生懸命清掃活動しても、また、関係省庁が話し合っても、発生抑制につながるには何か抜けているような気がする。たとえば、ペットボトルに10円の税金をとるのもいいが、メーカーはそのことに対して知らん顔せずに、後始末の責任をきちんと取ってほしい。

- 4) これまでの調査で得たデータをどのように結びつけていくのかということが、残念ながらこの報告書案では見えてこない。目的や解析方法について少し具体的に示してもらえれば、より議論がしやすいので次回にはぜひお願いしたい。また、国や県の話(補助金の件)を聞いていると、別の世界の話をしているような感がある。それよりも日ごろのゴミをどうするのかということのほうが、この報告書では大事なのではないかと考えている。そのような観点で各行政機関の役割というものを考えていただきたい。

補助金については大規模な漂着ゴミの場合にしか使えないので、ここでの議論は日ごろの住民による清掃活動の負担をどのように軽減していくか、という点に焦点を絞って進めたい。また、その材料を提供するのは事務局の役割だと考えているので、今度も情報提供していくつもりである。

これまでの調査結果をどのように生かせるか、という点については、(地域検討会報告書の)第2章が重要かと思っている。やはり、これだけのゴミを処理するのに、どれだけ人手が必要で、どれだけ費用がかかるのか、そのような経済性の評価も含めてきちんと決めていかなければならないと考えている。データも蓄積されてきているので、この第2章の中で考察として書いていくこと、また、この地域のこの海岸であれば、この体制で回収処理を行うのが一番望ましい、というようなことも可能な範囲で提案したいと考えている。次回の検討会ではなるべく期待に沿えるようにまとめていきたい。

- 5) 今回の資料では課題の抽出がしにくい。調査結果のデータから課題を取り出す方法が見にくいので、その点を改善したデータのまとめ方をしてほしい。

次回の検討会までには、住民の方々、NPOの方々とは個別にご意見をお伺いし、課題の抽出とそれに対する対策について進めていく。

- 6) 本調査の大きなポイントとして、発生源対策が挙げられており、モデル地域においての調査でもその対策に取り組んでおり、地域住民の方々もがんばっておられるが、実際には回収してもゴミは減らない、というのが現状のようである。そこで例えば、各モデル地域における、季節ごとの風向きや潮流の情報や、特徴的な漂着物などの情報についてネットなどで公開、交換することをしたらどうか。他地域の調査に関する情報を参考とし、反映することが発生源対策のひとつにならないか。

最終的な報告書の中に、全てのモデル地域間での比較、解析を行う予定である。たとえば、対馬海流の上流側から下流側へのゴミの移行など、将来的にはそのようなネットワークを

生かしたゴミ削減対策も発生源対策として有効だと考えている。

参考資料4以降について。今後の取組みについて議論する際に参考にしてほしい事例を添付している（クリーンビーチいしかわと、アダプト・プログラムについて紹介）。製造者にも責任があるのではないかと、というご指摘も全くそのとおりであるが、メーカーとしても事業者として最低限の範囲かもしれないが、このような対応をしていることをご理解いただきたい。

- 7) このような事例を参考にし、坂井市の事例を今後作り上げていくこと、その案を坂井市と事務局側で示していただける、という理解で良いか。

坂井市だけでなく、福井県ともどのように協力し合えるか、という点をまとめていきたい。

- 8) 役割分担の中に「海岸管理者等」とあるが、その役割を明確にしてほしい。たとえば、海岸は県が管理しているが、実際のゴミ処理は市が行うのか、役割を具体的に分けていかなければならない。
- 9) 県と市の役割分担をきちんと決めることを今後の課題のひとつとするように。

以 上

平成 20 年度漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査  
第 5 回地域検討会（福井県） 議事概要（案）

日時：平成 20 年 12 月 1 日(月)  
14:00～17:00

場所：坂井市三国総合支所 4 階会議室

議 事

開会（14:00）

- 1．開会の辞
- 2．資料の確認
- 3．検討員の紹介
- 4．議事

第 4 回地域検討会議事概要および指摘事項について〔資料 1、資料 2〕

福井県坂井市地域における調査結果〔資料 3〕

福井県坂井市地域における漂流・漂着ゴミに関する技術的知見〔資料 3〕

福井県坂井市地域における今後の漂流・漂着ゴミ対策のあり方について〔資料 3〕

質疑・意見交換

- 5．その他連絡事項

閉会（17:00）

配布資料

資料 1 第 4 回地域検討会（福井県）議事概要（案）

資料 2 第 4 回地域検討会（福井県）の指摘事項に対する対応（案）

資料 3 地域検討会報告書(案)

資料 3-1 第 章 福井県坂井市地域における調査結果

資料 3-2 第 章 福井県坂井市地域における漂流・漂着ゴミに関する技術的知見

資料 3-3 第 章 福井県坂井市地域における今後の漂流・漂着ゴミ対策のあり方につい

て

資料 3-4 第 章 資料編

参考資料 1 今後の調査スケジュール（案）

平成 20 年度漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査地域検討会（福井県）

第 5 回地域検討会 出席者名簿

（敬称略）

検討員（五十音順、敬称略）	
井 黒 虎子男	米ヶ脇自治会 会長
(代理：波多野 勲)	( 同上 副会長)
大 杉 彰 一	坂井市生活環境部環境衛生課 課長
大 竹 臣 哉	福井県立大学生物資源学部 教授
小 針 悟	東尋坊観光協会 会長
阪 本 周 一	エコネイチャー 彩 みくに 会長
下 影 務	安島自治会 会長
鈴 木 隆 史	越前松島水族館 館長
高 橋 伸 一	国土交通省北陸地方整備局 敦賀港湾事務所 工務課長
玉 置 文 志	国土交通省北陸地方整備局 福井河川国道事務所 副所長
田 村 香都丸	海上保安庁第八管区海上保安本部 福井海上保安署 署長
難 波 英 夫	崎自治会 会長
舩 井 知 敏	梶自治会 会長
(代理：兵堀 英雄)	梶自治会 副会長
増 永 裕	福井県安全環境部廃棄物対策課 課長
森 岡 清 信	福井県土木部砂防海岸課 課長
(代理：辻岡 雄樹)	福井県土木部砂防海岸課 主任
矢 口 眞 治	雄島漁業協同組合 組合長
オブザーバー（所属機関名）	
福井県安全環境部廃棄物対策課リサイクル推進室	
坂井市生活環境部環境衛生課	
坂井市三国総合支所産業課	
環境省	
田 中 聡 志	地球環境局 環境保全対策課 課長
小 沼 信 之	地球環境局 環境保全対策課 係長
大 庭 巖 敦	中部地方環境事務所 廃棄物・リサイクル対策課 廃棄物対策等調査官
事務局：日本エヌ・ユー・エス(株)	
岸 本 幸 雄	取締役環境コンサルティング部門長
高 橋 理	地球環境ユニット
井 川 周 三	地球環境ユニット
常 谷 典 久	HSE ユニット

## 議題1 前回議事概要および指摘事項について〔資料1、資料2〕

特にコメントなし

## 議題2 福井県坂井市地域における調査結果〔資料3〕

- 5) 航空機調査結果の図( -41 ページ)について。全く手をつけていないところはどこか。清掃されている場所、されていない場所については県全体の清掃活動をまとめた資料がないため、把握できていない。ただし、航空写真の結果に海水浴場の位置と毎年清掃している漁港の位置情報を追加すれば、ある程度推定はできる。
- 6) (九頭竜川ワークショップの報告を受けて)全く清掃が出来ていない海岸があるのであれば、例えば、海岸の清掃団体を対象にこのようなイベントを県の主導で開催し、清掃活動を広げるべきではないか。
- 7) 文献およびヒアリング調査は県全体の情報か。地元住民による日々の清掃活動が反映されていない。  
清掃活動自体がまとめられた資料がないため、全県にわたっての活動を把握しきれていない。ただし、調査海岸に関しては検討員からの聞き取り調査結果を追加している。今後は観光協会の資料も追記する予定である。  
自治体が以前より続けている清掃活動については今までどこにも情報発信していなかった。今後はこのような(九頭竜川ワークショップ)イベントにも積極的に参加し、苦勞して続けている清掃活動について広く知ってもらいたい。
- 8) 航空機調査から推定される福井県内のゴミの量は他地域から比べるとどうか。  
一番多かったのは対馬で、そのことは航空機調査からも伺える。
- 9) 水位の影響はあまりない、としているが、水位が高くなれば何らかの影響はあるはずなのでその点は明示するべきである。

## 議題3 福井県坂井市地域における漂流・漂着ゴミに関する技術的知見〔資料3〕

- 13) 量を表す単位は統一したほうが良い。  
処分費の算定は重さが基準となっているので、重量を基準に記載する。
- 14) 年間漂着量 21 トンという値については流入量と表現したほうが良い。
- 15) 回収・処分について。船を使う場合には天候などの条件が必要であり、(搬出が)計画通り行えなかった場合の費用も見込む必要がある。  
回収に適した条件が整った場合の推定値、という表現に修正する。
- 16) 年間 21 トンというのは、調査範囲の中だけの数字であり、実際にはもっと量が多いエリアがあるので、参考程度とするなど、位置づけを明確にしたほうが良い。  
この 21 トンというのはあくまで今回の調査範囲、長さでいうと 9.5km の中に年間漂着するであろうという推定である。
- 17) 風速と波高の関連について。風も波もゴミを持ってくる作用があるが、波にはさらう作用があるので、その点についてわかりやすい表現があると良い。  
風速だけでなく風向も見ながらゴミの量との関係を検討していく。
- 18) 費用については、ゴミ 1kg あたりの処理費がいくらか、という数字があると、行政として予算の要求根拠を考えるとときに利用できる。  
単位重量あたりの経費を示す。

#### 議題4 福井県坂井市地域における今後の漂流・漂着ゴミ対策のあり方について〔資料3〕

- 5) この調査地域内だけで見れば、それなりの結論や方向性が見えてきたようだが、他にももっとひどい状況の場所があるので、この場だけをきれいにしても問題の解決にはならない。
- 6) 人が住んでいないような場所がむしろ発生源になっている可能性もあるのではないか。
- 7) 平成12年の海岸法改正により防護・環境・利用を考慮した施設整備を行うことになった。ただし、あくまで防護があってそれに関連する環境保全や利用促進を行うことが原則である。海岸管理者として、大規模な災害などにより海岸が利用できない場合は整備するが、たとえば、生態系のことまで考慮してゴミの処理をすべきなのか、程度の問題がある。廃棄物処理法に基づき海岸管理者には清潔の保持の義務があるが、どこまで海岸管理者が清潔保持をしなければならないかという基準もない。海岸法の範囲内でなおかつ予算の制約内で行動しなければならないので、行政が全てを管理するのは難しい面がある。  
漂着ゴミは海岸管理者が対応しなければならない問題であり、きちんとした対応を求めたい。  
砂浜を維持するために離岸堤や離岸潜堤を置いてあるが、その砂の影響でゴミが集まりやすい環境になっている場合もある。それに対して何か技術的に防除できるか、あるいは実際に集まってしまったものをどうするかということは、作った側の責任はあるのではないか。
- 8) 今回の調査範囲以外の海岸では何もしなくていいわけではなく、今回の結果をたたき台として全国のことを考えていかなければならないのではないか。
- 9) 今後、他の地域でも同じような調査や削減対策をしましょう、という投げかけはどの機関がするのか。  
今回のモデル調査で得られた対策が将来他の海岸にも適用できるように成果の普及に努めていきたい。また、地域においての具体的な方策を考えると、やはり海岸管理者にはきちんと管理していただき、管理者、自治体、地域住民などの関係者が協力して行うべき基本的な考え方を共有していくことが第一歩であると考えます。
- 10) 他の調査地域の中には海岸の状況に色々なパターンがあると思うが、その結果についてはどうなっているか。  
ひとつの先進的な例として、山形県ではプラットフォームという枠組みを作り、行政や地域住民、NGO、さらに地域の企業も入って山形県の海岸線全体のゴミをどのように清掃していくか、あるいはゴミの発生源から絶つことに対してどう取り組むか、ということを考える場としている。  
今回の機会により関係者がおおよそ揃ったと思うので、今後県内の他の海岸線も含め、さきほどの事例のような検討の場を設けたいと考えている。そのことを今後の環境基本計画の中に明記し、県の取り組みとしていきたい。
- 11) 港湾においても、漂着ゴミに対して我々ができる範疇はどこまでか、考えていかなければならない。現在のところは大規模な災害に対する支援制度というのは国でも整備されているので、管轄の範囲内であれば災害時の支援はできる。
- 12) 今回の調査では、自治会の方あるいは坂井市他の方々の環境についての意識が非常に高いと感じた。ここまでできたことを今回だけで終わらせてほしくないと思う。そのためには自治会だけではできないこともあるので、これを契機に継続してできる何かを見つけていきたい。多くの人が集まって議論ができる大きな協議会のようなものが作れたら良いか。
- 13) 海上での回収作業というのは可能か。  
材木など、船舶航行安全上問題があるようなものは処理できるが、洋上のゴミはまとまっ

て浮いているわけではないので、小さなゴミの回収は難しい。

- 14) 九頭竜川ワークショップのような場で、各方面からの色々な意見を聞き、少し方向性が見えてきた。今後は流域全体でひとつのことを打ち上げていく必要があると考えている。河川法との整理も必要なので、今後関係部署と協議していくつもりである。
- 15) 九頭竜川ワークショップでは今後も引き続きゴミ抑制のための対策を立てていこう、そのための話し合いをしよう、ということで終わったが、例えば費用の分担などについても一体管理をしていかなければ継続していくのは難しい。ゴミは誰が出すのか、誰のものかということをしていろいろ追及していくと、回収、処理、費用が大きな問題として挙げられる。このようなモデル調査で出てきた問題点について、行政も含めた関係各所が積極的に改善していこうとする意欲を出していただければ、長年苦勞してきている地元の方々の不満にも答えることになるのではないかと。誰がどのように分担するのかについてはいろいろ問題もあるが、清掃活動だけでなくゴミの抑制も含めて考えていかなければならない。
- 16) 発生源を押さえることが一番の根本的な問題になると思うので、そこへ力を入れていただき、取り組んでもらいたいということと、もうひとつは地元住民への費用面の援助についても検討していただきたい。浜地のような長い海岸線を少ない人数で清掃するのは、ゴミだけでなく砂の問題もあり困っているようである。環境と観光ということでもかなり関連があると思うので、今後はあらゆる面から三国の海岸線を考えていく活動が望まれるのではないかと。
- 17) この福井県の方は住民が非常に熱心で、いわゆる住民力があると思う。その住民力を行政はよく理解いただき、行政の立場で何ができるかということをご意見いただきたい。また、今回の検討会では今後の削減方策についてももう少し踏み込んだ検討をすることになると思う。その際もやはり住民力をそがないため、それぞれできる範囲をそれぞれの立場で協力できるような報告書にまとめてほしい。  
次回検討会までに具体的な発生抑制に向けて、どのようなことができるかということ、他地域からの例も含めて紹介するとともに、そのことが地域で実施が可能かということ、行政の方にご指導いただきながら調整していく。

以 上

**平成 20 年度漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査  
第 6 回地域検討会（福井県） 議事概要（案）**

日時：平成 21 年 2 月 20 日(金)

13:00～15:15

場所：坂井市三国総合支所 4 階会議室

**議 事**

開会（13:00）

- 1．開会の辞
- 2．資料の確認
- 3．議事

第 5 回地域検討会議事概要および指摘事項について〔資料 1、資料 2〕

福井県坂井市地域における調査結果〔資料 3-1〕

福井県坂井市地域における漂流・漂着ゴミに関する技術的知見〔資料 3-2〕

福井県坂井市地域における今後の漂流・漂着ゴミ対策のあり方について〔資料 3-3〕

質疑・意見交換

- 4．漂流・漂着ゴミ対策に関する今後の展開について〔資料 4-1、4-2〕
- 5．その他連絡事項

閉会（15:15）

**配布資料**

資料 1 第 5 回地域検討会（福井県）議事概要（案）

資料 2 第 5 回地域検討会（福井県）の指摘事項に対する対応（案）

資料 3 地域検討会報告書(案)

資料 3-1 第 章 福井県坂井市地域における調査結果

資料 3-2 第 章 福井県坂井市地域における漂流・漂着ゴミに関する技術的知見

資料 3-3 第 章 福井県坂井市地域における今後の漂流・漂着ゴミ対策のあり方につい

て

資料 3-4 資料編

資料 4-1 漂流・漂着ゴミ対策重点海岸クリーンアップ事業

資料 4-2 漂流・漂着ゴミ国内削減方策モデル調査

資料 5 福井県環境基本計画(概要版)

資料 6-1 水辺環境フォーラム 2009 in みくに みくにの海から SOS

資料 6-2 川ごみ一掃統一行動「みくにの海から SOS」

平成 20 年度漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査地域検討会（福井県）

第 6 回地域検討会 出席者名簿

（敬称略）

検討員（五十音順、敬称略）	
井 黒 虎子男	米ヶ脇自治会 会長
（代理：波多野 勲）（ 同上 前副会長）	
大 杉 彰 一	坂井市生活環境部環境衛生課 課長
大 竹 臣 哉	福井県立大学生物資源学部 教授
小 針 悟	東尋坊観光協会 会長
阪 本 周 一	エコネイチャー 彩 みくに 会長
下 影 務	安島自治会 会長
鈴 木 隆 史	越前松島水族館 館長
高 橋 伸 一	国土交通省北陸地方整備局 敦賀港湾事務所 工務課長
玉 置 文 志	国土交通省北陸地方整備局 福井河川国道事務所 副所長
田 村 香都丸	海上保安庁第八管区海上保安本部 福井海上保安署 署長
難 波 英 夫	崎自治会 会長
兵 堀 英 雄	梶自治会 会長
増 永 裕	福井県安全環境部廃棄物対策課 課長
森 岡 清 信	福井県土木部砂防海岸課 課長
（代理：辻岡 雄樹）福井県土木部砂防海岸課 主任	
矢 口 眞 治	雄島漁業協同組合 組合長
オブザーバー（所属機関名）	
福井県安全環境部廃棄物対策課リサイクル推進室	
坂井市生活環境部環境衛生課	
坂井市三国総合支所産業課	
環境省	
相 山 晋太郎	地球環境局 環境保全対策課 環境専門員
岩 田 浩 幸	中部地方環境事務所 廃棄物・リサイクル対策課 廃棄物対策等調査官
事務局：日本エヌ・ユー・エス(株)	
高 橋 理	地球環境ユニット
常 谷 典 久	HSE ユニット
重 村 勇 作	地球環境ユニット

## 議題1 前回議事概要および指摘事項について〔資料1、資料2〕

- 10) 水位の影響について。布施田観測所で2.4m(2005年7月4日)とあるが、これは極めて珍しい値か。また、福井豪雨と関係があるか。(資料2では「2007年7月4日」と記載しているが「2005年7月4日」に訂正)  
過去2年間の観測結果では0.5~1m程度なのでかなり高い値と言えるが、福井豪雨の影響ではない。
- 11) 潮位データとの関連も調べておいてほしい。
- 12) 平時と比べると極めて高い値だが、台風や梅雨どきの豪雨の影響でこの時期が一番高くなる、という考え方で良いか。  
この7月4日の場合は梅雨時期の出水と考えられる。  
福井県では梅雨明けの雨が影響するので、7月がピークとなる。また、7月、8月は海水の水位が高く、川へも30~50cmほどの影響があるので、この時期には川のゴミが大きく動くのではないか。
- 13) この報告書全体の目次や端書はあるか。  
最終版にはつける。また、概要版も作成する。

## 議題2 福井県坂井市地域における調査結果〔資料3〕

- 1) 3月7日実施予定の川ゴミ清掃について。これは非常にありがたいことであり、海岸地域の住民としては大いに期待している。自治会からも参加するつもりである。
- 2) このような活動も報告書の「今後のあり方」に掲載するように。
- 3) (漂流・漂着ゴミに対する認知度が高いというアンケート結果について)九頭竜川ワークショップのようなイベントには興味がある人しか行かない。興味がある人からアンケートをとればこのような結果になる。全ての住民が漂着ゴミに対する認識を有しているわけではないのではないか。
- 4) (資料6-1、6-2の説明を交えて)「みくにの海からSOS」ではイベントがあるたびに出向いて、ゴミ削減のために協力をお願いするという活動を5年ほど前から続けている。当初、上流域の住民には海の現状をなかなか理解してもらえなかったが、状況を知った町長が(川から)ゴミを出さない運動を始めたという事例がある。九頭竜川ワークショップはこのような活動の延長で開催された、という経緯がある。3月7日のイベントには流域の住民の他、海岸地域の方からも応募がきている。また、翌日8日には坂井市主催の環境フォーラムが開催される。今後も坂井市とも協力してさらに発展的に活動していきたい。
- 5) 「みくにの海からSOS」については、知らない人がほとんどなので、たとえば、関連する各団体や企業にはがきを出すなど、広報活動として行政からも多くの人に発信していくようなシステムをつくったらどうか。
- 6) 観光資源の調査について。沖縄での試算方法は福井県でもできるか。例えば行政に提案するとき、できれば詳細な数字があれば話がしやすいと思う。  
同じ方法で試算は可能であるが、必要な統計データが揃っているか、というところから調査しながら試算の設計をする必要がある。沖縄県の検討会においても、この調査結果に対しては特にメディアの関心が高かった。地元の方に海ゴミ問題を含めて普及・啓発するためにはこれらの調査結果データは有効だと考えている。
- 7) 実際に東尋坊を対象に計算した場合、観光資源に対する漂着ゴミ回収の効果がある、と予想できるか。  
石垣島と東尋坊地域では観光の質が若干違うが、回収の効果はあると推測される。

- 8) 観光資源の経済効果については、何かしらの調査をしてもらえないか、という声があるということがこの検討会における考え方のひとつである。

### 議題3 福井県坂井市地域における漂流・漂着ゴミに関する技術的知見〔資料3〕

- 19) 表 2.3-7 について。合計金額 64 万 (639,084 円) には坂井市の運搬費、処分費は含まれていないか。  
参考データとして扱っているため含まれていない。

### 議題4 福井県坂井市地域における今後の漂流・漂着ゴミ対策のあり方について〔資料3〕

- 18) 先進事例を 3 例あげているが、それぞれの場所でのゴミの発生量は把握しているか。  
最上川ではゴミの分布状況は整理されているが、発生量の把握までには至っていない。瀬戸内海では河川におけるゴミの分布状況を把握し、河川からの発生量を推計しているということである。

- 19) 表 3.1 について。国が行っている「回収作業の実施」とは具体的に何か。  
「国」には中央省庁と地域の出先機関における現在の対応状況を整理している。具体的な回収作業としては、福井河川国道事務所において河川内での清掃を実施していることを示している。

- 20) 県や市では現状では取組みはしていない、ということであるが、「実施予定・検討中」がつけられるような考えはあるか。この検討会の中で方向付けだけでもするべきではないか。

坂井市では、来年度に向けて「海ごみ川ごみプラットフォーム・さかい」の設立準備をしており、3月7日のイベントも支援している。さらに来年度事業の中では上流地域の住民にも呼びかけをするつもりでいる。また、ケーブルテレビや新聞などを通して、地元の方が苦労して作業を続けている様子を情報として発信する取組みをしていく。

この表では各主体へ向けての要望は極力除き、各主体が実施できることを整理する、という考え方に基づいている。また、この表が全てではなく坂井市のプラットフォームのような場で引き続き役割分担について協議されても良いのではないか。

福井県では環境基本計画を昨年 11 月に策定し、その中ではこの地域検討会のような場を設けるという計画もある。今すぐに県の海岸全てのゴミを回収する、とは言えないが、今後効率的な取組みを市や各団体と一緒に続けていきたい。現時点で実施していることはないが、今後は香川県の事例なども参考にしながら勉強していく。

福井県の今後の取組みとして、「処分」のうち「処理困難物」の費用負担について「実施予定・検討中」としている。対策は少しずつ進んでいると理解してほしい。

- 21) 発生抑制について、行政としての対応について懸念がある。何か考えはあるか。  
県においては、ポリ容器漂着への対応など、すでに実施していることもある。発生抑制については今回の調査によって陸起源のものが多くことや、また、九頭竜川から流れてくるものも相当量あるという実態がわかったので、このことを広く県民に理解してもらうようにしたい。確かに川がゴミ捨て場のようになっているところも依然としてあるので、各市町の広報紙を通じて普及啓発に努めたい。

河川国道事務所においては、高水敷の田畑について占有許可を出しているが、来年度からは例えばゴミへの対応も含めた「良質な管理」という条件を付加することを検討している。また、「みくにの海から SOS」の後援も継続していく。今後は人力では回収不可能な大きなゴミを対象に重機を使って回収することを考えている。さらに、HP ではゴミマップを掲載

しており、不法投棄されたゴミの写真などを掲載し啓発に努めている。ゴミの実態はある程度把握できて、例えばその再利用などについては取組みが進んでいない。

坂井市でも、プラットフォーム事業を実施する他、合併以来はじめての環境基本計画を策定した。海と川の保全として5つの重点プロジェクトをあげており、その中には九頭竜川流域のゴミ対策についても盛り込んでいる。また、基本計画そのものの推進として、環境フォーラムの開催を計画している。さらに、福井市や越前、鯖江ではレジ袋の有料化を今年度から実施しており、坂井市でも消費者団体と共同し、レジ袋無料配布の中止に取り組むつもりである。

環境省としては、この事業の一環として各自治体を通じて広く配布できるような、普及・啓発用のパンフレットを作成している。まずはゴミ問題を知ってもらうことから始めたいと考えている。

22) ゴミマップを継続して作成しているということであるが、何か効果が上がってきているか。

ゴミマップはまず、普及啓発に活用でき、また清掃活動の場所を選定する際にも利用しているようである。さらに、ゴミが多い地点付近の小学校などでは、清掃活動を通じた環境教育を計画するなど、利用できるケースが最近増えてきたと聞いている。

23) 大きなイベントとして、他地域から多くの人が集まらなくても、地域ごとにその場にあるゴミを回収してもらえれば良いと思う。例えば、ある場所では徹底して清掃しても、少し離ればゴミはあるので、地域ごとに清掃する活動が広がっていくのが一番良いのではないか。

24) 本日の議論によって、役割分担(案)としては「回収作業」に坂井市を追加すること、また、各行政機関においては清掃活動および発生抑制についての行動方針を出して、ぜひ実施していただくという追加事項があるということでのこの表のまとめとしたい。

「NPO」「教育/研究機関」にほとんど印がついていないので、水族館としても個別に実施していることをこの表に反映させたい。

「みくにの海からSOS」について福井県の娯楽船安全協会という団体があるので、相互啓発のためにも声をかけたらどうか。規約制定をしないネットワーク構築ということで、どこがイニシアチブをとるのか明確になればもっと声をかけられる団体もあるのではないか。

25) 川へのポイ捨てについて、関係機関が取り締まりのようなことを実施したことがあるか。発生抑制を考えるならば、条例をつくって罰則をつけるなど、ポリ袋ひとつでも罪にするようなことをしないと発生抑制にはならないのではないか。漂着ゴミを回収、処分するために使うエネルギーよりも、発生抑制にエネルギーを使ったほうが効果は上がると思う。不法投棄を防ぐためのパトロールを夜間や休日にも実施している。石川県ではレジ袋ひとつで検挙した例もあり、現状で条例はなくても既に法律はあるので十分取り締まりはできているのではないか。また、新年度予算には昨今の雇用問題に関連し、緊急雇用の予算として、環境パトロール員の募集という枠をとってあり、実際に警察に摘発された例もあるので、警察とタイアップしていくことも可能である。

海上保安庁においても取り締まりは非常に強化して実施しており、その役割分担もされている。排出源が同一で多量であるとか、悪質なものであれば、事件・事故の両面で対応している。

中部地方環境事務所では監視カメラを保有しており、各県を通じて市町村に貸し出している。昨年度羽咋市においては、そのカメラに写ったことがきっかけで検挙に至ったケースがある。

## 議題5 漂流・漂着ゴミ対策に関する今後の展開について〔資料4-1、4-2〕

- 1) 今回のこのモデル調査事業によって、地元自治会、漁業協同組合、観光協会の皆様による地道な海岸清掃活動に対して、広く県民から理解が得られたのではないかと。また、漂着ゴミの実態がかなり明らかになり、同時に関係者が一堂に会して討議を行ったことも非常に意義があった。漂着するものには陸起源のものが多く、また河川から流れ出るものも多いという新たな発見もあったので、今後広報手段を講じて発生抑制等に努めていきたいと考えている。さらに、県をはじめ、行政機関が一体となって清掃活動を行う体制作りには早急に取り組む必要があるため、その際は関係各位のご協力、ご支援をお願いしたい。

(最後に大竹座長よりご挨拶いただいた)

この福井県における地域検討会では当初、海岸のゴミは自分たちできれいにしているのだから、むしろ発生抑制だけを考えたら良いのではないかと、というところから始まった。また、実態を知りたい、という検討会としての強い要望もあり、ゴミの総量とその内訳についてデータをあげていただいた。検討員の皆様の熱意の中で議論が行われた結果、報告書がまとまったということに対して大変感謝している。

また、福井県のみなさんはいわゆる住民力が非常に強いということ、この住民力を今回の検討会でまざまざと感じた次第である。行政あるいは大学教育機関においては、やはり住民の力を継続していただき、あるいは応援するという形で一緒に取り組むべきだということも、この検討会で勉強させていただいた。最後に2年間にわたり座長を勤めさせていただいたことに感謝申し上げる。

### その他連絡事項

事務局から連絡事項として以下が伝えられた。

- ・ 報告書は製本して業務終了後に検討員に配布し、資料編は環境省のホームページに掲載する。
- ・ 報告書の概要版を作成する。配布先・配布方法については、福井県・坂井市と相談する。

以上

## 5. 海岸清掃活動に関わる参考資料

### 5.1 漂着ゴミ量の推定資料

共通調査および独自調査から得られた情報を基に、実際に長崎県対馬市の海岸（越高および志多留）において漂着ゴミを回収する場合に、その海岸での漂着量を推定するのに役立つための資料を整理し、参考資料とした。

具体的には、越高海岸および志多留海岸での調査枠内（10m枠）で回収されたゴミの重量（kg）および容量（L）と、10m枠の写真（漂着ゴミの概観）を並列させ、実際に他の海岸で漂着ゴミを観察した時に、果たしてどれくらいのゴミ量があるのかを把握するための参考とするものである。資料では、この量の多い順に並べてある。

これを基に、実際の清掃活動に必要な人員や機材、あるいは環境省の「災害等廃棄物処理事業費補助金」の対象事業たり得るかの判定等に利用できるものとする。

5,800L ( 5.8 m <sup>3</sup> ) 1,100 kg		4,400L ( 4.4 m <sup>3</sup> ) 760 kg	
	<p>越高海岸</p> <p>地点 5</p> <p>第 1 回調査</p>		<p>志多留海岸</p> <p>地点 2</p> <p>第 2 回調査</p>
2,800L ( 2.8 m <sup>3</sup> ) 500 kg		2,400L ( 2.4 m <sup>3</sup> ) 530 kg	
	<p>志多留海岸</p> <p>地点 4</p> <p>第 1 回調査</p>		<p>越高海岸</p> <p>地点 4</p> <p>第 2 回調査</p>

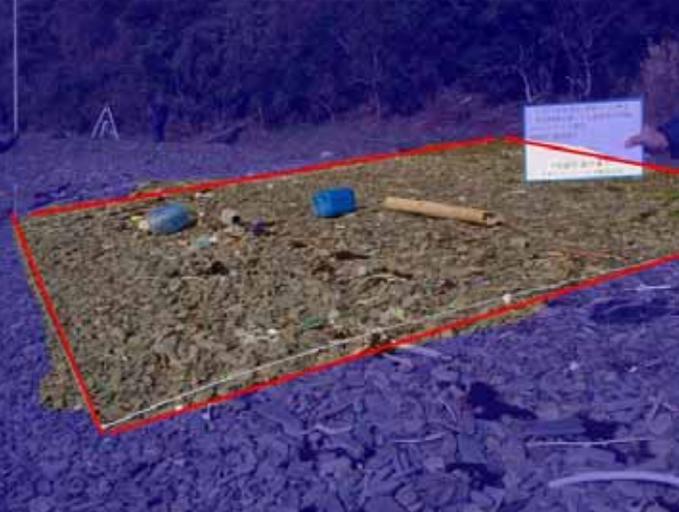
<p>2,000L ( 2.0 m<sup>3</sup> ) 340 kg</p> 	<p>越高海岸 地点 3 第 1 回調査</p>	<p>1,900L ( 1.9 m<sup>3</sup> ) 360 kg</p> 	<p>志多留海岸 地点 5 第 1 回調査</p>
<p>1,700L ( 1.7 m<sup>3</sup> ) 410 kg</p> 	<p>越高海岸 地点 1 第 1 回調査</p>	<p>1,500L ( 1.5 m<sup>3</sup> ) 310 kg</p> 	<p>越高海岸 地点 5 第 6 回調査</p>

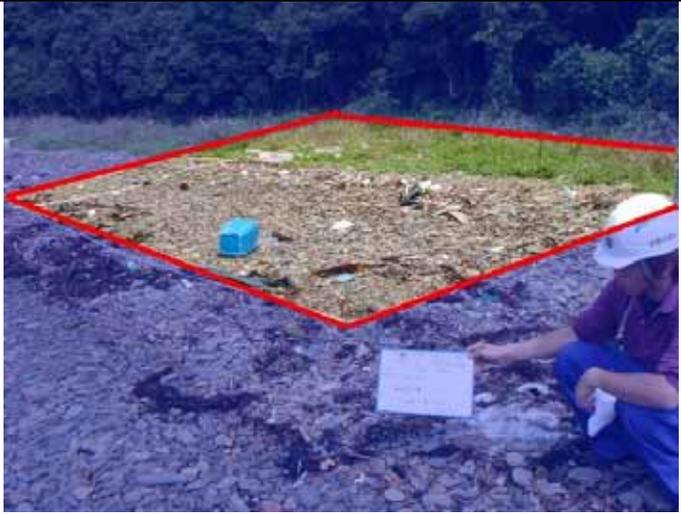
<p>1,200L ( 1.2 m<sup>3</sup> ) 210 kg</p> 	<p>越高海岸 地点 2 第 1 回調査</p>	<p>1,200L ( 1.2 m<sup>3</sup> ) 260 kg</p> 	<p>志多留海岸 地点 3 第 1 回調査</p>
<p>940L ( 0.94 m<sup>3</sup> ) 160 kg</p> 	<p>越高海岸 地点 4 第 6 回調査</p>	<p>780L ( 0.78 m<sup>3</sup> ) 150 kg</p> 	<p>志多留海岸 地点 2 第 6 回調査</p>

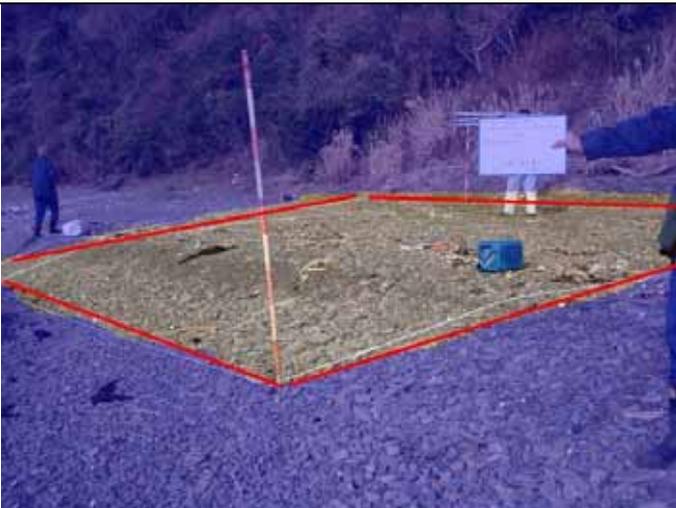
<p>720L(0.72 m<sup>3</sup>) 100 kg</p> 	<p>志多留海岸 地点 5 第 5 回調査</p>	<p>690L(0.69 m<sup>3</sup>) 83 kg</p> 	<p>志多留海岸 地点 4 第 6 回調査</p>
<p>610L(0.61 m<sup>3</sup>) 79 kg</p> 	<p>越高海岸 地点 5 第 5 回調査</p>	<p>490L(0.49 m<sup>3</sup>) 84 kg</p> 	<p>志多留海岸 地点 5 第 6 回調査</p>

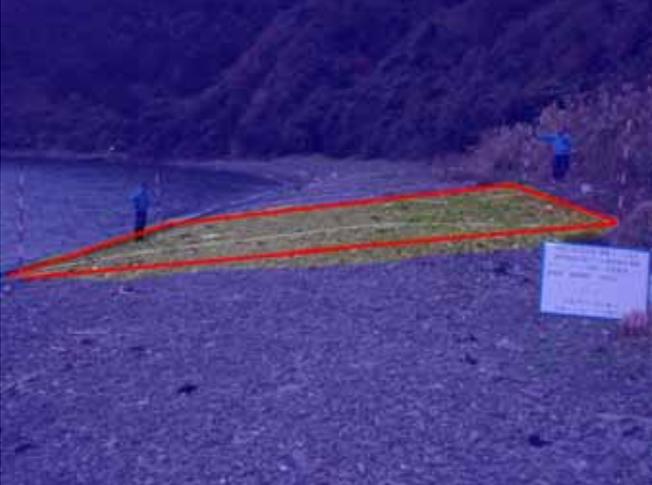
<p>490L ( 0.49 m<sup>3</sup> ) 37 kg</p> 	<p>志多留海岸 地点 3 第 6 回調査</p>	<p>390L ( 0.39 m<sup>3</sup> ) 53 kg</p> 	<p>志多留海岸 地点 1 第 1 回調査</p>
<p>350L ( 0.35 m<sup>3</sup> ) 50 kg</p> 	<p>越高海岸 地点 1 第 6 回調査</p>	<p>260L ( 0.26 m<sup>3</sup> ) 15 kg</p> 	<p>志多留海岸 地点 1 第 6 回調査</p>

<p>250L ( 0.25 m<sup>3</sup> ) 46 kg</p> 	<p>越高海岸 地点 5 第 4 回調査</p>	<p>250L ( 0.25 m<sup>3</sup> ) 32 kg</p> 	<p>越高海岸 地点 3 第 6 回調査</p>
<p>240L ( 0.24 m<sup>3</sup> ) 37 kg</p> 	<p>志多留海岸 地点 4 第 5 回調査</p>	<p>220L ( 0.2 m<sup>3</sup> ) 31 kg</p> 	<p>志多留海岸 地点 2 第 5 回調査</p>

<p>210L ( 0.21 m<sup>3</sup> ) 33 kg</p> 	<p>越高海岸 地点 2 第 6 回調査</p>	<p>180L ( 0.18 m<sup>3</sup> ) 22 kg</p> 	<p>志多留海岸 地点 1 第 5 回調査</p>
<p>170L ( 0.17 m<sup>3</sup> ) 25 kg</p> 	<p>越高海岸 地点 4 第 4 回調査</p>	<p>170L ( 0.17 m<sup>3</sup> ) 31 kg</p> 	<p>越高海岸 地点 4 第 3 回調査</p>

160L ( 0.16 m <sup>3</sup> ) 31 kg	<p>越高海岸</p> <p>地点 4</p> <p>第 5 回調査</p>	130L ( 0.13 m <sup>3</sup> ) 33 kg	<p>志多留海岸</p> <p>地点 5</p> <p>第 4 回調査</p>
			
100L ( 0.1 m <sup>3</sup> ) 24 kg	<p>越高海岸</p> <p>地点 4</p> <p>第 2 回調査</p>	100L ( 0.1 m <sup>3</sup> ) 13 kg	<p>越高海岸</p> <p>地点 1</p> <p>第 5 回調査</p>
			

<p>94L ( 0.094 m<sup>3</sup> ) 14 kg</p> 	<p>越高海岸 地点 2 第 2 回調査</p>	<p>90L ( 0.09 m<sup>3</sup> ) 13 kg</p> 	<p>越高海岸 地点 3 第 2 回調査</p>
<p>88L ( 0.088 m<sup>3</sup> ) 10 kg</p> 	<p>越高海岸 地点 3 第 4 回調査</p>	<p>88L ( 0.088 m<sup>3</sup> ) 15 kg</p> 	<p>越高海岸 地点 5 第 3 回調査</p>

<p>86L ( 0.086 m<sup>3</sup> ) 17 kg</p> 	<p>越高海岸 地点 5 第 2 回調査</p>	<p>86L ( 0.086 m<sup>3</sup> ) 12 kg</p> 	<p>志多留海岸 地点 3 第 5 回調査</p>
<p>82L ( 0.082 m<sup>3</sup> ) 7 kg</p> 	<p>越高海岸 地点 1 第 3 回調査</p>	<p>77L ( 0.077 m<sup>3</sup> ) 9 kg</p> 	<p>越高海岸 地点 2 第 5 回調査</p>

<p>70L ( 0.07 m<sup>3</sup> ) 18 kg</p> 	<p>志多留海岸 地点 4 第 2 回調査</p>	<p>68L ( 0.068 m<sup>3</sup> ) 8 kg</p> 	<p>越高海岸 地点 1 第 2 回調査</p>
<p>64L ( 0.064 m<sup>3</sup> ) 11 kg</p> 	<p>越高海岸 地点 1 第 4 回調査</p>	<p>60L ( 0.06 m<sup>3</sup> ) 10 kg</p> 	<p>越高海岸 地点 3 第 5 回調査</p>

26L ( 0.026 m <sup>3</sup> ) 4 kg	志多留海岸 地点 1 第 2 回調査	23L ( 0.023 m <sup>3</sup> ) 5 kg	志多留海岸 地点 2 第 3 回調査
			
18L ( 0.018 m <sup>3</sup> ) 5 kg	志多留海岸 地点 1 第 4 回調査	17L ( 0.017 m <sup>3</sup> ) 2 kg	越高海岸 地点 2 第 3 回調査
			